

(様式第10)

厚生労働大臣 殿

阪大医病総 番 1号
令和 6年 10月 1日
開設者名 学長 西尾 章治郎

大阪大学医学部附属病院の業務に関する報告について

標記について、医療法(昭和23年法律第205号)第12条の3第1項及び医療法施行規則(昭和23年厚生省令第50号)第9条の2の2の第1項の規定に基づき、令和5年度の業務に関して報告します。

1 開設者の住所及び氏名

住所	〒565-0871 大阪府吹田市山田丘1番1号
氏名	国立大学法人大阪大学

(注) 開設者が法人である場合は、「住所」欄には法人の主たる事務所の所在地を、「氏名」欄には法人の名称を記入すること。

2 名称

大阪大学医学部附属病院

3 所在の場所

〒565-0871 大阪府吹田市山丘2番15号
電話(06)6879 - 5111

4 診療科名

4-1 標榜する診療科名の区分

<input type="radio"/>	1 医療法施行規則第六条の四第一項の規定に基づき、有すべき診療科名すべてを標榜
<input type="radio"/>	2 医療法施行規則第六条の四第四項の規定により読み替えられた同条第一項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として、十以上の診療科名を標榜

(注) 上記のいずれかを選択し○を付けること。

4-2 標榜している診療科名

(1) 内科

内科				有			
内科と組み合わせた診療科名等							
<input type="radio"/>	1呼吸器内科	<input type="radio"/>	2消化器内科	<input type="radio"/>	3循環器内科	<input type="radio"/>	4腎臓内科
<input type="radio"/>	5神経内科		6血液内科		7内分泌内科		8代謝内科
<input type="radio"/>	9感染症内科		10アレルギー疾患内科またはアレルギー科				11リウマチ科
診療実績							
「アレルギー疾患内科またはアレルギー科」、「リウマチ科」の診療内容は免疫内科、「内分泌内科」、「代謝内科」の診療内容は糖尿病・内分泌・代謝内科、「血液内科」の診療内容は血液・腫瘍内科で提供している。							

(注) 1 「内科と組み合わせた診療科名等」欄については、標榜している診療科名に○印を付けること。
2 「診療実績」欄については、「内科と組み合わせた診療科名等」欄において、標榜していない診療科がある場合、その診療科で提供される医療を、他の診療科で提供している旨を記載すること。

(2) 外科

外科						無	
外科と組み合わせた診療科名							
○	1呼吸器外科	○	2消化器外科		3乳腺外科		4心臓外科
	5血管外科	○	6心臓血管外科		7内分泌外科	○	8小児外科
診療実績							
「乳腺外科」、「内分泌外科」の診療内容は乳腺・内分泌外科で提供している。							

(注) 1 「外科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名に○印を付けること。
 2 「診療実績」欄については、「外科」「呼吸器外科」「消化器外科」「乳腺外科」「心臓外科」「血管外科」「心臓血管外科」「内分泌外科」「小児外科」のうち、標榜していない科がある場合は、他の標榜科での当該医療の提供実績を記載すること(「心臓血管外科」を標榜している場合は、「心臓外科」「血管外科」の両方の診療を提供しているとして差し支えないこと)。

(3) その他の標榜していることが求められる診療科名

	1精神科	○	2小児科	○	3整形外科	○	4脳神経外科
○	5皮膚科	○	6泌尿器科		7産婦人科	○	8産科
○	9婦人科	○	10眼科	○	11耳鼻咽喉科	○	12放射線科
	13放射線診断科		14放射線治療科	○	15麻酔科	○	16救急科

(注) 標榜している診療科名に○印を付けること。

(4) 歯科

歯科						有	
歯科と組み合わせた診療科名							
	1小児歯科		2矯正歯科		3歯科口腔外科		
歯科の診療体制							

(注) 1 「歯科」欄及び「歯科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名に○印を付けること。
 2 「歯科の診療体制」欄については、医療法施行規則第六条の四第五項の規定により、標榜している診療科名として「歯科」を含まない病院については記入すること。

(5) (1)～(4)以外でその他に標榜している診療科名

1	糖尿病・内分泌・代謝内科	2	アレルギー疾患リウマチ科	3	血液・腫瘍内科	4	老年内科	5	漢方内科
6	感染症内科	7	乳腺・内分泌外科	8	病理診断科	9	形成外科	10	リハビリテーション科
11	神経・精神科	12		13		14		15	
16		17		18		19		20	
21		22		23		24		25	

(注) 標榜している診療科名について記入すること。

5 病床数

精神	感染症	結核	療養	一般	合計
52				1034	1086

(単位: 床)

6 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

職種	常勤	非常勤	合計
医師	504	405.3	909.3
歯科医師	2	0	2
薬剤師	97	1.6	98.6
保健師	0	0	0
助産師	39	1	40
看護師	1017	15.6	1032.6
准看護師	0	0.8	0.8
歯科衛生士	3	0	3
管理栄養士	15	0	15

職種	員数
看護補助者	105
理学療法士	24
作業療法士	5
視能訓練士	20
義肢装具士	0
臨床工学士	41
栄養士	0
歯科技工士	0
診療放射線技師	67

職種	員数	
診療エックス線技師	0	
臨床検査	臨床検査技師	90
	衛生検査技師	2
	その他	0
あん摩マッサージ指圧師	0	
医療社会事業従事者	15	
その他の技術員	39	
事務職員	397	
その他の職員	64	

- (注) 1 報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること。
 2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めなくて記入すること。
 3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下2位を切り捨て、小数点以下1位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

7 専門の医師数

専門医名	人数(人)	専門医名	人数(人)
総合内科専門医	136	眼科専門医	26
外科専門医	150	耳鼻咽喉科専門医	17
精神科専門医	14	放射線科専門医	28
小児科専門医	41	脳神経外科専門医	16
皮膚科専門医	14	整形外科専門医	29
泌尿器科専門医	25	麻酔科専門医	18
産婦人科専門医	22	救急科専門医	23
		合計	559

- (注) 1 報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること。
 2 人数には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下1位を切り捨て、整数で算出して記入すること。

8 管理者の医療に係る安全管理の業務の経験

管理者名 (野々村 祝夫) 任命年月日 令和 6 年 4 月 1 日

医療クオリティ審議委員会・3号委員(令和2年4月～令和4年3月)
 高難度新規医療技術評価委員会・委員長(平成30年4月～令和6年3月)

9 前年度の平均の入院患者、外来患者及び調剤の数

歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科の前年度の平均の入院患者及び外来患者の数

	歯科等以外	歯科等	合計
1日当たり平均入院患者数	815.5 人	0 人	815.5 人
1日当たり平均外来患者数	2304.8 人	17 人	2321.8 人
1日当たり平均調剤数		1045.7	剤
必要医師数		218	人

必要歯科医師数	1	人
必要薬剤師数	28	人
必要(准)看護師数	487	人

- (注) 1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療料を受診した患者数を記入すること。
2 入院患者数は、前年度の各科別の入院患者延数(毎日の24時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。
3 外来患者数は、前年度の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。
4 調剤数は、前年度の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。
5 必要医師数、必要歯科医師数、必要薬剤師数及び必要(准)看護師数については、医療法施行規則第二十二条

10 施設の構造設備

施設名	床面積	主要構造	設備概要			
集中治療室	595.33 ㎡	鉄骨鉄筋コンクリート	病床数	29 床	心電計	有
			人工呼吸装置	有	心細動除去装置	有
			その他の救急蘇生装置	有	ペースメーカー	有
無菌病室等	[固定式の場合] 床面積 420.22 ㎡		病床数	30 床		
	[移動式の場合] 台数 15 台					
医薬品情報管理室	[専用室の場合] 床面積 55 ㎡					
	[共用室の場合] 共用する室名					
化学検査室	643 ㎡	鉄骨鉄筋コンクリート	(主な設備)	検査台、遠心分離機、自動分析装置		
細菌検査室	135 ㎡	鉄骨鉄筋コンクリート	(主な設備)	検査台、顕微鏡、恒温器、安全キャビネット		
病理検査室	305 ㎡	鉄骨鉄筋コンクリート	(主な設備)	検査台、顕微鏡、ドラフトチャンバー		
病理解剖室	65 ㎡	鉄骨鉄筋コンクリート	(主な設備)	解剖台、保管庫、冷蔵庫		
研究室	12094 ㎡	鉄骨鉄筋コンクリート	(主な設備)	パソコン等OA機器、実験台、保管庫		
講義室	1187 ㎡	鉄骨鉄筋コンクリート	室数 7 室	收容定員	953	人
図書室	3606 ㎡	鉄筋コンクリート	室数 - 室	蔵書数	351000	冊程度

- (注) 1 主要構造には、鉄筋コンクリート、簡易耐火、木造等の別を記入すること。
2 主な設備は、主たる医療機器、研究用機器、教育用機器を記入すること。

11 紹介率及び逆紹介率の前年度の平均値

紹介率	99.0	%	逆紹介率	88.3	%
算出根拠	A: 紹介患者の数		19207		人
	B: 他の病院又は診療所に紹介した患者の数		18014		人
	C: 救急用自動車によって搬入された患者の数		988		人
	D: 初診の患者の数		20407		人

- (注) 1 「紹介率」欄は、A、Cの和をDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。
2 「逆紹介率」欄は、BをDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。
3 A、B、C、Dは、それぞれの前年度の延数を記入すること。

12 監査委員会の委員名簿及び委員の選定理由(注)

氏名	所属	委員長 (○を付す)	選定理由	利害関係	委員の要件 該当状況

倉智 博久	大阪府立病院機構 大阪母子医療センター 総長		医療側・経営側の両知識を有する者として選定	無	1
橋本 重厚	福島県立医科大学 会津医療センター糖尿病内分泌代謝・腎臓内科学講座教授 同附属病院医療安全管理部長		医療安全管理部長として医療安全管理の専門家として選定		1
水島 幸子	水島綜合法律事務所 所長		法律の専門家である上、医療に精通している者として選定		1
橋本 佐与子	認定NPO法人 ささえあい医療人権センター COML 理事		患者・医療者双方のコミュニケーション能力を高める活動等に取り組み、患者目線で医療について助言できる者として選定		2
井上 恵嗣	大阪大学理事		リスク管理を担当する理事として選定		3

(注) 「委員の要件該当状況」の欄は、次の1～3のいずれかを記載すること。

1. 医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者
2. 医療を受ける者その他の医療従事者以外の者(1.に掲げる者を除く。)
3. その他

13 監査委員会の委員名簿及び委員の選定理由の公表の状況

委員名簿の公表の有無	有
委員の選定理由の公表の有無	有
公表の方法	
大阪大学ホームページにて公開	

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

3 その他の高度の医療

医療技術名	経カテーテル的三尖弁留置術	取扱患者数	3
当該医療技術の概要 重度三尖弁閉鎖不全にて心不全症状を有する患者で開胸の手術リスクが高い患者に対して行っている			
医療技術名	卵巣機能不全患者に対するDHEAを用いた卵巣機能改善	取扱患者数	10
当該医療技術の概要 早発卵巣機能不全(早発閉経)や、卵巣刺激におけるPoor responderなどの卵巣機能不全患者に対し、DHEA(Dehydroepiandrosterone)の内服治療を行うことで、卵巣機能改善を図る。			
医療技術名	腹腔鏡下傍大動脈リンパ節郭清術	取扱患者数	13
当該医療技術の概要 中・高リスクの子宮体癌に対して、一期的に傍大動脈リンパ節郭清術を腹腔鏡手術で行うことで、低侵襲治療を提供する。			
医療技術名	腹腔鏡下卵巣癌根治術	取扱患者数	4
当該医療技術の概要 卵巣癌に対する根治手術を腹腔鏡手術で行い、安全性を検討する。			
医療技術名	腹腔鏡下骨盤除臓術	取扱患者数	1
当該医療技術の概要 直腸や膀胱を子宮・膣と合併切除する拡大手術について、腹腔鏡手術で行い、低侵襲化を図る手術である			
医療技術名	卵巣機能不全患者に対するDHEAを用いた卵巣機能改善	取扱患者数	10
当該医療技術の概要 早発卵巣機能不全(早発閉経)や、卵巣刺激におけるPoor responderなどの卵巣機能不全患者に対し、DHEA(Dehydroepiandrosterone)の内服治療を行うことで、卵巣機能改善を図る。			
医療技術名	筋萎縮性側索硬化症(ALS)に対するEPI-589経口投与療法	取扱患者数	1
当該医療技術の概要 患者申出療養制度に基づいて、先行する医師主導治験においてALSに対し一定の効果が期待されるEPI-589を、同治験に参加したALS患者に対し再投与した際の安全性、忍容性および効果を確認する。			
医療技術名	神経内分泌腫瘍に対するラジオアイソトープ(RI)治療	取扱患者数	20
当該医療技術の概要 神経内分泌腫瘍(NET)に対するラジオアイソトープ治療(ルタテラ®)を実施できる。			
医療技術名	褐色細胞腫・パラガングリオーマに対するラジオアイソトープ(RI)治療	取扱患者数	5
当該医療技術の概要 褐色細胞腫・パラガングリオーマに対するラジオアイソトープ治療(ライアット®)を実施できる。			
医療技術名	皮膚・軟部の脈管奇形に対するIVR治療	取扱患者数	44
当該医療技術の概要 頭頸部・四肢・体幹部等の脈管奇形(血管奇形・リンパ管奇形及びそれらの混合型)に対して塞栓術や硬化療法などIVR(interventional radiology)治療を行う。			

(注) 1 当該医療機関において高度の医療と判断するものが他にあれば、前年度の実績を記入すること。

(注) 2 医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として十以上の診療科名を標榜する病院については、他の医療機関での実施状況を含め、当該医療技術が極めて先駆的であることについて記入すること(当該医療が先進医療の場合についても記入すること)。

その他の高度医療の種類合計数	10
扱い患者数の合計(人)	111

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

4 指定難病についての診療

疾患名	患者数	疾患名	患者数
1 球脊髄性筋萎縮症	6	56 原発性免疫不全症候群	34
2 筋萎縮性側索硬化症	43	57 IgA腎症	55
3 脊髄性筋萎縮症	6	58 多発性嚢胞腎	119
4 進行性核上性麻痺	49	59 黄色靱帯骨化症	3
5 パーキンソン病	597	60 後縦靱帯骨化症	68
6 大脳皮質基底核変性症	12	61 広範脊柱管狭窄症	10
7 ハンチントン病	3	62 特発性大腿骨頭壊死症	71
8 神経有棘赤血球症	4	63 下垂体性ADH分泌異常症	17
9 シャルコー・マリー・トゥース病	5	64 下垂体性TSH分泌亢進症	6
10 重症筋無力症	258	65 下垂体性PRL分泌亢進症	17
11 多発性硬化症/視神経脊髄炎	209	66 クッシング病	20
12 慢性炎症性脱髄性多発神経炎/多巣性運動ニューロパチー	25	67 下垂体性ゴナドトロピン分泌亢進症	4
13 封入体筋炎	4	68 下垂体性成長ホルモン分泌亢進症	57
14 クロウ・深瀬症候群	1	69 下垂体前葉機能低下症	202
15 多系統萎縮症	30	70 家族性高コレステロール血症(ホモ接合体)	4
16 脊髄小脳変性症(多系統萎縮症を除く。)	92	71 先天性副腎皮質酵素欠損症	6
17 ライソゾーム病	82	72 先天性副腎低形成症	1
18 副腎白質ジストロフィー	7	73 アジソン病	2
19 ミトコンドリア病	21	74 サルコイドーシス	114
20 もやもや病	29	75 特発性間質性肺炎	45
21 プリオン病	4	76 肺動脈性肺高血圧症	72
22 進行性多巣性白質脳症	1	77 慢性血栓塞栓性肺高血圧症	13
23 HTLV-1関連脊髄症	2	78 リンパ脈管筋腫症	39
24 全身性アミロイドーシス	37	79 網膜色素変性症	86
25 遠位型ミオパチー	3	80 バッド・キアリ症候群	2
26 神経線維腫症	101	81 特発性門脈圧亢進症	2
27 天疱瘡	31	82 原発性胆汁性胆管炎	49
28 表皮水疱症	44	83 旧病名(原発性胆汁性肝硬変)	17
29 膿疱性乾癬(汎発型)	11	84 原発性硬化性胆管炎	29
30 スティーヴンス・ジョンソン症候群	2	85 自己免疫性肝炎	285
31 中毒性表皮壊死症	3	86 クローン病	305
32 高安動脈炎	61	87 潰瘍性大腸炎	8
33 巨細胞性動脈炎	18	88 好酸球性消化管疾患	9
34 結節性多発動脈炎	18	89 慢性特発性偽性腸閉塞症	2
35 顕微鏡的多発血管炎	58	90 CFC症候群	2
36 多発血管炎性肉芽腫症	28	91 クリオピリン関連周期熱症候群	1
37 好酸球性多発血管炎性肉芽腫症	47	92 若年性特発性関節炎	1
38 悪性関節リウマチ	7	93 旧病名(全身型若年性特発性関節炎)	1
39 パージャール病	11	94 TNF受容体関連周期性症候群	1
40 原発性抗リン脂質抗体症候群	7	95 ブラウ症候群	4
41 全身性エリテマトーデス	476	96 先天性ミオパチー	44
42 皮膚筋炎/多発性筋炎	148	97 筋ジストロフィー	1
43 全身性強皮症	220	98 非ジストロフィー性ミオトニー症候群	2
44 混合性結合組織病	72	99 遺伝性周期性四肢麻痺	2
45 シェーグレン症候群	84	100 脊髄空洞症	1
46 成人スチル病	17	101 アイザックス症候群	4
47 再発性多発軟骨炎	15	102 皮膚下梗塞と白質脳症を伴う常染色体優性脳動脈症	12
48 ベーチェット病	123	103 前頭側頭葉変性症	1
49 特発性拡張型心筋症	333	104 痙攣重積型(二相性)急性脳症	1
50 肥大型心筋症	72	105 先天性無痛無汗症	1
51 拘束型心筋症	8	106 アレキサンダー病	1
52 再生不良性貧血	52	107 限局性皮質異形成	1
53 自己免疫性溶血性貧血	11	108 神経細胞移動異常症	1
54 発作性夜間ヘモグロビン尿症	18	109 先天性大脳白質形成不全症	1
55 特発性血小板減少性紫斑病	91	110 ミオクロニー脱力発作を伴うてんかん	1
		レノックス・ガスター症候群	1
		ウエスト症候群	3

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

4 指定難病についての診療

疾患名	患者数	疾患名	患者数
111 ラスムツセン脳炎	2	166 軟骨無形成症	3
112 難治頻回部分発作重症型急性脳炎	1	167 リンパ管腫症/ゴーハム病	2
113 レット症候群	3	168 巨大リンパ管奇形(頸部顔面病変)	1
114 スタージ・ウェーバー症候群	2	169 巨大静脈奇形(頸部口腔咽頭びまん性病変)	4
115 結節性硬化症	57	170 巨大動静脈奇形(頸部顔面又は四肢病変)	6
116 色素性乾皮症	1	171 クリッペル・トレノネー・ウェーバー症候群	2
117 先天性魚鱗癬	1	172 後天性赤芽球癆	1
118 家族性良性慢性天疱瘡	1	173 ファンコニ貧血	1
119 類天疱瘡(後天性表皮水疱症を含む。)	18	174 自己免疫性後天性凝固因子欠乏症	1
120 特発性後天性全身性無汗症	24	175 非特異性多発性小腸潰瘍症	1
121 弾性線維性仮性黄色腫	4	176 ヒルシュスブルグ病(全結腸型又は小腸)	3
122 マルフアン症候群	9	177 総排泄腔外反症	1
123 エーラス・ダンロス症候群	5	178 総排泄腔遺残	1
124 ウィルソン病	14	179 先天性横隔膜ヘルニア	1
125 低ホスファターゼ症	4	180 胆道閉鎖症	15
126 VATER症候群	1	181 アラジール症候群	2
127 ジュベール症候群関連疾患 旧病名(有馬症候群)	2	182 遺伝性膀胱炎	1
128 ATR-X症候群	1	183 IgG4関連疾患	44
129 多脾症候群	2	184 黄斑ジストロフィー	1
130 ウェルナー症候群	4	185 好酸球性副鼻腔炎	56
131 プラダー・ウィリ症候群	2	186 先天異常症候群	2
132 ソース症候群	1	187 先天性三尖弁狭窄症	1
133 1p36欠失症候群	1	188 特発性血栓症(遺伝性血栓性素因によるものに限る。)	3
134 22q11.2欠失症候群	1	189 無虹彩症	11
135 修正大血管転位症	3	190 先天性気管狭窄症/先天性声門下狭窄症 旧病名(先天性気管狭窄症)	2
136 完全大血管転位症	5	191 特発性多中心性キャッスルマン病	24
137 単心室症	15	192 ネフロン癆	1
138 左心低形成症候群	2	193	
139 三尖弁閉鎖症	6	194	
140 心室中隔欠損を伴わない肺動脈閉鎖症	1	195	
141 ファロー四徴症	12	196	
142 両大血管右室起始症	5	197	
143 アルポート症候群	2	198	
144 急速進行性糸球体腎炎	4	199	
145 一次性ネフローゼ症候群	68	200	
146 一次性膜性増殖性糸球体腎炎	4	201	
147 紫斑病性腎炎	2	202	
148 間質性膀胱炎(ハンナ型)	1	203	
149 オスラー病	14	204	
150 肺胞低換気症候群	1	205	
151 ペルオキシソーム病(副腎白質ジストロフィーを除く。)	1	206	
152 副甲状腺機能低下症	8	207	
153 偽性副甲状腺機能低下症	1	208	
154 ビタミンD抵抗性くる病/骨軟化症	10	209	
155 フェニルケトン尿症	5	210	
156 グルコーストランスporter-1欠損症	7	211	
157 尿素サイクル異常症	2	212	
158 ポルフィリン症	1	213	
159 肝型糖原病	3	214	
160 シトステロール血症	4	215	
161 原発性高カイロミクロン血症	2	216	
162 脳髄黄色腫症	1	217	
163 家族性地中海熱	3	218	
164 強直性脊椎炎	39	219	
165 骨形成不全症	5	220	

疾患数	192
合計患者数(人)	6165

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

5 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(基本診療料)

施設基準の種類	施設基準の種類
・せん妄ハイリスク患者ケア加算	・新生児治療回復室入院医療管理料
・データ提出加算	・診療録管理体制加算1
・ハイケアユニット入院医療管理料1	・精神科リエゾンチーム加算
・ハイリスク妊娠管理加算	・精神科急性期医師配置加算
・ハイリスク分娩管理加算	・精神科身体合併症管理加算
・医師事務作業補助体制加算1	・精神疾患診療体制加算
・医師事務作業補助体制加算2	・摂食障害入院医療管理加算
・医療安全対策加算1	・総合周産期特定集中治療室管理料
・栄養サポートチーム加算	・短期滞在手術等基本料1
・患者サポート体制充実加算	・地域医療体制確保加算
・感染対策向上加算1	・超急性期脳卒中加算
・看護職員処遇改善評価料	・特定機能病院入院基本料
・看護職員夜間配置加算	・特定集中治療室管理料1
・緩和ケア診療加算	・入退院支援加算
・急性期看護補助体制加算	・病棟薬剤業務実施加算1
・救急医療管理加算	・病棟薬剤業務実施加算2
・救命救急入院料4	・報告書管理体制加算
・呼吸ケアチーム加算	・放射線治療病室管理加算(治療用放射性同位元素による場合)
・歯科外来診療医療安全対策加算1	・放射線治療病室管理加算(密封小線源による場合)
・歯科外来診療感染対策加算1	・無菌治療室管理加算1
・重症患者初期支援充実加算	・無菌治療室管理加算2
・重症者等療養環境特別加算	・療養環境加算
・術後疼痛管理チーム加算	・褥瘡ハイリスク患者ケア加算
・初診料(歯科)の注1に掲げる基準	・
・小児入院医療管理料2	・
・情報通信機器を用いた診療に係る基準	・

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療料)

施設基準の種類	施設基準の種類
・1回線量増加加算	・人工臓器検査、人工臓器療法
・BRCA1/2遺伝子検査	・腎代替療法指導管理料
・CAD/CAM冠及びCAD/CAMインレー	・生殖補助医療管理料1
・CT撮影及びMRI撮影	・生体腎移植術
・HPV核酸検出及びHPV核酸検出(簡易ジェノタイプ判定)	・生体部分肝移植術
・ウイルス・細菌核酸多項目同時検出(SARS-CoV-2核酸検出を含まないもの)	・生体部分小腸移植術
・う蝕歯無痛的窩洞形成加算	・生体部分肺移植術
・がんゲノムプロファイリング検査	・精神科作業療法
・がん患者リハビリテーション料	・精神科退院時共同指導料1及び2
・がん患者指導管理料イ	・精巣内精子採取術
・がん患者指導管理料ニ	・静脈圧迫処置(慢性静脈不全に対するもの)
・がん患者指導管理料ハ	・脊髄刺激装置植込術及び脊髄刺激装置交換術
・がん患者指導管理料ロ	・仙骨神経刺激装置植込術及び仙骨神経刺激装置交換術(便失禁)
・がん治療連携計画策定料	・先天性代謝異常症検査
・がん性疼痛緩和指導管理料	・染色体検査の注2に規定する基準
・ゲル充填人工乳房を用いた乳房再建術(乳房切除後)	・前立腺針生検法(MRI撮影及び超音波検査融合画像によるもの)
・コーディネート体制充実加算	・全視野精密網膜電図
・コンタクトレンズ検査料1	・全身MRI撮影加算
・ハイリスク妊産婦共同管理料(Ⅰ)	・組織拡張器による再建手術(乳房(再建手術)の場合に限る。)
・ハイリスク妊産婦連携指導料2	・早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術
・バルーン閉塞下逆行性経静脈的塞栓術	・多血小板血漿処置
・ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術	・体外式膜型人工肺管理料
・ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術(リードレスペースメーカー)	・胎児胸腔・羊水腔シャント術
・ヘッドアップティルト試験	・胎児心エコー法
・ポジトロン断層・コンピューター断層複合撮影(アミロイドPETイメージング剤を用いた場合を除く。)	・胎児輸血術及び臍帯穿刺
・ポジトロン断層撮影(アミロイドPETイメージング剤を用いた場合を除く。)	・大動脈バルーンパンピング法(IABP法)
・レーザー機器加算	・単線維筋電図

・ロービジョン検査判断料	・胆管悪性腫瘍手術(膵頭十二指腸切除及び肝切除(葉以上)を伴うものに限る。)
・悪性腫瘍病理組織標本加算	・中枢神経磁気刺激による誘発筋電図
・移植後患者指導管理料(臓器移植後)	・長期継続頭蓋内脳波検査
・移植後患者指導管理料(造血幹細胞移植後)	・長期脳波ビデオ同時記録検査1
・移植後抗体関連型拒絶反応治療における血漿交換療法	・椎間板内酵素注入療法
・移植用部分肝採取術(生体)(腹腔鏡によるもの)	・通院・在宅精神療法の注8に規定する療養生活継続支援加算
・遺伝カウンセリング加算	・定位放射線治療
・遺伝学的検査の注1に規定する施設基準	・定位放射線治療呼吸性移動対策加算
・遺伝性腫瘍カウンセリング加算	・糖尿病合併症管理料
・医科点数表第2章第10部手術の通則の16に掲げる手術	・糖尿病透析予防指導管理料
・医科点数表第2章第10部手術の通則の19に掲げる手術(遺伝性乳癌卵巣癌症候群患者に対する子宮附属器腫瘍摘出術)	・透析液水質確保加算及び慢性維持透析濾過加算
・医科点数表第2章第10部手術の通則の19に掲げる手術(遺伝性乳癌卵巣癌症候群患者に対する乳房切除術に限る。)	・頭蓋内電極植込術(脳深部電極によるもの(7本以上の電極による場合)に限る。)
・医療機器安全管理料1	・頭部MRI撮影加算
・医療機器安全管理料2	・頭頸部悪性腫瘍光線力学療法
・医療保護入院等診療料	・同種死体肝移植術
・一般不妊治療管理料	・同種死体小腸移植術
・運動器リハビリテーション料(I)	・同種死体腎移植術
・遠隔画像診断	・同種死体肺移植術
・黄斑局所網膜電図	・同種死体膵移植術、同種死体膵腎移植術
・下肢創傷処置管理料	・同種死体膵島移植術
・画像診断管理加算4	・同種心移植術
・画像誘導放射線治療(IGRT)	・同種心肺移植術
・画像誘導密封小線源治療加算	・導入期加算2及び腎代替療法実績加算
・外傷全身CT加算	・導入期加算3及び腎代替療法実績加算
・外来栄養食事指導料の注3に規定する基準	・内喉頭筋内注入術(ボツリヌス毒素によるもの)
・外来化学療法加算1	・内視鏡下脳腫瘍生検術及び内視鏡下脳腫瘍摘出術
・外来緩和ケア管理料	・内視鏡下鼻・副鼻腔手術V型(拡大副鼻腔手術)及び経鼻内視鏡下鼻副鼻腔悪性腫瘍手術(頭蓋底郭清、再建を伴うものに限る。)
・外来腫瘍化学療法診療料1	・内視鏡的逆流防止粘膜切除術
・外来放射線治療加算	・内服・点滴誘発試験
・外来放射線照射診療料	・難治性高コレステロール血症に伴う重度尿蛋白を呈する糖尿病性腎症に対するLD Lアフェレシス療法

・角結膜悪性腫瘍切除手術	・乳癌センチネルリンパ節加算1及びセンチネルリンパ節生検(併用)
・角膜移植術(内皮移植加算)	・乳癌センチネルリンパ節加算2及びセンチネルリンパ節生検(単独)
・冠動脈CT撮影加算	・乳腺悪性腫瘍手術(乳輪温存乳房切除術(腋窩郭清を伴わないもの)及び乳輪温存乳房切除術(腋窩郭清を伴うもの))
・肝エラストグラフィ加算	・乳腺炎重症化予防ケア・指導料
・救急搬送診療料の注4に規定する重症患者搬送加算	・乳腺腫瘍画像ガイド下吸引術(一連につき)(MRIによるもの)
・強度変調放射線治療(IMRT)	・乳房MRI撮影加算
・胸腔鏡下拡大胸腺摘出術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	・脳血管疾患等リハビリテーション料(I)
・胸腔鏡下縦隔悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	・脳刺激装置植込術及び脳刺激装置交換術
・胸腔鏡下食道悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	・脳磁図(その他のもの)
・胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術(気管支形成を伴う肺切除)	・脳磁図(自発活動を測定するもの)
・胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術(区域切除で内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	・脳波検査判断料1
・胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術(肺葉切除又は1肺葉を超えるもので内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	・肺悪性腫瘍手術(壁側・臓側胸膜全切除(横隔膜、心膜合併切除を伴うもの)に限る。)
・胸腔鏡下弁形成術	・皮膚悪性腫瘍センチネルリンパ節生検加算
・胸腔鏡下弁形成術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	・皮膚移植術(死体)
・胸腔鏡下弁置換術	・病理診断管理加算2
・胸腔鏡下良性縦隔腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	・不整脈手術 左心耳閉鎖術(経カテーテル的手術によるもの)
・鏡視下咽頭悪性腫瘍手術(軟口蓋悪性腫瘍手術を含む。)	・不整脈手術 左心耳閉鎖術(胸腔鏡下によるもの)
・鏡視下喉頭悪性腫瘍手術	・婦人科特定疾患治療管理料
・経カテーテル弁置換術(経心尖大動脈弁置換術及び経皮の大動脈弁置換術)	・腹腔鏡下リンパ節群郭清術(側方)
・経カテーテル弁置換術(経皮的肺動脈弁置換術)	・腹腔鏡下リンパ節群郭清術(傍大動脈)
・経外耳道の内視鏡下鼓室形成術	・腹腔鏡下胃縮小術
・経気管支凍結生検法	・腹腔鏡下胃切除術(単純切除術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合))及び腹腔鏡下胃切除術(悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの))
・経皮的冠動脈形成術(特殊カテーテルによるもの)	・腹腔鏡下胃全摘術(単純全摘術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合))及び腹腔鏡下胃全摘術(悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの))
・経皮的循環補助法(ポンプカテーテルを用いたもの)	・腹腔鏡下肝切除術
・経皮的僧帽弁クリップ術	・腹腔鏡下肝切除術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・経皮的中隔心筋焼灼術	・腹腔鏡下結腸悪性腫瘍切除術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・血流予備量比コンピューター断層撮影	・腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術(子宮体がんに限る。)
・検査・画像情報提供加算及び電子的診療情報評価料	・腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術(子宮体がんに対して内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・検体検査管理加算(I)	・腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術(子宮頸がんに限る。)
・検体検査管理加算(IV)	・腹腔鏡下子宮癒痕部修復術

・呼吸器リハビリテーション料(Ⅰ)	・腹腔鏡下十二指腸局所切除術(内視鏡処置を併施するもの)
・後縦靭帯骨化症手術(前方進入によるもの)	・腹腔鏡下小切開骨盤内リンパ節群郭清術、腹腔鏡下小切開後腹膜リンパ節群郭清術、腹腔鏡下小切開後腹膜腫瘍摘出術、腹腔鏡下小切開後腹膜悪性腫瘍手術、腹腔鏡下小切開副腎摘出術、腹腔鏡下小切開腎部分切除術、腹腔鏡下小切開腎摘出術、腹腔鏡下小切開尿管腫瘍摘出術、腹腔鏡下小切開腎(尿管)悪性腫瘍手術、腹腔鏡下小切開膀胱腫瘍摘出術及び腹腔鏡下小切開前立腺悪性腫瘍手術
・口腔粘膜処置	・腹腔鏡下腎悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)及び腹腔鏡下尿管悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)
・喉頭形成手術(甲状軟骨固定用器具を用いたもの)	・腹腔鏡下腎盂形成手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・抗HLA抗体(スクリーニング検査)及び抗HLA抗体(抗体特異性同定検査)	・腹腔鏡下仙骨腫固定術
・抗悪性腫瘍剤処方管理加算	・腹腔鏡下仙骨腫固定術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・抗精神病特定薬剤治療指導管理料(治療抵抗性統合失調症治療指導管理料に限る。)	・腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術
・硬膜外自家血注入	・腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)
・高エネルギー放射線治療	・腹腔鏡下総胆管拡張症手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・国際標準検査管理加算	・腹腔鏡下胆嚢悪性腫瘍手術(胆嚢床切除を伴うもの)
・骨移植術(軟骨移植術を含む。)(自家培養軟骨移植術に限る。)	・腹腔鏡下直腸切除・切断術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・骨格筋由来細胞シート心表面移植術	・腹腔鏡下副腎摘出術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)及び腹腔鏡下副腎髄質腫瘍摘出術(褐色細胞腫)(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)
・骨髄微小残存病変量測定	・腹腔鏡下噴門側胃切除術(単純切除術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合))及び腹腔鏡下噴門側胃切除術(悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの))
・在宅経肛門の自己洗腸指導管理料	・腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術
・在宅腫瘍治療電場療法指導管理料	・腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・在宅植込型補助人工心臓(非拍動流型)指導管理料	・腹腔鏡下腔式子宮全摘術(内視鏡手術用支援機器)
・四肢・軀幹軟部悪性腫瘍手術及び骨悪性腫瘍手術の注に掲げる処理骨再建加算	・腹腔鏡下睪腫瘍摘出術
・歯科治療時医療管理料	・腹腔鏡下睪体尾部腫瘍切除術
・持続血糖測定器加算(間歇注入シリンジポンプと連動しない持続血糖測定器を用いる場合)	・腹腔鏡下睪体尾部腫瘍切除術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・持続血糖測定器加算(間歇注入シリンジポンプと連動する持続血糖測定器を用いる場合)及び皮下連続式グルコース測定	・腹腔鏡下睪頭部腫瘍切除術
・時間内歩行試験及びシャトルウォーキングテスト	・腹腔鏡下睪頭部腫瘍切除術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・治療的角膜切除術(エキシマレーザーによるもの(角膜ジストロフィー又は帯状角膜変性に係るものに限る。))	・補助人工心臓
・磁気による膀胱等刺激法	・補聴器適合検査
・自家脂肪注入	・放射線治療専任加算
・手術時歯根面レーザー応用加算	・麻酔管理料(Ⅰ)
・集団コミュニケーション療法料	・麻酔管理料(Ⅱ)
・縦隔鏡下食道悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	・無菌製剤処理料

・小児運動器疾患指導管理料	・無心体双胎焼灼術
・小児補助人工心臓	・網膜再建術
・上顎骨形成術(骨移動を伴う場合に限る。)、下顎骨形成術(骨移動を伴う場合に限る。)	・薬剤管理指導料
・植込型骨導補聴器(直接振動型)植込術、人工内耳植込術、植込型骨導補聴器移植術及び植込型骨導補聴器交換術	・癒着性脊髄くも膜炎手術(脊髄くも膜剥離操作を行うもの)
・植込型除細動器移植術(経静脈リードを用いるもの又は皮下植込型リードを用いるもの)、植込型除細動器交換術(その他のもの)及び経静脈電極除去術	・輸血管管理料 I
・植込型除細動器移植術(心筋リードを用いるもの)及び植込型除細動器交換術(心筋リードを用いるもの)	・羊膜移植術
・植込型補助人工心臓(非拍動流型)	・両室ペーシング機能付き植込型除細動器移植術(経静脈電極の場合)及び両室ペーシング機能付き植込型除細動器交換術(経静脈電極の場合)
・食道縫合術(穿孔、損傷)(内視鏡によるもの)、内視鏡下胃、十二指腸穿孔瘻孔閉鎖術、胃瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、小腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、結腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、腎(腎盂)腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、尿管腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、膀胱腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、腔腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)	・両室ペーシング機能付き植込型除細動器移植術(心筋電極の場合)及び両室ペーシング機能付き植込型除細動器交換術(心筋電極の場合)
・心臓MRI撮影加算	・両心室ペースメーカー移植術(経静脈電極の場合)及び両心室ペースメーカー交換術(経静脈電極の場合)
・心臓カテーテル法による諸検査の血管内視鏡検査加算	・両心室ペースメーカー移植術(心筋電極の場合)及び両心室ペースメーカー交換術(心筋電極の場合)
・心臓ペースメーカー指導管理料の注5に規定する遠隔モニタリング加算	・療養・就労両立支援指導料の注3に規定する相談支援加算
・心大血管疾患リハビリテーション料(I)	・緑内障手術(緑内障治療用インプラント挿入術(プレートのあるもの))
・神経学的検査	・緑内障手術(緑内障手術(流出路再建術(眼内法)及び水晶体再建術併用眼内ドレーン挿入術))
・人工腎臓	・緑内障手術(濾過胞再建術(needle法))
・人工中耳植込術	・連携充実加算
・人工尿道括約筋植込・置換術	・膀胱水圧拡張術及びハンナ型間質性膀胱炎手術(経尿道)
・人工肛門・人工膀胱造設術前処置加算	

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

7 診療報酬の算定方法に先進医療から採り入れられた医療技術

施設基準等の種類	施設基準等の種類
・角膜ジストロフィーの遺伝子解析(2020.4.1～)	・
・腹腔鏡下傍大動脈リンパ節郭清術(2020.4.1～)	・
・流産検体を用いた染色体検査(2022.4.1～)	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・

(注)1 特定機能病院の名称の承認申請の場合には、必ずしも記入しなくともよいこと。

(注)2 「施設基準等の種類」欄には、特定機能病院の名称の承認申請又は業務報告を行う3年前の4月以降に、診療報酬の算定方法(平成二〇年厚生労働省告示第五九号)に先進医療(当該病院において提供していたものに限る。)から採り入れられた医療技術について記入すること。

8 病理・臨床検査部門の概要

臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況	① 臨床検査部門と病理診断部門は別々である。 2. 臨床検査部門と病理診断部門は同一部門にまとめられている。	
臨床部門が病理診断部門或いは臨床検査部門と開催した症例検討会の開催頻度	25 (CPCの開催)	
剖 検 の 状 況	剖検症例数(例)	29
	剖検率(%)	6.8%

)1 「臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況」欄については、選択肢の1・2どちらかを選択する(○で囲む等)こ

(注)2 「症例検討会の開催頻度」及び「剖検の状況」欄には、前年度の実績を記入すること。

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額		
難治性腎障害に関する調査研究	猪阪 善隆	腎臓内科学	27,950,000	補 委	厚生労働省
難治性腎障害に関する調査研究	松井 功	腎臓内科学	300,000	補 委	厚生労働省
難治性腎障害に関する調査研究	水井 理之	腎臓内科学	200,000	補 委	厚生労働省
難治性腎障害に関する調査研究	井上 和則	腎臓内科学	200,000	補 委	厚生労働省
難治性腎障害に関する調査研究	坂口 悠介	腎臓内科学	300,000	補 委	厚生労働省
前眼部難病の診療ガイドライン作成および普及・啓発の研究	西田 幸二	眼科学	24,000,000	補 委	厚生労働省
レット症候群の臨床調査研究	青天目 信	小児科学	500,000	補 委	厚生労働省
成長障害・性分化疾患を伴う内分泌症候群(ブラダーウィリ症候群・ヌーナン症候群を含む)の診療水準向上を目指す調査研究	橘 真紀子	小児科学	300,000	補 委	厚生労働省
呼吸器系先天異常疾患の医療水準向上と移行期医療に関する研究	奥山 宏臣	小児成育外科学	300,000	補 委	厚生労働省
希少難治性消化器疾患の長期的QOL向上と小児期からのシームレスな医療体制構築	奥山 宏臣	小児成育外科学	200,000	補 委	厚生労働省
強皮症・皮膚線維化疾患の診断基準・重症度分類・診療ガイドライン・疾患レジストリに関する研究	植田 郁子	皮膚科学	180,000	補 委	厚生労働省
前眼部難病の診療ガイドライン作成および普及・啓発の研究	大家 義則	眼科学	500,000	補 委	厚生労働省
生まれ年度ごとの HPV ワクチン接種状況と子宮頸がん罹患リスクの評価とキャッチアップ接種者に対する子宮頸がん検診の受診勧奨手法の開発	上田 豊	産科学婦人科学	19,500,000	補 委	厚生労働省
特発性心筋症の診断・ゲノム情報利活用に関する調査研究	坂田 泰史	循環器内科学	21,450,000	補 委	厚生労働省
安全な地域医療の継続性確保に資する医療機関における情報セキュリティ人材の育成と配置に関する研究	武田 理宏	医療情報学	7,000,000	補 委	厚生労働省
がん対策の年齢調整死亡率・罹患率に与える影響と要因に関する研究	上田 豊	産科学婦人科学	450,000	補 委	厚生労働省

稀少てんかんの診療指針と包括医療の研究	青天目 信	小児科学	550,000	補 委	厚生労働省
特発性大腿骨頭壊死症の確定診断と重症度判定の向上に資する大規模多施設研究	濱田 英敏	運動器医工学治療学寄附講座	100,000	補 委	厚生労働省
自己免疫疾患に関する調査研究	藤本 学	皮膚科学	1,500,000	補 委	厚生労働省
間脳下垂体機能障害に関する調査研究	向井 康祐	内分泌・代謝内科学	250,000	補 委	厚生労働省
特発性心筋症の診断・ゲノム情報利活用に関する調査研究	宮川 繁	心臓血管外科学	300,000	補 委	厚生労働省
先天性および若年性の視覚聴覚二重障害の難病に対する医療と支援に関する研究	太田 有美	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学	100,000	補 委	厚生労働省
難治性聴覚障害に関する調査研究	太田 有美	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学	300,000	補 委	厚生労働省
強皮症・皮膚線維化疾患の診断基準・重症度分類・診療ガイドライン・疾患レジストリに関する研究	嶋 良仁	血管作動温熱治療学共同研究講座	180,000	補 委	厚生労働省
慢性腎臓病(CKD)患者に特有の健康課題に適合した多職種連携による生活・食事指導等の実証研究	猪阪 善隆	腎臓内科学	600,000	補 委	厚生労働省
特発性造血障害に関する調査研究	保仙 直毅	血液・腫瘍内科学	500,000	補 委	厚生労働省
先天性および若年性の視覚聴覚二重障害の難病に対する医療と支援に関する研究	森本 壮	眼科学	70,000	補 委	厚生労働省
神経変性疾患領域における難病の医療水準の向上や患者のQOL向上に資する研究	望月 秀樹	神経内科学	500,000	補 委	厚生労働省
適切な医薬品安全性評価のための国際整合化を考慮した医療情報データベースの品質管理・標準化に関する研究	武田 理宏	医療情報学	2,600,000	補 委	厚生労働省
発達障害児の障害児サービス利用に係る医療受診の現状把握及び発達支援の必要性の判定のためのアセスメント方法の確立に向けた研究	下野 九理子	こころの発達神経科学講座	350,000	補 委	厚生労働省
母子保健情報のデジタル化とデータの利活用を推進するための研究	中川 慧	産科学婦人科学	200,000	補 委	厚生労働省
ライフスタイルに着目した慢性腎臓病(CKD)対策に資する研究	猪阪 善隆	腎臓内科学	300,000	補 委	厚生労働省
生成AIを用いた治験・臨床研究関連文書のデジタルトランスフォーメーションに向けた研究	土岐 祐一郎	消化器外科学1	2,756,000	補 委	厚生労働省
神経細胞内鉄代謝障害に基づく筋萎縮性側索硬化症の病態解明	長野 清一	神経難病認知症探索治療学寄附講座	2,860,000	補 委	独立行政法人日本学術振興会
自己糖鎖認識機構の制御によりがん認識能を増強したCAR-NK細胞の開発	保仙 直毅	血液・腫瘍内科学講座	3,510,000	補 委	独立行政法人日本学術振興会

炎症性骨破壊に関与する病原性破骨細胞の同定とその制御による新規治療法の開発	蛭名 耕介	免疫細胞生物学講座	5,200,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
がんエクソソーム抗原と内部RNA情報の統合解析による診断性能の最高精度化と応用	土岐 祐一郎	疾患データサイエンス学共同研究講座	130,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
がんエクソソーム抗原と内部RNA情報の統合解析による診断性能の最高精度化と応用	江口 英利	疾患データサイエンス学共同研究講座	130,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
老化細胞除去(Senolysis)ワクチンの実用化研究	島村 宗尚	健康発達医学寄附講座	455,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
タウ病理の脳内進展過程を標的とした認知症の層別化・個別化治療に向けた基盤的研究	武田 朱公	臨床遺伝子治療学寄附講座	4,030,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
神経軸索内局所翻訳機構に着目したALS/FTLDの病態解明と治療法開発	長野 清一	神経難病認知症探索治療学寄附講座	3,770,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
神経軸索内局所翻訳機構に着目したALS/FTLDの病態解明と治療法開発	池中 建介	神経難病認知症探索治療学寄附講座	650,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
骨細胞機能障害の解析と治療ターゲットの探索ー遺伝性骨疾患を対象としてー	窪田 拓生	小児科学講座	650,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
骨細胞機能障害の解析と治療ターゲットの探索ー遺伝性骨疾患を対象としてー	大幡 泰久	小児科学講座	650,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
肝細胞におけるp53活性化を起点とした肝前駆細胞由来発癌機構の解明	竹原 徹郎	消化器内科学講座	2,470,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
肝細胞におけるp53活性化を起点とした肝前駆細胞由来発癌機構の解明	巽 智秀	消化器内科学講座	1,300,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
肝細胞におけるp53活性化を起点とした肝前駆細胞由来発癌機構の解明	疋田 隼人	消化器内科学講座	1,300,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
ディープフェノタイピング・iPS細胞技術の融合による希少難治性心筋症診療体系構築	坂田 泰史	循環器内科学講座	3,380,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
ディープフェノタイピング・iPS細胞技術の融合による希少難治性心筋症診療体系構築	肥後 修一郎	循環器内科学講座	260,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
ディープフェノタイピング・iPS細胞技術の融合による希少難治性心筋症診療体系構築	大谷 朋仁	循環器内科学講座	260,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
ディープフェノタイピング・iPS細胞技術の融合による希少難治性心筋症診療体系構築	朝野 仁裕	循環器内科学講座	260,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
早期CKD患者の精密医療を目指した予後評価法の開発	猪阪 善隆	腎臓内科学講座	715,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
早期CKD患者の精密医療を目指した予後評価法の開発	井上 和則	腎臓内科学講座	195,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
早期CKD患者の精密医療を目指した予後評価法の開発	水井 理之	腎臓内科学講座	195,000	補委	独立行政法人日本学術振興会

早期CKD患者の精密医療を目指した予後評価法の開発	松井 功	腎臓内科学講座	195,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
自己抗体により規定される「4つの皮膚筋炎」病型の病態解明と特異的治療法の開発	藤本 学	皮膚科学講座	3,380,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
生体内組織形成術と軟骨細胞自己凝集化技術を組み合わせた大動物気管再生モデルの確立	奥山 宏臣	小児成育外科学講座	3,850,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
生体内組織形成術と軟骨細胞自己凝集化技術を組み合わせた大動物気管再生モデルの確立	出口 幸一	小児成育外科学講座	650,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
膵癌患者の飛躍的予後改善をめざした個別的治疗方針決定法の策定	江口 英利	消化器外科学2講座	2,080,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
膵癌患者の飛躍的予後改善をめざした個別的治疗方針決定法の策定	小林 省吾	消化器外科学2講座	130,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
膵癌患者の飛躍的予後改善をめざした個別的治疗方針決定法の策定	野田 剛広	医病 消化器外科(二外)	130,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
精巣特異的な代謝状態の全貌解明に基づく男性不妊症の新規治療基盤の構築	竹澤 健太郎	泌尿器科学講座	195,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
交感神経クロストークによる自己組織化能を用いた心オルガノイド・バイオ人工心臓創出	李 鍾國	心血管再生医学共同研究講座	3,120,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
交感神経クロストークによる自己組織化能を用いた心オルガノイド・バイオ人工心臓創出	坂田 泰史	心血管再生医学共同研究講座	390,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
VAEを用いた少数症例対応で説明可能な汎用的コンピュータ支援診断システムの構築	梁川 雅弘	人工知能画像診断学共同研究講座	260,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
VAEを用いた少数症例対応で説明可能な汎用的コンピュータ支援診断システムの構築	富山 憲幸	人工知能画像診断学共同研究講座	260,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
睡眠啓発アプリのAI化および睡眠習慣改善による発達促進と脳基盤変化の解明	下野 九理子	小児発達神経学領域	65,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
睡眠啓発アプリのAI化および睡眠習慣改善による発達促進と脳基盤変化の解明	岩谷 祥子	小児発達神経学領域	65,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
睡眠啓発アプリのAI化および睡眠習慣改善による発達促進と脳基盤変化の解明	毛利 育子	小児発達神経学領域	65,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
α シヌクレインが引き起こす凝集構造多型と疾患多様性獲得機序の解明	望月 秀樹	神経内科学講座	3,640,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
α シヌクレインが引き起こす凝集構造多型と疾患多様性獲得機序の解明	角田 溪太	神経内科学講座	130,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
α シヌクレインが引き起こす凝集構造多型と疾患多様性獲得機序の解明	池中 建介	神経内科学講座	260,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
認知症関連病的蛋白の翻訳後修飾を標的としたワクチン療法の開発	森下 竜一	臨床遺伝子治療学寄附講座	4,420,000	補委	独立行政法人日本学術振興会

認知症関連病的蛋白の翻訳後修飾を標的としたワクチン療法の開発	武田 朱公	臨床遺伝子治療学 寄附講座	1,300,000	補 委	独立行政法人日本学術 振興会
難治性癌に対する超高線量率炭素イオン線 照射を用いた免疫放射線治療法の開発	小川 和彦	放射線治療学講座	4,290,000	補 委	独立行政法人日本学術 振興会
難治性癌に対する超高線量率炭素イオン線 照射を用いた免疫放射線治療法の開発	玉利 慶介	放射線治療学講座	390,000	補 委	独立行政法人日本学術 振興会
ゲノム・エピゲノム編集をもちいたダウン症候 群の知的障害に対する遺伝子治療法開発	北畠 康司	小児科学講座	2,990,000	補 委	独立行政法人日本学術 振興会
全ゲノム解析基盤による機能・情報統合解析 と新規心筋症遺伝子の同定および機序解明	朝野 仁裕	循環器内科学講座	4,875,000	補 委	独立行政法人日本学術 振興会
全ゲノム解析基盤による機能・情報統合解析 と新規心筋症遺伝子の同定および機序解明	藏本 勇希	循環器内科学講座	130,000	補 委	独立行政法人日本学術 振興会
全ゲノム解析基盤による機能・情報統合解析 と新規心筋症遺伝子の同定および機序解明	宮下 洋平	循環器内科学講座	130,000	補 委	独立行政法人日本学術 振興会
グレリン/グレリン経口アナログによる外科的 悪液質の治療	土岐 祐一郎	消化器外科学2講座	2,990,000	補 委	独立行政法人日本学術 振興会
グレリン/グレリン経口アナログによる外科的 悪液質の治療	黒川 幸典	消化器外科学2講座	130,000	補 委	独立行政法人日本学術 振興会
グレリン/グレリン経口アナログによる外科的 悪液質の治療	山下 公太郎	消化器外科学2講座	130,000	補 委	独立行政法人日本学術 振興会
制御性T細胞を用いた移植免疫制御方法の 開発	宮川 繁	心臓血管外科学講 座	5,980,000	補 委	独立行政法人日本学術 振興会
制御性T細胞を用いた移植免疫制御方法の 開発	河村 拓史	心臓血管外科学講 座	130,000	補 委	独立行政法人日本学術 振興会
3次元変形矯正システムの発展的開発と基 礎研究、それらを包括運用するクラウドの構 築	田中 啓之	整形外科学講座	260,000	補 委	独立行政法人日本学術 振興会
3次元変形矯正システムの発展的開発と基 礎研究、それらを包括運用するクラウドの構 築	宮村 聡	整形外科学講座	260,000	補 委	独立行政法人日本学術 振興会
3次元変形矯正システムの発展的開発と基 礎研究、それらを包括運用するクラウドの構 築	岡田 潔	整形外科学講座	260,000	補 委	独立行政法人日本学術 振興会
3次元変形矯正システムの発展的開発と基 礎研究、それらを包括運用するクラウドの構 築	岩橋 徹	整形外科学講座	260,000	補 委	独立行政法人日本学術 振興会
3次元変形矯正システムの発展的開発と基 礎研究、それらを包括運用するクラウドの構 築	岡 久仁洋	整形外科学講座	260,000	補 委	独立行政法人日本学術 振興会
慢性期脊髄損傷に対する治療ストラテジー の確立	岡田 誠司	整形外科学講座	4,810,000	補 委	独立行政法人日本学術 振興会
遺伝的素因、生活習慣、腸内細菌叢の多面 的解析に基づく前立腺癌の早期診断戦略の 構築	野々村 祝夫	泌尿器科学講座	1,950,000	補 委	独立行政法人日本学術 振興会

遺伝的素因、生活習慣、腸内細菌叢の多面的解析に基づく前立腺癌の早期診断戦略の構築	波多野 浩士	泌尿器科学講座	260,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
尿路性器癌における全身循環細菌叢及び細菌関連代謝が構築する癌局所免疫状態の解明	河嶋 厚成	泌尿器科学講座	4,680,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
尿路性器癌における全身循環細菌叢及び細菌関連代謝が構築する癌局所免疫状態の解明	西塔 拓郎	泌尿器科学講座	65,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
尿路性器癌における全身循環細菌叢及び細菌関連代謝が構築する癌局所免疫状態の解明	野々村 祝夫	泌尿器科学講座	65,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
尿路性器癌における全身循環細菌叢及び細菌関連代謝が構築する癌局所免疫状態の解明	和田 尚	泌尿器科学講座	65,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
HPVワクチン再普及のシミュレーションと生まれ年度別の子宮頸がん罹患リスク予測	上田 豊	産科学婦人科学講座	3,380,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
HPVワクチン再普及のシミュレーションと生まれ年度別の子宮頸がん罹患リスク予測	中川 慧	産科学婦人科学講座	260,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
PDX モデルマウスとオミックス解析を用いた希少がん保存バンクの設立	澤田 健二郎	産科学婦人科学講座	1,040,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
PDX モデルマウスとオミックス解析を用いた希少がん保存バンクの設立	小玉 美智子	産科学婦人科学講座	1,040,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
ポジティブ心理健康資源と認知症発症の関連とメカニズム解明に関する観察・介入研究	武田 朱公	公衆衛生学講座	130,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
睡眠障害が発達脳に及ぼす影響の神経基盤の解明ー神経発達症との関連において	下野 九理子	高次脳機能損傷学領域	8,970,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
睡眠障害が発達脳に及ぼす影響の神経基盤の解明ー神経発達症との関連において	橘 雅弥	高次脳機能損傷学領域	130,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
睡眠障害が発達脳に及ぼす影響の神経基盤の解明ー神経発達症との関連において	岩谷 祥子	高次脳機能損傷学領域	130,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
睡眠障害が発達脳に及ぼす影響の神経基盤の解明ー神経発達症との関連において	毛利 育子	高次脳機能損傷学領域	130,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
慢性炎症におけるpalingenesis過程の可視化と分化破綻機構および腫瘍化の解明	森井 英一	病態病理学講座	3,380,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
自己免疫性神経筋疾患の発症機構解明と治療カタログ化の試み	奥野 龍禎	神経内科学講座	4,290,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
炎症調節の破綻による細胞間ネットワークを介した胆膵癌エコシステム形成機構の解明	小玉 尚宏	消化器内科学講座	7,800,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
肝癌発生微小環境としての肝細胞死を起点とした非実質細胞の細胞老化の意義の解明	疋田 隼人	消化器内科学講座	5,850,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
肝癌発生微小環境としての肝細胞死を起点とした非実質細胞の細胞老化の意義の解明	田畑 優貴	消化器内科学講座	650,000	補委	独立行政法人日本学術振興会

侵襲時再生治療に関する新規制御因子の 解明:ゲノム・エピゲノム統合解析	蛸原 健	医病 高度救命救急 センター	260,000	補 委	独立行政法 人日本学術 振興会
侵襲時再生治療に関する新規制御因子の 解明:ゲノム・エピゲノム統合解析	入澤 太郎	医病 高度救命救急 センター	260,000	補 委	独立行政法 人日本学術 振興会
侵襲時再生治療に関する新規制御因子の 解明:ゲノム・エピゲノム統合解析	清水 健太郎	医病 高度救命救急 センター	260,000	補 委	独立行政法 人日本学術 振興会
侵襲時再生治療に関する新規制御因子の 解明:ゲノム・エピゲノム統合解析	織田 順	救急医学講座	260,000	補 委	独立行政法 人日本学術 振興会
侵襲時再生治療に関する新規制御因子の 解明:ゲノム・エピゲノム統合解析	松本 寿健	医病 高度救命救急 センター	138,997	補 委	独立行政法 人日本学術 振興会
人工呼吸器を使用せず呼気陽圧を発生させる 呼吸回路用コネクタの開発	吉田 健史	麻酔・集中治療医学 講座	3,510,000	補 委	独立行政法 人日本学術 振興会
リキッドバイオプシーに基づくHPV関連中咽 頭癌の個別化治療	猪原 秀典	耳鼻咽喉科・頭頸部 外科学講座	6,630,000	補 委	独立行政法 人日本学術 振興会
シングルセル解析によるケロイド原因細胞の 発見と新規治療法の開発	久保 盾貴	形成外科学講座	4,420,000	補 委	独立行政法 人日本学術 振興会
乳幼児発達相談における視線計測装置を用 いた社会性発達評価とメディア使用の研究	岩谷 祥子	(小児科・子ども)環 境関連	65,000	補 委	独立行政法 人日本学術 振興会
がん抑制遺伝子ELF3のアポトーシス抵抗性 及び免疫回避機構に及ぼす影響	鈴木 雅美	耳鼻咽喉科・頭頸部 外科学講座	1,040,000	補 委	独立行政法 人日本学術 振興会
老化に伴うインスリン抵抗性の病態における 血管内皮の α シヌクレインの機能の検討	鷹見 洋一	老年・総合内科学講 座	650,000	補 委	独立行政法 人日本学術 振興会
老化に伴うインスリン抵抗性の病態における 血管内皮の α シヌクレインの機能の検討	武田 朱公	老年・総合内科学講 座	65,000	補 委	独立行政法 人日本学術 振興会
重症筋無力症患者における胸腺腫内抗原 特異的B細胞の探索	木下 允	神経内科学講座	780,000	補 委	独立行政法 人日本学術 振興会
子宮内膜癌術前MRIの実臨床における筋層 浸潤診断精度に関する多角的解析	福井 秀行	放射線医学講座	39,000	補 委	独立行政法 人日本学術 振興会
子宮内膜癌術前MRIの実臨床における筋層 浸潤診断精度に関する多角的解析	大西 裕満	放射線医学講座	26,822	補 委	独立行政法 人日本学術 振興会
子宮内膜癌術前MRIの実臨床における筋層 浸潤診断精度に関する多角的解析	中本 篤	放射線医学講座	39,000	補 委	独立行政法 人日本学術 振興会
子宮内膜癌術前MRIの実臨床における筋層 浸潤診断精度に関する多角的解析	太田 崇詞	放射線医学講座	39,000	補 委	独立行政法 人日本学術 振興会
超高精細CTの新しい肺癌画像解析法の確 立:診断能に寄与する画像因子探索とAI解 析	森井 英一	放射線医学講座	130,000	補 委	独立行政法 人日本学術 振興会
超高精細CTの新しい肺癌画像解析法の確 立:診断能に寄与する画像因子探索とAI解 析	富山 憲幸	放射線医学講座	130,000	補 委	独立行政法 人日本学術 振興会

重粒子線治療における正常組織の晩期障害低減に関する研究	林 和彦	放射線治療学講座	780,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
重粒子線治療における正常組織の晩期障害低減に関する研究	小川 和彦	放射線治療学講座	130,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
心筋細胞と心筋線維芽細胞の相互作用に着目した小児拡張型心筋症の病態解明	石井 良	小児科学講座	520,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
心筋細胞と心筋線維芽細胞の相互作用に着目した小児拡張型心筋症の病態解明	石田 秀和	小児科学講座	390,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
iPS細胞由来ミクログリアーニューロン3次元共培養系による自閉症の病態解析	毛利 育子	小児発達神経学領域	65,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
ドライバー遺伝子異常に基づいた肝がん個別化薬物療法の構築	巽 智秀	消化器内科学講座	650,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
ドライバー遺伝子異常に基づいた肝がん個別化薬物療法の構築	小玉 尚宏	消化器内科学講座	520,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
T細胞性免疫調整薬によるがんおよび抗ウイルス免疫療法の開発	岩堀 幸太	臨床腫瘍免疫学共同研究講座	650,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
外来患者より見出した、低Mg血症、低K血症、高血圧症を伴う家系の分子遺伝学的解析	猪阪 善隆	腎疾患臓器連関制御学寄附講座	65,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
外来患者より見出した、低Mg血症、低K血症、高血圧症を伴う家系の分子遺伝学的解析	坂口 悠介	腎疾患臓器連関制御学寄附講座	65,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
プロテオミクスが同定するインテグリン α IIb β 3活性化機構から新規抗血小板療法へ	加藤 恒	血液・腫瘍内科学講座	1,040,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
プロテオミクスが同定するインテグリン α IIb β 3活性化機構から新規抗血小板療法へ	中田 継一	医病 血液・腫瘍内科	130,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
白血病幹細胞の不均一性を誘導する自律的サイトカインシグナルを標的とした治療開発	上田 智朗	血液・腫瘍内科学講座	130,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
新規SREBPコピキチンリガーゼの肥満糖尿病及びクッシング症候群における意義解明	福原 淳範	内分泌・代謝内科学講座	130,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
エピゲノム情報を基盤とする、2型糖尿病創薬スクリーニングに適した膵 β 細胞株の作製	小澤 純二	糖尿病病態医療学寄附講座	130,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
ex vivo腫瘍モデルの構築と腫瘍間質を形成するメカニズムの解明	三吉 範克	消化器外科学2講座	845,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
ex vivo腫瘍モデルの構築と腫瘍間質を形成するメカニズムの解明	土岐 祐一郎	消化器外科学2講座	65,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
ex vivo腫瘍モデルの構築と腫瘍間質を形成するメカニズムの解明	江口 英利	消化器外科学2講座	65,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
3次元血管化膵組織による1型糖尿病に対する新規膵島移植治療の開発	小林 省吾	消化器外科学2講座	130,000	補委	独立行政法人日本学術振興会

3次元血管化膵組織による1型糖尿病に対する新規膵島移植治療の開発	富丸 慶人	消化器外科学2講座	130,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
新次元の治療を目指した癌細胞と癌微小環境との相互作用の解明	三吉 範克	消化器外科学2講座	130,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
INK4 familyタンパク質を標的とした新たな大腸癌治療法の開発	波多 豪	消化器外科学2講座	130,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
免疫モニタリングによる上部消化管がん腫瘍免疫応答機序の解明と個別化治療の確立	土岐 祐一郎	消化器外科学2講座	130,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
iPS細胞を用いたin vitro心筋モデルによる心筋再生治療の評価系の確立	河村 拓史	心臓血管外科学講座	130,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
LVAD装着患者におけるヒストン修飾による心機能回復メカニズムの解明	河村 拓史	心臓血管外科学講座	130,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
敗血症性急性腎傷害の早期発見-尿中酸素分圧を用いての検討-	徳平 夏子	医病 麻酔科	52,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
視床破壊術後の上肢近位筋の振戦に対する経皮的電気刺激療法の開発	小野田 祐司	医病 脳神経外科	65,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
アッセンプロイドによる脳内生態系の再生と重症くも膜下出血治療への応用	高垣 匡寿	脳神経外科学講座	39,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
アッセンプロイドによる脳内生態系の再生と重症くも膜下出血治療への応用	中村 元	脳神経外科学講座	39,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
リハビリテーションによる末梢神経損傷後の神経可塑性効果の検討	田中 啓之	運動器スポーツ医科学共同研究講座	1,170,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
リハビリテーションによる末梢神経損傷後の神経可塑性効果の検討	岩橋 徹	運動器スポーツ医科学共同研究講座	130,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
リハビリテーションによる末梢神経損傷後の神経可塑性効果の検討	岡 久仁洋	運動器スポーツ医科学共同研究講座	130,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
内因性NF- κ B転写阻害因子MTI-IIによる着床機構の解明と治療効果の検討	瀧内 剛	産科学婦人科学講座	39,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
ゲノムワイド関連解析に基づくメニエール病の原因遺伝子探索	太田 有美	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学講座	13,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
ゲノムワイド関連解析に基づくメニエール病の原因遺伝子探索	佐藤 崇	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学講座	13,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
TRPV1チャンネルをターゲットにした前庭障害への治療法の開発	太田 有美	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学講座	78,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
TRPV1チャンネルをターゲットにした前庭障害への治療法の開発	佐藤 崇	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学講座	78,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
難治性顔面神経麻痺の克服 ～早期診断ツールと神経再生促進薬の開発～	太田 有美	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学講座	13,000	補委	独立行政法人日本学術振興会

フックス角膜内皮ジストロフィの発症メカニズムおよびリスクの解析	大家 義則	眼科学講座	1,430,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
メカニカルストレスによる視神経乳頭アストロサイトの生体応答分子機序の解明	臼井 審一	眼科学講座	130,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
水素による移植組織内酸化ストレスの制御と生着率向上への試み	大谷 直矢	形成外科学講座	1,170,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
高齢胃癌患者の治療成績向上を目指した術前リハビリテーションおよび栄養療法の開発	黒川 幸典	消化器外科学2講座	65,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
高齢胃癌患者の治療成績向上を目指した術前リハビリテーションおよび栄養療法の開発	西塔 拓郎	消化器外科学2講座	65,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
高齢胃癌患者の治療成績向上を目指した術前リハビリテーションおよび栄養療法の開発	山下 公太郎	消化器外科学2講座	65,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
高齢胃癌患者の治療成績向上を目指した術前リハビリテーションおよび栄養療法の開発	高橋 剛	消化器外科学2講座	65,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
高齢胃癌患者の治療成績向上を目指した術前リハビリテーションおよび栄養療法の開発	田中 晃司	消化器外科学2講座	65,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
高齢胃癌患者の治療成績向上を目指した術前リハビリテーションおよび栄養療法の開発	牧野 知紀	消化器外科学2講座	65,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
大腸癌におけるエピゲノムを標的とした新規治療法開発と免疫回避機構阻害への応用	植村 守	消化器外科学2講座	65,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
乳癌センチネルリンパ節における転移診断および治療を目的とした新規トレーサーの開発	三宅 智博	乳腺・内分泌外科学講座	78,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
乳癌センチネルリンパ節における転移診断および治療を目的とした新規トレーサーの開発	島津 研三	乳腺・内分泌外科学講座	78,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
乳癌センチネルリンパ節における転移診断および治療を目的とした新規トレーサーの開発	渡部 直史	乳腺・内分泌外科学講座	78,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
食道癌における腫瘍関連Bリンパ球の役割	和田 尚	消化器外科学2講座	390,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
食道癌における腫瘍関連Bリンパ球の役割	牧野 知紀	消化器外科学2講座	390,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
髄膜腫における自然歴の解明および予後予測アルゴリズムの構築	貴島 晴彦	脳神経外科学講座	13,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
髄膜腫における自然歴の解明および予後予測アルゴリズムの構築	平山 龍一	脳神経外科学講座	13,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
髄膜腫における自然歴の解明および予後予測アルゴリズムの構築	木嶋 教行	脳神経外科学講座	13,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
環状RNAによるバイオマーカーとしての有用性の検討と新規核酸治療法の開発	黒川 幸典	消化器外科学2講座	65,000	補委	独立行政法人日本学術振興会

環状RNAによるバイオマーカーとしての有用性の検討と新規核酸治療法の開発	高橋 剛	消化器外科学2講座	65,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
高齢者糖尿病のオートファジー機能を反映するバイオマーカーの確立と標的治療法の開発	山本 浩一	老年・総合内科学講座	260,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
高齢者糖尿病のオートファジー機能を反映するバイオマーカーの確立と標的治療法の開発	赤坂 憲	医病 老年・高血圧内科	260,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
高齢者のCOVID-19感染リスクを安全に低下し得る新規戦略の開発	山本 浩一	老年・総合内科学講座	260,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
血漿及びエクソソームを用いたメタボロミクス解析によるフレイルバイオマーカーの探索	山本 浩一	老年・総合内科学講座	260,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
血漿及びエクソソームを用いたメタボロミクス解析によるフレイルバイオマーカーの探索	鷹見 洋一	老年・総合内科学講座	130,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
老化に伴う認知・運動障害における、嗜銀顆粒の総合的研究	村山 繁雄	(小児科・子ども) 環境関連	1,690,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
細胞骨格動態制御によるALS病態改善の試み	奥野 龍禎	神経内科学講座	130,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
乳癌術前化学療法後病理学的完全奏功のRadiogenomics予測モデルの構築	梁川 雅弘	放射線医学講座	195,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
乳癌術前化学療法後病理学的完全奏功のRadiogenomics予測モデルの構築	富山 憲幸	放射線医学講座	117,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
大腸癌進展における線維芽細胞の促進化/抑制化機能のスイッチ機構の解明	林 義人	消化器内科学講座	1,170,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
大腸癌進展における線維芽細胞の促進化/抑制化機能のスイッチ機構の解明	辻井 芳樹	消化器内科学講座	130,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
心筋細胞と心筋線維芽細胞の相互作用に着目した拘束型心筋症・心室拡張障害の病態解明	石田 秀和	小児科学講座	520,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
脂質異常症が高血圧や高血圧性腎障害を増強する新規メカニズムの解明	野里 陽一	老年・総合内科学講座	910,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
脂質異常症が高血圧や高血圧性腎障害を増強する新規メカニズムの解明	山本 浩一	老年・総合内科学講座	260,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
動脈硬化発症プロセスにおける一酸化窒素修飾がもたらすエンドセリン受容体機能の検討	島村 宗尚	健康発達医学寄附講座	65,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
腎移植患者におけるSGLT2阻害薬の腎保護効果	猪阪 善隆	腎臓内科学講座	65,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
腎移植患者におけるSGLT2阻害薬の腎保護効果	野々村 祝夫	腎臓内科学講座	65,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
腎移植患者におけるSGLT2阻害薬の腎保護効果	水井 理之	腎臓内科学講座	65,000	補委	独立行政法人日本学術振興会

腎移植患者におけるSGLT2阻害薬の腎保護効果	土井 洋平	腎臓内科学講座	65,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
PPAR α をターゲットとしたリンパ球代謝リモデリングによる自己免疫疾患制御	水井 理之	腎臓内科学講座	910,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
PPAR α をターゲットとしたリンパ球代謝リモデリングによる自己免疫疾患制御	増山 慧	医病 腎臓内科	520,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
血管・脂肪組織由来内分泌因子Favineの機能解析	福原 淳範	内分泌・代謝内科学講座	65,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
血管・脂肪組織由来内分泌因子Favineの機能解析	加藤 恒	内分泌・代謝内科学講座	130,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
新しいアディポネクチン学とその応用	西澤 均	肥満脂肪病態学寄附講座	130,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
新しいアディポネクチン学とその応用	藤島 裕也	肥満脂肪病態学寄附講座	130,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
新しいアディポネクチン学とその応用	福田 士郎	肥満脂肪病態学寄附講座	130,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
シトステロール血症の若年性動脈硬化惹起メカニズムの解明	小関 正博	循環器内科学講座	390,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
食道癌におけるFn14発現と治療抵抗性・悪性度との関連について	山下 公太郎	消化器外科学2講座	65,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
炎症性腸疾患における腸内細菌叢に対する腸管上皮機能異常の研究	関戸 悠紀	消化器外科学2講座	130,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
炎症性腸疾患における腸内細菌叢に対する腸管上皮機能異常の研究	荻野 崇之	消化器外科学2講座	130,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
炎症性腸疾患における腸内細菌叢に対する腸管上皮機能異常の研究	長谷川 誠	医病 消化器外科(二外)	910,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
肝胆膵領域癌の浸潤過程における、周囲環境細胞との相互干渉の解析と制御	野田 剛広	医病 消化器外科(二外)	65,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
肝胆膵領域癌の浸潤過程における、周囲環境細胞との相互干渉の解析と制御	富丸 慶人	消化器外科学2講座	65,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
肝胆膵領域癌の浸潤過程における、周囲環境細胞との相互干渉の解析と制御	山田 大作	消化器外科学2講座	65,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
肝胆膵領域癌の浸潤過程における、周囲環境細胞との相互干渉の解析と制御	佐々木 一樹	消化器外科学2講座	65,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
AI liquid biopsyが駆動する膵癌微小環境多様性解析と治療抵抗性打破	小林 省吾	消化器外科学2講座	130,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
自己筋芽細胞シート移植による肝不全に対する新規再生医療の開発	宮川 繁	消化器外科学2講座	130,000	補委	独立行政法人日本学術振興会

自己筋芽細胞シート移植による肝不全に対する新規再生医療の開発	江口 英利	消化器外科学2講座	130,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
GIST新規治療を目指したTKI併用のHSP90阻害剤の効果とその機序の解明	黒川 幸典	消化器外科学2講座	130,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
GIST新規治療を目指したTKI併用のHSP90阻害剤の効果とその機序の解明	田中 晃司	消化器外科学2講座	130,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
末梢血・門脈血中microRNA解析による臓器別転移機序の解明と個別化治療の開発	小林 省吾	消化器外科学2講座	65,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
末梢血・門脈血中microRNA解析による臓器別転移機序の解明と個別化治療の開発	富丸 慶人	消化器外科学2講座	65,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
末梢血・門脈血中microRNA解析による臓器別転移機序の解明と個別化治療の開発	山田 大作	消化器外科学2講座	65,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
周術期H.pylori除菌の胃癌予後改善効果: ICOS発現Tregの制御	黒川 幸典	消化器外科学2講座	130,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
周術期H.pylori除菌の胃癌予後改善効果: ICOS発現Tregの制御	西塔 拓郎	消化器外科学2講座	130,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
異化関連サイトカイン/受容体を標的とした食道癌の集学的周術期介入	黒川 幸典	消化器外科学2講座	130,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
異化関連サイトカイン/受容体を標的とした食道癌の集学的周術期介入	田中 晃司	消化器外科学2講座	130,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
疾患特異的iPS細胞を用いた肥大型心筋症の病態解明と治療法の探索	河村 拓史	心臓血管外科学講座	130,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
ペリオスチンを基軸とした間質性肺炎合併肺癌に対する包括的治療法の開発	大瀬 尚子	呼吸器外科学講座	130,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
ペリオスチンを基軸とした間質性肺炎合併肺癌に対する包括的治療法の開発	狩野 孝	呼吸器外科学講座	130,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
ペリオスチンを基軸とした間質性肺炎合併肺癌に対する包括的治療法の開発	新谷 康	呼吸器外科学講座	130,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
ペリオスチンを基軸とした間質性肺炎合併肺癌に対する包括的治療法の開発	福井 絵里子	呼吸器外科学講座	130,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
Scaffold-free気管模倣組織体で導かれた気管再生のメカニズム解明	出口 幸一	小児成育外科学講座	260,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
Scaffold-free気管模倣組織体で導かれた気管再生のメカニズム解明	奥山 宏臣	小児成育外科学講座	26,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
肺癌の間質形成と肺線維化における線維芽細胞を標的とした新規免疫療法の基盤確立	新谷 康	呼吸器外科学講座	130,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
網羅的分子生体情報を用いた頭部外傷患者に対する新たな治療戦略の構築	清水 健太郎	医病 高度救命救急センター	26,000	補委	独立行政法人日本学術振興会

網羅的分子生体情報を用いた頭部外傷患者に対する新たな治療戦略の構築	松本 寿健	医病 高度救命救急センター	26,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
網羅的分子生体情報を用いた頭部外傷患者に対する新たな治療戦略の構築	伊藤 弘	医病 高度救命救急センター	26,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
網羅的分子生体情報を用いた頭部外傷患者に対する新たな治療戦略の構築	蛭原 健	医病 高度救命救急センター	26,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
膠芽腫の腫瘍特異的抗原の検索とCAR-T療法への応用	保仙 直毅	脳神経外科学講座	130,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
脳血管内治療に対するAdjuvant Synbioticsの開発	中村 元	脳神経外科学講座	65,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
脳血管内治療に対するAdjuvant Synbioticsの開発	福田 竜丸	医病 脳神経外科	65,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
末梢神経損傷後にシュワン細胞と血管内皮細胞間で働く接着分子の解明	田中 啓之	整形外科科学講座	130,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
末梢神経損傷後にシュワン細胞と血管内皮細胞間で働く接着分子の解明	岡 久仁洋	整形外科科学講座	130,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
融合遺伝子のエピゲノム制御メカニズムの解明と融合遺伝子制御療法の開発	王谷 英達	整形外科科学講座	1,300,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
シリコン微細粒子経口投与によるラット異系腎移植モデルにおける免疫応答への効果	野々村 祝夫	泌尿器科学講座	65,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
シリコン微細粒子経口投与によるラット異系腎移植モデルにおける免疫応答への効果	田中 亮	医病 泌尿器科	65,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
シリコン微細粒子経口投与によるラット異系腎移植モデルにおける免疫応答への効果	中澤 成晃	泌尿器科学講座	65,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
シングルセル解析による子宮頸部異型上皮の病勢進行の機序解明と新規マーカーの探索	上田 豊	産科学婦人科学講座	130,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
シングルセル解析による子宮頸部異型上皮の病勢進行の機序解明と新規マーカーの探索	平松 宏祐	医病 総合周産期母子医療センター	130,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
シングルセル解析による子宮頸部異型上皮の病勢進行の機序解明と新規マーカーの探索	中川 慧	産科学婦人科学講座	130,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
シングルセル解析による子宮頸部異型上皮の病勢進行の機序解明と新規マーカーの探索	角田 守	医病 総合周産期母子医療センター	130,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
ヒト子宮着床能前方視的評価メカニズム解明のための月経による内膜再生機構の基礎検討	遠藤 誠之	遠藤 誠之	65,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
ヒト子宮着床能前方視的評価メカニズム解明のための月経による内膜再生機構の基礎検討	味村 和哉	医病 産科婦人科	130,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
網羅的解析を通じた卵巣癌特異的な環状RNAの同定とその役割の解明	小玉 美智子	産科学婦人科学講座	195,000	補委	独立行政法人日本学術振興会

PDXとドラッグスクリーニングによるARID1A変異婦人科がんの個別化医療開発	澤田 健二郎	産科学婦人科学講座	195,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
PDXとドラッグスクリーニングによるARID1A変異婦人科がんの個別化医療開発	小玉 美智子	産科学婦人科学講座	195,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
好酸球性副鼻腔炎におけるセマフォリンを介したステロイド抵抗性の獲得に関する研究	津田 武	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学講座	130,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
多光子励起顕微鏡を用いた緑内障モデルのアストロサイト抗酸化システム生体観察	松下 賢治	眼科学講座	130,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
MELF patternを有する類内膜癌の中皮への分化に関する研究	田原 紳一郎	病態病理学講座	1,170,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
自家蛍光による生体イメージングを活用した腫瘍微小環境の細胞機能解析	松井 崇浩	病態病理学講座	1,560,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
造血細胞移植の予後および合併症リスクを規定する腸内細菌叢関連因子の探索	福島 健太郎	血液・腫瘍内科学講座	2,600,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
造血細胞移植の予後および合併症リスクを規定する腸内細菌叢関連因子の探索	保仙 直毅	血液・腫瘍内科学講座	65,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
造血細胞移植の予後および合併症リスクを規定する腸内細菌叢関連因子の探索	草壁 信輔	血液・腫瘍内科学講座	195,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
免疫療法の効果を予測する新規バイオマーカー及び効果を増強する新規治療法の開発	内藤 祐二郎	呼吸器・免疫内科学講座	1,560,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
ヘルパーエピトープを含む新規WT1経口がんワクチンの効果	皆川 光	小児科学講座	1,690,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
Clonal Hematopoiesis による放射線肺臓炎重症化機序の解明	立川 章太郎	放射線治療学講座	1,014,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
Clonal Hematopoiesis による放射線肺臓炎重症化機序の解明	玉利 慶介	放射線治療学講座	65,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
Clonal Hematopoiesis による放射線肺臓炎重症化機序の解明	小川 和彦	放射線治療学講座	26,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
癌細胞の放射線感受性を変化させるヒト血中エクソソーム中のマイクロRNAの解析	玉利 慶介	放射線治療学講座	1,950,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
癌細胞の放射線感受性を変化させるヒト血中エクソソーム中のマイクロRNAの解析	小川 和彦	放射線治療学講座	65,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
Wntシグナルをターゲットとした骨形成不全症の病態解析と治療法の開発	窪田 拓生	小児科学講座	1,560,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
変異集中領域に着目した自閉スペクトラム症のリバーストランスクリプションリサーチ	橘 雅弥	分子生物遺伝学領域	195,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
胎児腸オルガノイドを用いた壊死性腸炎の発生機序の解明と新規治療の開発	神山 雅史	小児成育外科学講座	1,105,000	補委	独立行政法人日本学術振興会

胎児腸オルガノイドを用いた壊死性腸炎の発生機序の解明と新規治療の開発	松木 杏子	医病 小児外科	390,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
胎児腸オルガノイドを用いた壊死性腸炎の発生機序の解明と新規治療の開発	奥山 宏臣	小児成育外科学講座	65,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
ダウン症候群に関連する肺動脈性肺高血圧症の病態解明と新規治療薬開発	石田 秀和	小児科学講座	1,690,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
フォンタン術後うっ血性肝障害の非侵襲的リスク評価法に基づく新たな治療戦略の確立	世良 英子	循環器内科学講座	910,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
空間マルチオミクス解析と3Dイメージングによる移植心管理の高精度化を目指した研究	成田 淳	小児科学講座	455,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
空間マルチオミクス解析と3Dイメージングによる移植心管理の高精度化を目指した研究	石田 秀和	小児科学講座	520,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
HFpEF発症進展機構における無菌性炎症の役割の解明と新規治療法開発への応用	村川 智一	循環器内科学講座	130,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
自己免疫性肺胞蛋白症の末梢血B細胞シグナル解析による病態解明と新規治療開発	武田 吉人	呼吸器・免疫内科学講座	130,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
リソソーム-フェロトーシス軸に着目した肥満関連尿細管症の病態解明と治療への応用	山本 毅士	腎臓内科学講座	1,820,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
リソソーム-フェロトーシス軸に着目した肥満関連尿細管症の病態解明と治療への応用	猪阪 善隆	腎臓内科学講座	260,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
リソソーム-フェロトーシス軸に着目した肥満関連尿細管症の病態解明と治療への応用	松井 翔	医病 腎臓内科	260,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
傍細胞リン吸収メカニズムに着目した高リン血症治療法開発	松井 功	腎臓内科学講座	1,690,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
傍細胞リン吸収メカニズムに着目した高リン血症治療法開発	猪阪 善隆	腎臓内科学講座	130,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
傍細胞リン吸収メカニズムに着目した高リン血症治療法開発	井上 和則	腎臓内科学講座	130,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
傍細胞リン吸収メカニズムに着目した高リン血症治療法開発	松本 あゆみ	医病 腎臓内科	130,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
糸球体障害進展による尿細管間質線維化発症機序の解明	井上 和則	腎臓内科学講座	1,300,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
糸球体障害進展による尿細管間質線維化発症機序の解明	猪阪 善隆	腎臓内科学講座	325,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
糸球体障害進展による尿細管間質線維化発症機序の解明	松本 あゆみ	医病 腎臓内科	130,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
糸球体障害進展による尿細管間質線維化発症機序の解明	松井 功	腎臓内科学講座	325,000	補委	独立行政法人日本学術振興会

糸球体障害進展による尿細管間質線維化発症機序の解明	奥嶋 拓樹	医病 腎臓内科	130,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
多発性骨髄腫の炎症性微小環境におけるSTAP蛋白の役割	一井 倫子	血液・腫瘍内科学講座	1,300,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
多発性骨髄腫の炎症性微小環境におけるSTAP蛋白の役割	保仙 直毅	血液・腫瘍内科学講座	130,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
寒冷凝集素症に対する抗補体薬反応不良機序の解明	植田 康敬	血液・腫瘍内科学講座	1,300,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
寒冷凝集素症に対する抗補体薬反応不良機序の解明	保仙 直毅	血液・腫瘍内科学講座	130,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
脂肪細胞栄養シグナルの解明と肥満病態への治療応用	福原 淳範	肥満脂肪病態学寄附講座	1,300,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
脂肪細胞栄養シグナルの解明と肥満病態への治療応用	奥野 陽亮	肥満脂肪病態学寄附講座	260,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
脂肪細胞栄養シグナルの解明と肥満病態への治療応用	西谷 重紀	肥満脂肪病態学寄附講座	260,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
PGRMC1による脂質受容体、糖輸送体の輸送制御を介した脂肪肝進展メカニズムの解明	小関 正博	循環器内科学講座	2,210,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
アディポネクチンとその結合蛋白T-カドヘリンに関する病態解析と臨床的意義の解明	西澤 均	内分泌・代謝内科学講座	130,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
アディポネクチンとその結合蛋白T-カドヘリンに関する病態解析と臨床的意義の解明	藤島 裕也	内分泌・代謝内科学講座	130,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
アディポネクチンとその結合蛋白T-カドヘリンに関する病態解析と臨床的意義の解明	福田 士郎	内分泌・代謝内科学講座	130,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
肝由来XORによる動脈硬化進展作用の解明と新たな治療戦略の確立	西澤 均	代謝血管学寄附講座	1,300,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
肝由来XORによる動脈硬化進展作用の解明と新たな治療戦略の確立	藤島 裕也	代謝血管学寄附講座	130,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
肝由来XORによる動脈硬化進展作用の解明と新たな治療戦略の確立	福田 士郎	代謝血管学寄附講座	130,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
GLP-2により誘導されるIGF-1は腸管不全モデルにおける肝機能障害を改善させるか？	奥山 宏臣	小児成育外科学講座	13,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
GLP-2により誘導されるIGF-1は腸管不全モデルにおける肝機能障害を改善させるか？	高瀬 洪生	医病 小児外科	52,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
大腸癌の悪性形質に対する低酸素ダイナミズムの統合的解明	植村 守	消化器外科学1講座	1,430,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
胃癌新規バイオマーカーとしての血中メチル化ctDNA検出法の新規開発と臨床応用	黒川 幸典	消化器外科学2講座	1,820,000	補委	独立行政法人日本学術振興会

炎症性発癌における自然リンパ球の役割解明	荻野 崇之	消化器外科学2講座	1,430,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
炎症性発癌における自然リンパ球の役割解明	関戸 悠紀	消化器外科学2講座	130,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
ニボルマブ結合T細胞検出法を用いた免疫チェックポイント阻害薬の治療効果機序の解明	西塔 拓郎	消化器外科学2講座	1,690,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
心不全に対するiPS細胞技術を利用した次世代型セルフリー再生医療の研究	河村 拓史	心臓血管外科学講座	1,820,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
心原性ショックに対するECEPILLAと中等度低体温併用療法の心筋保護効果の検討	今岡 秀輔	医病 心臓血管外科(一外)	130,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
心原性ショックに対するECEPILLAと中等度低体温併用療法の心筋保護効果の検討	村上 貴志	医病 心臓血管外科(一外)	130,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
動脈硬化進行メカニズムの解明およびバイオマーカーの確立	三宅 啓介	医病 心臓血管外科(一外)	520,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
脂肪組織由来幹細胞の肺再生メカニズムの解明による新たな肺再生治療法の開発	福井 絵里子	呼吸器外科学講座	780,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
脂肪組織由来幹細胞の肺再生メカニズムの解明による新たな肺再生治療法の開発	新谷 康	呼吸器外科学講座	221,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
脂肪組織由来幹細胞の肺再生メカニズムの解明による新たな肺再生治療法の開発	大瀬 尚子	呼吸器外科学講座	130,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
脂肪組織由来幹細胞の肺再生メカニズムの解明による新たな肺再生治療法の開発	狩野 孝	呼吸器外科学講座	169,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
脂肪組織由来幹細胞の肺再生メカニズムの解明による新たな肺再生治療法の開発	木村 亨	呼吸器外科学講座	169,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
本邦での心停止ドナー肺移植開始を目指したネクロプトーシス制御による臓器保護戦略	狩野 孝	呼吸器外科学講座	1,885,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
本邦での心停止ドナー肺移植開始を目指したネクロプトーシス制御による臓器保護戦略	大瀬 尚子	呼吸器外科学講座	65,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
本邦での心停止ドナー肺移植開始を目指したネクロプトーシス制御による臓器保護戦略	新谷 康	呼吸器外科学講座	65,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
本邦での心停止ドナー肺移植開始を目指したネクロプトーシス制御による臓器保護戦略	木村 亨	呼吸器外科学講座	65,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
本邦での心停止ドナー肺移植開始を目指したネクロプトーシス制御による臓器保護戦略	福井 絵里子	呼吸器外科学講座	65,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
免疫応答バランスからみた熱傷後の免疫不全メカニズムに関する統合的解析	清水 健太郎	医病 高度救命救急センター	65,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
免疫応答バランスからみた熱傷後の免疫不全メカニズムに関する統合的解析	松本 寿健	医病 高度救命救急センター	65,000	補委	独立行政法人日本学術振興会

免疫応答バランスからみた熱傷後の免疫不全メカニズムに関する統合的解析	米田 和弘	医病 高度救命救急センター	130,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
簡便・低費用・短時間で可能な新たな腸内細菌叢の評価方法の開発と指標化	清水 健太郎	医病 高度救命救急センター	195,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
closed-loop systemを応用した脳深部刺激療法の長期効果研究	谷 直樹	脳神経外科学講座	1,586,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
closed-loop systemを応用した脳深部刺激療法の長期効果研究	貴島 晴彦	脳神経外科学講座	13,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
closed-loop systemを応用した脳深部刺激療法の長期効果研究	押野 悟	脳神経外科学講座	13,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
closed-loop systemを応用した脳深部刺激療法の長期効果研究	細見 晃一	脳神経外科学講座	13,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
膠芽腫における腫瘍内細菌叢プロファイリングと生理機能の解明	高垣 匡寿	脳神経外科学講座	65,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
膠芽腫における腫瘍内細菌叢プロファイリングと生理機能の解明	木嶋 教行	脳神経外科学講座	65,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
生体内骨密度分布および関節軟骨モデル化による新規関節画像評価システムの構築	岡 久仁洋	運動器バイオマテリアル学寄附講座	1,378,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
生体内骨密度分布および関節軟骨モデル化による新規関節画像評価システムの構築	田中 啓之	運動器バイオマテリアル学寄附講座	13,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
生体内骨密度分布および関節軟骨モデル化による新規関節画像評価システムの構築	宮村 聡	運動器バイオマテリアル学寄附講座	13,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
生体内骨密度分布および関節軟骨モデル化による新規関節画像評価システムの構築	塩出 亮哉	医病 整形外科	13,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
Microglia-Healing Peptides 1 (MHP1)による新規骨粗鬆症治療法の開発	蛭名 耕介	整形外科科学講座	1,430,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
Microglia-Healing Peptides 1 (MHP1)による新規骨粗鬆症治療法の開発	島村 宗尚	整形外科科学講座	260,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
カリウムによる新規ナトリウム・クロライド共輸送体の制御機構に基づいた夜間多尿治療	辻村 剛	医病 泌尿器科	650,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
カリウムによる新規ナトリウム・クロライド共輸送体の制御機構に基づいた夜間多尿治療	野々村 祝夫	泌尿器科学講座	13,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
カリウムによる新規ナトリウム・クロライド共輸送体の制御機構に基づいた夜間多尿治療	上田 倫央	泌尿器科学講座	130,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
カリウムによる新規ナトリウム・クロライド共輸送体の制御機構に基づいた夜間多尿治療	今中 岳洋	医病 泌尿器科	650,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
カリウムによる新規ナトリウム・クロライド共輸送体の制御機構に基づいた夜間多尿治療	竹澤 健太郎	泌尿器科学講座	130,000	補委	独立行政法人日本学術振興会

運動が夜間多尿を改善させる分子病態メカニズムの解明と新規治療薬の創薬	上田 倫央	泌尿器科学講座	1,495,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
運動が夜間多尿を改善させる分子病態メカニズムの解明と新規治療薬の創薬	竹澤 健太郎	泌尿器科学講座	65,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
尿路上皮癌のRNA修飾によるエピトランスクリプトムの解明と新規治療戦略創成	山本 致之	泌尿器科学講座	1,430,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
尿路上皮癌のRNA修飾によるエピトランスクリプトムの解明と新規治療戦略創成	河嶋 厚成	泌尿器科学講座	65,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
尿路上皮癌のRNA修飾によるエピトランスクリプトムの解明と新規治療戦略創成	野々村 祝夫	泌尿器科学講座	65,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
KIF4AとCDC25を介した子宮平滑筋肉腫の新規治療法の開発	中川 慧	産科学婦人科学講座	1,820,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
KIF4AとCDC25を介した子宮平滑筋肉腫の新規治療法の開発	上田 豊	産科学婦人科学講座	130,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
KIF4AとCDC25を介した子宮平滑筋肉腫の新規治療法の開発	平松 宏祐	医病 総合周産期母子医療センター	130,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
KIF4AとCDC25を介した子宮平滑筋肉腫の新規治療法の開発	角田 守	医病 総合周産期母子医療センター	130,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
卵巣高異型度漿液性腺癌における特異的に発現上昇する環状RNAの同定とその役割の解明	澤田 健二郎	産科学婦人科学講座	260,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
卵巣高異型度漿液性腺癌における特異的に発現上昇する環状RNAの同定とその役割の解明	小玉 美智子	産科学婦人科学講座	260,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
CRISPR-Cas9によるスピーディかつ汎用性の高い卵巣がんモデルマウスの樹立	澤田 健二郎	産科学婦人科学講座	130,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
CRISPR-Cas9によるスピーディかつ汎用性の高い卵巣がんモデルマウスの樹立	小玉 美智子	産科学婦人科学講座	130,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
プロゲステンが卵子に及ぼす作用機序の解明とPPOS法の最適な治療プロトコルの確立	伴田 美佳	産科学婦人科学講座	1,170,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
プロゲステンが卵子に及ぼす作用機序の解明とPPOS法の最適な治療プロトコルの確立	瀧内 剛	産科学婦人科学講座	390,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
エクソソーム表面糖鎖を標的とした新規子宮内膜症バイオマーカーの開発	澤田 健二郎	産科学婦人科学講座	260,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
網羅的ゲノム解析・微小環境空間的解析による子宮頸部胃型腺癌の発症・治療戦略の樹立	小玉 美智子	産科学婦人科学講座	1,040,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
網羅的ゲノム解析・微小環境空間的解析による子宮頸部胃型腺癌の発症・治療戦略の樹立	澤田 健二郎	産科学婦人科学講座	260,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
難治性副鼻腔炎における局所自己反応性抗体の産生機序と炎症難治化メカニズムの解明	武田 和也	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学講座	1,430,000	補委	独立行政法人日本学術振興会

難治性副鼻腔炎における局所自己反応性抗体の産生機序と炎症難治化メカニズムの解明	津田 武	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学講座	130,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
ラマン分光法による網膜組織の測定法の開発とその応用	森本 壮	視覚機能形成学寄附講座	780,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
重症複合免疫不全ウサギを用いたヒト角膜上皮幹細胞の長期生体内挙動の解明	相馬 剛至	眼科学講座	65,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
神経障害性疼痛に関与する体性感覚神経回路の解明	細見 晃一	脳神経外科学講座	13,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
CES1による細胞内トリグリセリド蓄積の改善: カプリン酸治療の標的となりうるか	平野 賢一	中性脂肪学共同研究講座	195,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
膵がん幹細胞に特異的な細胞外小胞の殻と中身の情報による診断性能の最高化	江口 英利	疾患データサイエンス学共同研究講座	130,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
Adipose shrinkageの慢性炎症制御機構の解明	森井 英一	病態病理学講座	1,950,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
重症心不全に潜む不整脈源性心筋症を診断するバイオマーカーの開発	肥後 修一郎	循環器内科学講座	650,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
癌微小環境の形質的・空間的多様性を介したがん細胞クローン拡大機構の解明	竹原 徹郎	消化器内科学講座	910,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
癌微小環境の形質的・空間的多様性を介したがん細胞クローン拡大機構の解明	小玉 尚宏	消化器内科学講座	910,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
革新的動物モデルを用いた宿主免疫疲弊誘導によるHBV生存戦略の解明	小玉 尚宏	消化器内科学講座	2,860,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
ヒト肺由来気道上皮肺オルガノイドを用いた難治性呼吸器疾患の病態解明	大瀬 尚子	呼吸器外科学講座	130,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
ヒト肺由来気道上皮肺オルガノイドを用いた難治性呼吸器疾患の病態解明	狩野 孝	呼吸器外科学講座	520,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
ヒト肺由来気道上皮肺オルガノイドを用いた難治性呼吸器疾患の病態解明	福井 絵里子	呼吸器外科学講座	910,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
スポーツ運動器疾患への臍帯由来間葉系幹細胞活用の検討	金本 隆司	(医医)スポーツ医学講座	130,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
腫瘍微小環境における多因子間相互作用ネットワーク定量的検出への挑戦	波多野 浩士	遺伝子治療学講座	130,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
α シヌクレインアミロイド線維がもたらす生理活性と病態の二面性	望月 秀樹	神経内科学講座	2,340,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
α シヌクレインアミロイド線維がもたらす生理活性と病態の二面性	角田 溪太	神経内科学講座	130,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
α シヌクレインアミロイド線維がもたらす生理活性と病態の二面性	池中 建介	神経内科学講座	260,000	補委	独立行政法人日本学術振興会

細胞種特異的スプライシング変化を介したALS発症機序の解明	長野 清一	神経難病認知症探索治療学寄附講座	1,950,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
免疫監視能強化CAR-NK細胞を用いたがんの再発予防法の開発	保仙 直毅	血液・腫瘍内科学講座	3,250,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
エクソソーム内の「RNAパターン」による膵がん治療応答予測制御法の開発	江口 英利	疾患データサイエンス学共同研究講座	130,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
空間的遺伝子発現解析を用いた先天性嚢胞性肺疾患の発生機構の解明と診断治療への応用	奥山 宏臣	小児成育外科学講座	910,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
空間的遺伝子発現解析を用いた先天性嚢胞性肺疾患の発生機構の解明と診断治療への応用	出口 幸一	小児成育外科学講座	650,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
空間的遺伝子発現解析を用いた先天性嚢胞性肺疾患の発生機構の解明と診断治療への応用	神山 雅史	小児成育外科学講座	650,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
糸球体上皮細胞におけるRho-GTPase制御機構を解明する	松田 潤	腎臓内科学講座	1,040,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
老化に伴うコラーゲン架橋形成に着目した半月板の老化メカニズム解明	辻井 聡	運動器スポーツバイオメカニクス学共同研究講座	1,170,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
ヒト骨髄線維症において造血幹細胞移植により骨髄の造血支持能が回復する機序の解明	倉重 真沙子	病態病理学講座	1,430,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
シングルセルシーケンスを用いたB型慢性肝炎治癒に関わる新たな免疫機構の解明	西尾 啓	消化器内科学講座	2,860,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
悪液質における膵癌と脂肪の相互作用の解明	佐藤 克彦	消化器内科学講座	1,950,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
膵β細胞内脂肪酸代謝を切り口としたDOHaD学説の検証と糖尿病再生医療への応用	佐々木 周伍	内分泌・代謝内科学講座	1,690,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
悪性骨軟部腫瘍におけるEZH2阻害剤の抗腫瘍メカニズムの解明	伊村 慶紀	整形外科学講座	1,430,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
COVID-19時代の「かぜ診療ブラッシュアップコース」アップデートと有効性検証	山本 舜悟	変革的感染制御システム(日本財団)寄附講座	1,820,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
高齢者糖尿病発症機序における膵β細胞およびSNAREタンパク質の役割の解明	吉田 紫乃	老年・総合内科学講座	1,690,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
地域在住高齢者における脳脊髄液動態の加齢性変化とその臨床的意義	日高 洋介	精神医学講座	1,560,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
食道癌症例での間質性肺異常陰影(ILA):意義・病態解明と自動診断用AI開発	秦 明典	放射線医学講座	2,210,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
免疫チェックポイント阻害剤徐放性DDSの新規開発	木村 廉	高精度画像下穿刺治療学寄附講座	1,170,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
疾患iPS細胞由来分化心筋細胞を用いたホスホランパン心筋症の病態解明	田端 智香	循環器内科学講座	2,600,000	補委	独立行政法人日本学術振興会

エクソソームのプロテオミクスによる悪性胸膜中皮腫における新規バイオマーカーの開発	白山 敬之	呼吸器・免疫内科学講座	2,340,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
横断的オミクス解析による間質性肺疾患における線維化病態の解明	白井 雄也	呼吸器・免疫内科学講座	1,950,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
血中BAFF活性及び一細胞解析によるループス腎炎の病態解明とバイオマーカーの確立	糸田川 英里	呼吸器・免疫内科学講座	2,470,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
ハイブリッドポリマーを用いた耐久性・抗血栓性に優れた次世代型人工弁の開発	前田 孝一	低侵襲循環器医療学寄附講座	390,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
外傷診療における精密医療化を目指した新規アプローチの開発	舘野 丈太郎	救急医学講座	3,770,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
Microglia-Healing Peptides 1 (MHP1)による新規変形性関節症治療法の開発	野口 貴明	整形外科科学講座	2,080,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
人工知能を用いた特発性大腿骨頭壊死症の画像診断・予後予測システムの構築	高嶋 和磨	運動器医工学治療学寄附講座	1,820,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
新規Nuclear factor kappa B (NF- κ B)阻害ペプチドによる新規骨粗鬆症治療法の開発	恵谷 悠紀	整形外科科学講座	2,470,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
半月板損傷に対する新たな縫合法の有効性および新規生物学的製剤の治癒促進効果の検証	大堀 智毅	整形外科科学講座	2,340,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
味覚に着目した新たな糖尿病治療法の開発と有効性評価	馬殿 恵	ライフスタイル医学寄附講座	4,030,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
効果的かつ副作用の少ない老化細胞除去療法を光で実現する	三宅 浩太郎	呼吸器・免疫内科学講座	3,120,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
サルコペニアにおけるIL-15による骨格筋分化とオートファジーの調整機構の解明	吉田 紫乃	老年・総合内科学講座	1,430,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
腎炎モデルマウスを用いたmRNAワクチンによる抗原特異的免疫寛容誘導治療法の開発	郡山 弘	老年・総合内科学講座	1,430,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
肺癌に対する免疫療法の長期奏功に関わる免疫抑制性好中球の関与に関する検討	益弘 健太郎	呼吸器・免疫内科学講座	1,430,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
各組織由来エクソソームによる代謝制御機構と新規アディポネクチンシグナルの解明	長尾 博文	代謝血管学寄附講座	1,430,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
アトピー性皮膚炎予防法開発のための、黄色ブドウ球菌脂質関連遺伝子の役割の解明	中川 誠太郎	皮膚免疫微生物学共同研究講座	1,040,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
化学療法による卵巣機能不全におけるマクロファージの役割の検討	河野 まひる	産科学婦人科学講座	1,430,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
皮膚レジデントメモリーT細胞の発現分子が乾癬病態形成に及ぼす影響の検討	久米 美輝	皮膚科学講座	700,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
アストロサイトのマイトファジー制御分子の中核神経炎症性疾患における役割の解明	門脇 淳	神経内科学講座	143,286	補委	独立行政法人日本学術振興会

新規AUG非依存性RAN翻訳の分子機構とその神経変性病態における役割	森 康治	精神医学講座	5,980,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
変異KITの細胞内局在異常の阻害による新しいGIST治療法の基盤的開発	高橋 剛	消化器外科学2講座	260,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
生命科学連携推進協議会	村山 繁雄	(小児科・子ども)環境関連	234,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
コホート・生体試料支援プラットフォーム	村山 繁雄	(小児科・子ども)環境関連	4,035,200	補委	独立行政法人日本学術振興会
多機能センシング技術により計測される頭蓋内皮質活動を用いた病態検出システムの開発	織田 順	救急医学講座	780,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
精子を介して受精卵(胚)発生能に関わる精漿内細菌叢の探索	瀧内 剛	先端ゲノム医療学共同研究講座	65,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
EphA2標的抗体を用いた、がんラジオセラノスティクス薬の開発研究	渡部 直史	核医学講座	1,300,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
悪性黒色腫の標的α線治療を指向するAt-211標識薬剤開発	渡部 直史	核医学講座	130,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
自治体3歳児健診における統一発達スクリーニングの開発及び社会実装	毛利 育子	小児発達神経学領域	390,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
血液/尿中キラルアミノ酸の網羅的定量を基盤とする腎不全の早期低侵襲診断鑑別法開発	猪阪 善隆	腎臓内科学講座	260,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
在外教育施設におけるデジタルコンテンツによるメンタルヘルス支援	橘 雅弥	小児発達神経学領域	65,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
異分野連携によるα線核医学治療の効果予測に向けた線量評価システムの開発	渡部 直史	核医学講座	195,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
腸管細胞の獲得免疫における動態評価	皆川 光	小児科学講座	39,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
腎移植後mTOR阻害薬の至適モニタリングを目指した前臨床実験でのバイオマーカー探索	角田 洋一	泌尿器科学講座	65,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
PNHクローンの起源と変遷	保仙 直毅	血液・腫瘍内科学講座	65,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
PNHクローンの起源と変遷	植田 康敬	血液・腫瘍内科学講座	260,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
日常生活におけるアルツハイマー病治療のための頭部搭載型無知覚光刺激デバイスの開発	森本 壮	視覚機能形成学寄附講座	650,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
日常生活の持続的視覚支援のための眼を守るスマートグラスの開発	森本 壮	視覚機能形成学寄附講座	2,470,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
腸内細菌叢によるアンドロゲンシグナル経路を介した去勢抵抗性前立腺癌進展機序の解明	野々村 祝夫	泌尿器科学講座	130,000	補委	独立行政法人日本学術振興会

腸内細菌叢によるアンドロゲンシグナル経路を介した去勢抵抗性前立腺癌進展機序の解明	波多野 浩士	泌尿器科学講座	130,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
保健師を中心に地域に広げる子宮頸がん予防対策の普及プログラム	上田 豊	産科学婦人科学講座	195,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
オンラインで語用能力を評価する「ことばのつかいかたテスト」標準化と実施サイト構築	橘 雅弥	小児発達神経学領域	1,300,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
分子疫学的コホート研究による遺伝性心血管疾患のリスク層別化・病態解明・治療薬探索	朝野 仁裕	循環器内科学講座	91,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
中性脂肪蓄積心筋血管症診療の鍵となる、血液による簡便なスクリーニング検査法の開発	平野 賢一	中性脂肪学共同研究講座	130,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
放射線治療効果向上を目指した新規細胞標的～インフルエンサー・セルの探索～	清水 伸一	重粒子線治療学寄附講座	650,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
ブータンに暮らす高齢者の健康を守るための創造型地域研究	坂本 陽子	循環器内科学講座	1,833,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
機械学習・深層学習を併用した骨関節診断・手術支援の実装と最適化	玉城 雅史	整形外科科学講座	65,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
脳機能攪乱検出法・診断法の開発を起点としたシグナル毒性評価プラットフォームの創設	池中 建介	神経内科学講座	130,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
重粒子線照射の膵癌細胞死・免疫応答分子機構解明と外科治療への応用展望	小川 和彦	放射線治療学講座	65,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
重粒子線照射の膵癌細胞死・免疫応答分子機構解明と外科治療への応用展望	江口 英利	消化器外科学2講座	65,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
重粒子線照射の膵癌細胞死・免疫応答分子機構解明と外科治療への応用展望	林 和彦	放射線治療学講座	26,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
感染症に強い介護環境を提供する感染管理認定看護師によるプラットフォームの構築	濱口 重人	変革的ヒト検体解析学(日本財団)寄附講座	13,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
PETによる免疫チェックポイント阻害剤治療の効果判定と予測:多施設前向き臨床試験	武田 吉人	呼吸器・免疫内科学講座	26,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
創傷治癒過程におけるエクソソームの基礎研究	久保 盾貴	形成外科学講座	65,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
認知症高齢者の「食べる喜び」を重視したエンドオブライフ・ケアガイドの開発	池田 学	精神医学講座	195,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
損傷脳からみた日本語の神経基盤に関する統合的研究 一 個体差から個別化医療へ	鈴木 麻希	行動神経学・神経精神医学寄附講座(連小)	260,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
IoT機器を活用した在宅腎臓リハビリテーションの遠隔支援システムの構築	猪阪 善隆	腎臓内科学講座	39,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
糖尿病や加齢が認知症の後天的危険因子である分子メカニズムの多角的解明	村山 繁雄	(小児科・子ども)環境関連	260,000	補委	独立行政法人日本学術振興会

統合シークエンス解析による免疫アレルギー疾患ダイナミクスの解明	藤本 学	皮膚科学講座	390,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
統合シークエンス解析による免疫アレルギー疾患ダイナミクスの解明	奥野 龍禎	神経内科学講座	325,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
早期診断が困難な腎移植後抗体関連型拒絶反応に対する革新的検査法の創出	野々村 祝夫	泌尿器科学講座	13,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
At-211標識アミノ酸を用いた治療効果の高い α 線治療法の創出	渡部 直史	核医学講座	390,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
咬合刺激低下歯の歯周組織に与えるペリオスチンスプライスバリエーションの機能的差異	谷山 義明	先端分子治療学共同研究講座	130,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
I型CRISPRを利用した新規エピゲノム型トリノミックス誘導性の開発	北島 康司	小児科学講座	26,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
変形性関節症に対する間葉系間質細胞由来セクレトーム治療における作用機序の解明	辻井 聡	運動器スポーツバイオメカニクス学共同研究講座	130,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
生活習慣病共通増悪因子として機能するマスターレギュレーター物質の探索	片上 直人	内分泌・代謝内科学講座	520,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
術中の動画及び音声情報を用いた手術チームパフォーマンスの統合的解明	吉岡 大輔	心臓血管外科学講座	65,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
術中の動画及び音声情報を用いた手術チームパフォーマンスの統合的解明	田中 晃司	消化器外科学2講座	65,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
軽度認知機能障害者に対する睡眠データを活用したハイブリッド型看護外来の構築	釜江 和恵	行動神経学・神経精神医学寄附講座(連小)	65,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
次世代がん免疫療法に資するパルミチン酸代謝による骨髄由来免疫抑制細胞の制御	小山 正平	呼吸器・免疫内科学講座	260,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
がん間質FAPI PETイメージングにおける集積の生物学的背景と臨床的意義の解明	渡部 直史	核医学講座	130,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
がん間質FAPI PETイメージングにおける集積の生物学的背景と臨床的意義の解明	新谷 康	呼吸器外科学講座	780,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
CCL1-CCR8経路を介した腫瘍内Treg制御による治療法の探索	西塔 拓郎	消化器外科学2講座	130,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
CCL1-CCR8経路を介した腫瘍内Treg制御による治療法の探索	和田 尚	臨床腫瘍免疫学共同研究講座	130,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
食道癌における腫瘍細菌叢解析と悪性化の機序解明	高橋 剛	消化器外科学2講座	130,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
食道癌における腫瘍細菌叢解析と悪性化の機序解明	田中 晃司	消化器外科学2講座	130,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
BRAF変異陽性大腸癌に対する新規治療薬の開発	植村 守	消化器外科学1講座	130,000	補委	独立行政法人日本学術振興会

がん関連時計遺伝子の発現調節によるパーソナライズドクロノセラピーの検討	三吉 範克	消化器外科学2講座	52,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
がん関連時計遺伝子の発現調節によるパーソナライズドクロノセラピーの検討	植村 守	消化器外科学1講座	52,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
胸腺上皮性腫瘍の腫瘍間質をターゲットとした治療戦略の探索	保仙 直毅	血液・腫瘍内科学講座	130,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
胸腺上皮性腫瘍の腫瘍間質をターゲットとした治療戦略の探索	新谷 康	呼吸器外科学講座	130,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
胸腺上皮性腫瘍の腫瘍間質をターゲットとした治療戦略の探索	木村 亨	呼吸器外科学講座	130,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
胸腺上皮性腫瘍の腫瘍間質をターゲットとした治療戦略の探索	渡部 直史	核医学講座	130,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
肺移植後炎症における肺胞マクロファージの役割と制御経路の検討	狩野 孝	呼吸器外科学講座	65,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
肺移植後炎症における肺胞マクロファージの役割と制御経路の検討	福井 絵里子	呼吸器外科学講座	65,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
肺移植後炎症における肺胞マクロファージの役割と制御経路の検討	木村 亨	呼吸器外科学講座	26,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
肺移植後炎症における肺胞マクロファージの役割と制御経路の検討	大瀬 尚子	呼吸器外科学講座	13,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
肺移植後炎症における肺胞マクロファージの役割と制御経路の検討	新谷 康	呼吸器外科学講座	26,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
泌尿器癌におけるPublic Neoantigenの同定とその特異的T細胞誘導による新規治療開発	野々村 祝夫	泌尿器科学講座	130,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
泌尿器癌におけるPublic Neoantigenの同定とその特異的T細胞誘導による新規治療開発	加藤 大悟	泌尿器科学講座	130,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
頸部郭清術計画の最適化と患者QOLの改善を目指した超高精度リンパ節転移診断の実現	渡部 直史	核医学講座	65,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
人工知能により創出された新たな知に基づく病理画像解析システムの開発	松井 功	腎臓内科学講座	130,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
人工知能により創出された新たな知に基づく病理画像解析システムの開発	井上 和則	腎臓内科学講座	130,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
人工知能により創出された新たな知に基づく病理画像解析システムの開発	猪阪 善隆	腎臓内科学講座	130,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
新規治療戦略を見据えた膵α細胞機能とDPP-4発現の病態学的解析	片上 直人	内分泌・代謝内科学講座	210,990	補委	独立行政法人日本学術振興会
ナノポア技術と機械学習を用いた新たな微生物迅速診断検査系の確立	濱口 重人	変革的ヒト検体解析学(日本財団)寄附講座	130,000	補委	独立行政法人日本学術振興会

大阪臨床研究ネットワーク基盤を利用した新規骨転移血液バイオマーカーの多施設研究	田中 啓之	運動器スポーツ医科学共同研究講座	65,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
大阪臨床研究ネットワーク基盤を利用した新規骨転移血液バイオマーカーの多施設研究	王谷 英達	整形外科科学講座	65,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
多光子励起イメージング技術による新規低侵襲卵巣内がん微小残存病変の検出	松井 崇浩	病態病理学講座	182,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
新規実験システムを用いた血小板インテグリンシグナル制御機構の解析とその応用	加藤 恒	血液・腫瘍内科学講座	130,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
1型糖尿病に対する脂肪由来幹細胞を用いた新規膵島移植療法の開発	小林 省吾	消化器外科学2講座	130,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
1型糖尿病に対する脂肪由来幹細胞を用いた新規膵島移植療法の開発	富丸 慶人	消化器外科学2講座	260,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
乳癌の血管擬態を標的とした新規治療法の開発	下田 雅史	乳腺・内分泌外科学講座	130,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
大腸癌における特異的な新規がん関連線維芽細胞マーカーの同定	三吉 範克	消化器外科学2講座	390,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
グルタミン代謝を標的とした膵癌における老化細胞除去と薬剤耐性の克服	小林 省吾	消化器外科学2講座	130,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
肝内胆管癌におけるIL-33の腫瘍周囲環境への影響の検討	山田 大作	消化器外科学2講座	130,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
肝癌微小環境における腫瘍関連マクロファージを中心とした細胞間相互作用の解明	小林 省吾	消化器外科学2講座	130,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
肺がんにおける癌関連線維芽細胞の機能解析と新規治療戦略の提案	福井 絵里子	呼吸器外科学講座	65,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
肺がんにおける癌関連線維芽細胞の機能解析と新規治療戦略の提案	狩野 孝	呼吸器外科学講座	65,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
肺がんにおける癌関連線維芽細胞の機能解析と新規治療戦略の提案	大瀬 尚子	呼吸器外科学講座	65,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
腎細胞癌局所内免疫状態を構築する血液内細菌叢の同定	野々村 祝夫	泌尿器科学講座	65,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
腎細胞癌局所内免疫状態を構築する血液内細菌叢の同定	河嶋 厚成	泌尿器科学講座	65,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
腎移植後拒絶反応の診断および治療効果予測のための革新的新規バイオマーカーの創出	野々村 祝夫	泌尿器科学講座	39,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
腎移植後拒絶反応の診断および治療効果予測のための革新的新規バイオマーカーの創出	中澤 成晃	泌尿器科学講座	39,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
尿路上皮癌患者におけるD-アミノ酸発現意義の解明	野々村 祝夫	泌尿器科学講座	65,000	補委	独立行政法人日本学術振興会

尿路上皮癌患者におけるD-アミノ酸発現意義の解明	河嶋 厚成	泌尿器科学講座	65,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
LSRが促進する卵巣癌の脂質代謝経路の探索と抗LSR抗体の抗腫瘍効果の証明	上田 豊	産科学婦人科学講座	130,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
LSRが促進する卵巣癌の脂質代謝経路の探索と抗LSR抗体の抗腫瘍効果の証明	中川 慧	産科学婦人科学講座	130,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
尿中エクソソームのPreeclampsia早期診断バイオマーカー有用性の検討	澤田 健二郎	産科学婦人科学講座	195,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
膵がん間質特異的コンジュゲート兵糧攻めと治療抵抗性リプログラミングによる根絶化	江口 英利	消化器外科学2講座	130,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
紫外光反応によるアスタチン核医学薬剤の新規合成法開発	渡部 直史	核医学講座	390,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
材料工学に基づく骨配向化原理の解明と新規骨基質誘導型骨代替インプラントの創製	岡田 誠司	整形外科科学講座	390,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
高分子薬の有効化に寄与する癌微小環境改善薬の開発	江口 英利	消化器外科学2講座	650,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
患者体内リアルタイム陽子線照射線量分布可視化システムの基盤創成	清水 伸一	重粒子線治療学寄附講座	390,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
トリプトファン代謝に関連した老化制御の機構解明とトランスレーショナルリサーチ	山本 浩一	老年・総合内科学講座	1,950,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
高齢者ケア事業所職員の感染対策リテラシー向上を目指した地域横断的プログラムの構築	濱口 重人	変革的ヒト検体解析学(日本財団)寄附講座	130,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
看護師を中心としたmultimorbidityに対する最適な介入方法の探索	武田 理宏	医療情報学講座	390,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
軽度認知機能障害者に対する睡眠データを活用したハイブリッド型看護外来の構築	池田 学	精神医学講座	65,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
放射線抵抗性腫瘍への重粒子線照射と免疫療法併用による局所・アブスコパル効果の検討	玉利 慶介	放射線治療学講座	130,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
PDX同所移植モデルを用いた脳腫瘍に対する新規核酸治療剤の開発	木嶋 教行	脳神経外科学講座	780,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
総合機能評価に基づいた心臓血管外科術後高齢者の社会復帰状況の調査検討	宮川 繁	心臓血管外科学講座	130,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
強度変調炭素イオン線治療実現に向けた基礎的検討	玉利 慶介	放射線治療学講座	130,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
クラウドを利用した全国的な放射線治療情報の集積・解析システムの構築	小川 和彦	放射線治療学講座	104,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
最新イメージング技術による肝の鉄代謝および線維化の解析とその臨床応用に関する検討	中本 篤	次世代画像診断学共同研究講座	65,000	補委	独立行政法人日本学術振興会

最新イメージング技術による肝の鉄代謝および線維化の解析とその臨床応用に関する検討	太田 崇詞	放射線医学講座	65,000	補 委	独立行政法人日本学術振興会
最新イメージング技術による肝の鉄代謝および線維化の解析とその臨床応用に関する検討	福井 秀行	放射線医学講座	65,000	補 委	独立行政法人日本学術振興会
膝前十字靭帯の4次元変形解析による関節制動機構の力学的解明	辻井 聡	運動器スポーツバイオメカニクス学共同研究講座	208,000	補 委	独立行政法人日本学術振興会
膝前十字靭帯の4次元変形解析による関節制動機構の力学的解明	大堀 智毅	整形外科学講座	520,000	補 委	独立行政法人日本学術振興会
心筋一問葉系幹細胞複合型組織の構築及び虚血性心筋症への再生治療	宮川 繁	心臓血管外科学講座	260,000	補 委	独立行政法人日本学術振興会
遺伝学的検査に関する報告書作成支援	山本 賢一	遺伝統計学	5,093	補 委	公益財団法人かずさDNA研究所
吹田市発達支援研究業務	下野 九理子	高次脳機能損傷学研究領域	15,000,000	補 委	吹田市
電子カルテ情報活用型多施設症例データベースを利用した糖尿病に関する臨床情報収集に関する研究(J-DREAMS)	下村 伊一郎	内分泌・代謝内科学	300,000	補 委	国立研究開発法人国立国際医療研究センター
試料集積の方法検討、トランスレーショナル実施案検討	小川 和彦	放射線治療学	100,000	補 委	国立研究開発法人国立がん研究センター
運動・スポーツの欲求等を高め、多くの人々の運動・スポーツの実施を促進するセンシングデバイスを含む計測機器で得られたデータの活用方法等に関する調査研究	中田 研	スポーツ医学	8,497,197	補 委	スポーツ庁
データ利活用等のデジタル化の推進による社会課題・地域課題解決のための実証型研究開発（第2回）	池田 学	精神医学	2,000,000	補 委	国立研究開発法人情報通信研究機構
臨床情報プラットフォーム構築による知識発見拠点形成	坂田 泰史	循環器内科	9,900,000	補 委	国立大学法人九州大学
新規CAR-T細胞の開発	保仙 直毅	血液・腫瘍内科学講座	1,500,000	補 委	(独)日本学術振興会
2023年度国際青少年サイエンス交流事業(さくらサイエンスプログラム)さくら招へいプログラム	橘 雅弥	連合小児発達学研究所	1,244,012	補 委	国立研究開発法人科学技術振興機構
エクソソームの生体内ダイナミクスの解明	望月 秀樹	神経内科学	10,660,000	補 委	国立研究開発法人科学技術振興機構
皮質脳波計測の総括とrBCIの検証	貴島 晴彦	脳神経外科学	13,650,000	補 委	国立研究開発法人科学技術振興機構
腸管免疫に着目したパーキンソン病における臓器間ネットワークの解明	木下 允	神経内科学	27,300,000	補 委	国立研究開発法人科学技術振興機構
大脳基底核深部電極を使用したBrain Machine Interface開発	谷 直樹	脳神経外科	7,274,800	補 委	国立研究開発法人科学技術振興機構
状態遷移を制御する血管正常化療法の開発	福嶋 葉子	眼科学	6,500,000	補 委	国立研究開発法人科学技術振興機構

動的異常翻訳のメカニズムとその病的意義	森 康治	精神医学	12,411,100	補 委	国立研究開発法人科学技術振興機構
肺傷害のリスクを可視化するLung stress mapping法の確立と臨床応用への挑戦	吉田 健史	麻酔・集中治療医学	7,845,500	補 委	国立研究開発法人科学技術振興機構
ヒトへの長期留置を目指した極低侵襲BMIシステムの開発	中村 元	脳神経外科学	16,399,500	補 委	国立研究開発法人科学技術振興機構
フォトニクスによる次世代医療・ヘルスケア技術に関する大阪大学による研究開発(研推→医学)	熊ノ郷 淳	呼吸器・免疫内科学	2,600,000	補 委	国立研究開発法人科学技術振興機構
フォトニクスによる次世代医療・ヘルスケア技術に関する大阪大学による研究開発(研推→医学)	島津 研三	乳腺・内分泌外科学	1,300,000	補 委	国立研究開発法人科学技術振興機構
フォトニクスによる次世代医療・ヘルスケア技術に関する大阪大学による研究開発(研推→医学)	西田 幸二	眼科学	1,300,000	補 委	国立研究開発法人科学技術振興機構
フォトニクスによる次世代医療・ヘルスケア技術に関する大阪大学による研究開発(研推→医学)	貴島 晴彦	脳神経外科学	4,550,000	補 委	国立研究開発法人科学技術振興機構
フォトニクスによる次世代医療・ヘルスケア技術に関する大阪大学による研究開発(研推→医学)	藤本 学	皮膚科学	17,160,000	補 委	国立研究開発法人科学技術振興機構
内視鏡医を救え！患者激増時代の、真に人間工学的な内視鏡保持システムの研究開発	中島 清一	次世代内視鏡治療学共同研究講座	13,539,821	補 委	中小企業庁
味覚刺激を用いた術後消化管運動改善に関する研究	三吉 範克	消化器外科学	750,000	補 委	大阪市
物理的に抗菌性を発現する「ナノスパイク」の医療への応用	忽那 賢志	感染制御学	1,925,000	補 委	日本医療研究開発機構
ヒト臍帯組織由来間葉系幹細胞とアテロロゲン半月板再生誘導材を用いた半月板再生医療の開発	中田 研	スポーツ医学	1,925,000	補 委	日本医療研究開発機構
体液中キラルアミノ酸による尿路性器癌鑑別を目的とした新規診断法の確立	河嶋 厚成	泌尿器科学	2,970,000	補 委	日本医療研究開発機構
X線画像から骨密度を推定するシステムの構築を目指した研究	上村 圭亮	運動器医工学治療学寄附講座	1,925,000	補 委	日本医療研究開発機構
X線画像から骨密度を推定するシステムの構築を目指した研究	上村 圭亮	運動器医工学治療学寄附講座	2,967,000	補 委	日本医療研究開発機構
オートファジー関連因子核酸医薬による多系統萎縮症進行抑制治療の創出を目指した研究	望月 秀樹	神経内科学	1,925,000	補 委	日本医療研究開発機構
脳心腎疾患の個別化医療を実現するエクソソームを用いた新規測定系の臨床応用	下村 伊一郎	内分泌・代謝内科学	1,925,000	補 委	日本医療研究開発機構
病的ペリオスチン測定装置の開発	谷山 義明	先端分子治療学共同研究講座	1,925,000	補 委	日本医療研究開発機構
病的ペリオスチン測定装置の開発	谷山 義明	先端分子治療学共同研究講座	2,450,000	補 委	日本医療研究開発機構

アテロコラーゲン半月板再生誘導材に多指症軟骨組織由来細胞を用いた無血行領域の半月板再生医療の開発	中田 研	スポーツ医学※予算配分所管は運動器スポーツバイオメカニクス学共同研究講座	2,970,000	補委	日本医療研究開発機構
CT像から筋骨格情報を計測するAIシステムの研究開発	上村 圭亮	運動器医工学治療学寄附講座	19,500,000	補委	日本医療研究開発機構
(基盤B(分担)・佐々木) 異分野連携によるα線核医学治療の効果予測に向けた線量評価システムの開発	佐々木秀隆	放射線部	195,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
(基盤B(分担)・野田剛広) 膀胱癌患者の飛躍的予後改善をめざした個別的治療方針決定法の策定	野田剛広	消化器外科(二外)	130,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
(基盤B(分担)・太田悦子) 高齢者ケア事業所職員の感染対策リテラシー向上を目指した地域横断的プログラムの構築	太田悦子	看護部	130,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
(基盤B(分担)_21-24_山中 雄翔) 蹴り出し推進型短下肢装具の開発-中足指節関節の伸曲両立性を担保できるソール素材-	山中雄翔	リハビリテーション部	195,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
(基盤B_22-24_佐藤 太郎) 膀胱がんメチロームの総体解明と制御法開発	佐藤太郎	消化器外科(二外)	2,470,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
(基盤B_22-24_清水 健太郎) 重症病態の腸内細菌を介した新規腸管バリア・免疫能の解析と腸内細菌叢再構築法の確立	清水健太郎	高度救命救急センター	5,330,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
(基盤B(分担)_22-26_入澤 太郎) 救命後の生活の質や患者・家族の意思を尊重した院外心停止治療戦略の構築に関わる研究	入澤太郎	高度救命救急センター	130,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
(基盤B_22-24_中島 和江) 術中の動画及び音声情報を用いた手術チームパフォーマンスの統合的解明	中島和江	中央クオリティマネジメント部	4,420,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
(基盤B(分担)_22-24_奥田 真弘) 非劣性的検討による地域フォーミュラ導入の患者アウトカム評価	奥田真弘	薬剤部	390,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
(基盤B_23-26_巽 光朗) がん間質FAPI PETイメージングにおける集積の生物学的背景と臨床的意義の解明	巽光朗	核医学診療科	4,290,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
(基盤B(分担)_23-25_中島 和江) 多次元データ・マルチモーダル機械学習による入院患者転倒転落リスク予測モデルの開発	中島和江	中央クオリティマネジメント部	130,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
(基盤B(分担)_23-25_北村 温美) 多次元データ・マルチモーダル機械学習による入院患者転倒転落リスク予測モデルの開発	北村温美	中央クオリティマネジメント部	130,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
基盤B(分担)_23-26_太田 悦子) 感染症に強い介護環境を提供する感染管理認定看護師によるプラットフォームの構築	太田悦子	看護部	13,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
(奨励研究_23-23_原 伸輔) 液中パーティクルカウンタを用いた院内製剤(点眼剤・注射剤) 製剤監査の標準化	原伸輔	薬剤部	440,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
(奨励研究_23-23_小林 暉英) 薬物トランスポーターを標的としたオキサリプラチン誘発末梢神経障害の予防薬の開発	小林暉英	薬剤部	480,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
(ひら☆とき_23-23_清水 健太郎) 腸内細菌を見て学ぶ〜うんち博士になろう！	清水健太郎	高度救命救急センター	227,541	補委	独立行政法人日本学術振興会
(基盤B_22-26_北島 康司) ゲノム・エピゲノム編集をもちいたダウン症候群の知的障害に対する遺伝子治療法の開発	北島康司	総合周産期母子医療センター	1,847,740	補委	独立行政法人日本学術振興会

(基盤C(分担)_19-21_山田)超高磁場MRI:多素子並列RF励起技術の安全性確立と局所超高分解能撮像への展開	山田幸子	放射線部	167,060	補委	独立行政法人日本学術振興会
(基盤C_19-21_射場 治郎)高齢者施設の種類と特徴に応じた救急・災害医が関与した災害計画と訓練手法の開発	射場治郎	高度救命救急センター	1,754,443	補委	独立行政法人日本学術振興会
(基盤C_19-22_北村 温美)地域包括ケアシステムにおけるPeer-to-peerネットワーク構築の有効性検討	北村温美	中央クオリティマネジメント部	2,917,700	補委	独立行政法人日本学術振興会
(若手研究_19-21_山田 幸子)Dual-energy 仮想非造影CTによる革新的な放射線治療計画法の開発と実用化	山田幸子	放射線部	885,384	補委	独立行政法人日本学術振興会
(基盤C_20-22_赤坂 憲)ビタミンD補充によるサルコペニア治療の可能性を探る	赤坂憲	老年・高血圧内科	715,845	補委	独立行政法人日本学術振興会
(基盤C_20-24_高橋 洋人)人工知能を活用したドパミン機能画像によるシスクレノパチー早期診断システムの確立	高橋洋人	放射線部	500,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
(基盤C_20-22_入澤 太郎)119番通報に人工知能を応用した新たな消防通信指令支援システムの開発に関する研究	入澤太郎	高度救命救急センター	1,485,655	補委	独立行政法人日本学術振興会
(基盤C_20-22_岡崎 利彦)低温度帯におけるエンドトキシン不活化を実現する革新的気相式滅菌デバイスの開発	岡崎利彦	未来医療開発部	2,332,644	補委	独立行政法人日本学術振興会
(若手研究_20-21_中村 大輔)冠動脈疾患患者の予後を光干渉断層画像から機械学習で予測する	中村大輔	循環器内科	869,746	補委	独立行政法人日本学術振興会
(若手研究_20-21_村津 有紗)メタゲノム及びメタボローム解析による重症病態の腸内環境デザインの開発	村津有紗	高度救命救急センター	693,831	補委	独立行政法人日本学術振興会
(若手研究_20-21_蛭原 健)脂肪特異的Atg5KOマウスを用いた敗血症病態におけるオートファジーの機能解明	蛭原健	高度救命救急センター	347,423	補委	独立行政法人日本学術振興会
(基盤C_21-23_池村 健治)医療ビッグデータ解析を基盤としたシスプラチン難聴予防法の開発	池村健治	薬剤部	1,300,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
(基盤C_21-23_荒木 俊彦)言語性記憶力を推定する脳磁図検査法の確立	荒木俊彦	臨床検査部	520,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
(基盤C_21-23_河盛 段)新規治療戦略を見据えた膵α細胞機能とDPP-4発現の病態学的解析	河盛段	糖尿病・内分泌・代謝内科	650,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
(基盤C_21-23_細見 早苗)新規抗酸化製剤を用いた頭部外傷後の神経機能回復に関する研究	細見早苗	高度救命救急センター	1,560,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
(基盤C_21-23_伊藤 弘)シングル細胞シーケンスを用いた敗血症における免疫抑制病態の解明と新規治療法開発	伊藤弘	高度救命救急センター	780,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
(基盤C_21-23_中尾 俊一郎)トランスクリプトームを用いた心停止の分子ネットワーク病態の解明と神経予後予測	中尾俊一郎	高度救命救急センター	1,170,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
(基盤C_21-23_酒井 智彦)コロナ時代の救急・災害現場における非接触型健康情報共有ツールの有用性に関する研究	酒井智彦	高度救命救急センター	1,820,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
(基盤C_21-23_片山 祐介)地域を網羅した大規模救急患者レジストリ分析による救急搬送患者の実態解明	片山祐介	高度救命救急センター	1,430,000	補委	独立行政法人日本学術振興会

(基盤C.21-23_佐原 亘)機械学習に基づく完全自動化された骨関節三次元動態解析システムの開発	佐原亘	リハビリテーション部	260,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
(基盤C.21-23_山道 岳)大阪臨床研究ネットワーク基盤を利用した新規骨転移血液バイオマーカーの多施設研究	山道岳	泌尿器科	1,170,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
(基盤C.21-23_味村 和哉)漢方を用いた妊娠高血圧症候群を対象にしたDrug repositioning研究	味村和哉	産科婦人科	1,430,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
(基盤C.21-23_佐治 史恵)多光子励起イメージング技術による新規低侵襲卵巣内がん微小残存病変の検出	佐治史恵	生殖医療センター	1,300,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
(基盤C.21-23_山本 洋一)臨床研究における「被験者保護」の構造と運用に関する国内外比較論と今後の展望	山本洋一	未来医療開発部	1,560,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
(基盤C(分担)_21-23_中島 和江)適応性に機能する急変対応システムの有用性と実装に向けた研究	中島和江	中央クオリティマネジメント部	39,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
(基盤C(分担)_21-23_山田)膝蓋骨傾斜角の新たな計測法の開発と膝蓋腱付着部症の発生メカニズムの解明	山田大智	リハビリテーション部	32,500	補委	独立行政法人日本学術振興会
(基盤C(分担)_21-23_佐原)機械学習・深層学習を併用した骨関節診断・手術支援の実装と最適化	佐原亘	リハビリテーション部	65,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
(若手研究_21-23_吉波 哲大)分子バーコードを用いたNGS解析でのctDNA評価による乳癌の遠隔再発リスク診断	吉波哲大	乳腺・内分泌外科	1,560,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
(若手研究_21-24_石丸 大貴)認知症の物忘れ妄想に関連する生活環境因子の同定	石丸大貴	神経科・精神科	1,040,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
(研スタ_21-22_埴本 大喜)前頭側頭型認知症におけるごみ屋敷の成因の探索	埴本大喜	神経科・精神科	1,191,531	補委	独立行政法人日本学術振興会
(基盤C.22-24_井上 直哉)Breg細胞を用いた自己免疫性甲状腺疾患における新規検査法の開発	井上直哉	臨床検査部	1,300,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
(基盤C(分担)_22-24_仲 定宏)BNCTに用いるホウ素化合物BSHの標識合成法の開発と生体内における動態解明	仲定宏	薬剤部	195,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
(基盤C.22-24_上野 豪久)小腸移植後の慢性拒絶制御における間葉系幹細胞による再生細胞医療の研究	上野豪久	小児外科	1,430,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
(基盤C.22-24_西田 尚弘)内在性ウイルス粒子を介した細胞間コミュニケーションとその癌進展への関わり	西田尚弘	消化器外科(二外)	1,430,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
(基盤C.22-24_野田 剛広)肝癌微小環境における腫瘍関連マクロファージを中心とした細胞間相互作用の解明	野田剛広	消化器外科(二外)	1,430,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
(基盤C.22-24_平 将生)小児重症心不全における補助人工心臓による心機能改善を予測する因子の検討	平将生	心臓血管外科(一外)	1,300,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
(基盤C.22-24_光山 裕美)統合解析に基づくARDSの全身免疫と肺局所免疫の免疫分子病態解明	光山裕美	高度救命救急センター	1,690,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
(基盤C.22-24_蛭原 健)脂肪細胞による全身性炎症反応制御:オートファジーとアディポカイン産生	蛭原健	高度救命救急センター	1,560,000	補委	独立行政法人日本学術振興会

(基盤C_22-24_植村 俊彦)腎細胞癌局所内免疫状態を構築する血液内細菌叢の同定	植村俊彦	泌尿器科	1,300,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
(基盤C_22-24_田中 亮)腎移植後拒絶反応の診断および治療効果予測のための革新的新規バイオマーカーの創出	田中亮	泌尿器科	1,690,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
(基盤C_22-24_山本 顕生)尿路上皮癌患者におけるD-アミノ酸発現意義の解明	山本顕生	泌尿器科	1,300,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
(基盤C_22-24_平松 宏祐)LSRが促進する卵巣癌の脂質代謝経路の探索と抗LSR抗体の抗腫瘍効果の証明	平松宏祐	総合周産期母子医療センター	1,300,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
(基盤C(分担)_22-24_角田 守)網羅的プロテオーム解析から目指す子宮内膜癌新規治療薬の開発	角田守	総合周産期母子医療センター	130,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
(基盤C(分担)_22-24_平松 宏祐)網羅的プロテオーム解析から目指す子宮内膜癌新規治療薬の開発	平松宏祐	総合周産期母子医療センター	130,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
(基盤C(分担)_22-24_宮川 和晃)がん微小環境における骨吸収機序: IL-7とRANKL発現機序を軸とした解析	宮川和晃	歯科治療室	65,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
(基盤C_22-24_宮川 和晃)オステオサイトの生物学的特性からヒト骨組織の多様な構造特性を説明する試み	宮川和晃	歯科治療室	1,430,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
(基盤C_22-24_紀田 修平)大阪府がん登録データとDPCデータを用いた血液悪性腫瘍のリアルワールド解析	紀田修平	血液・腫瘍内科	1,300,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
(基盤C(分担)_22-24_赤坂 憲)サルコペニア合併高齢者糖尿病における【核】となる運動介入および骨格筋指標の開発	赤坂憲	老年・高血圧内科	260,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
(基盤C_22-24_山田 知美)リアルワールドデータ品質評価指標の構築と信頼性向上のための対策	山田知美	データセンター	1,040,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
(若手研究_22-25_福岡 智哉)HMGB1ペプチドによる胆道閉鎖症の新規内科的治療薬に基づいた再生医療の開発	福岡智哉	小児科	910,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
(若手研究_22-23_村井 一裕)B型肝炎ウイルス・C型肝炎ウイルス共感染時における線維化進展加速機構の解明	村井一裕	消化器内科	1,950,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
(若手研究_22-23_酒井 晋介)転写因子MondoによるPodocyte代謝調整機構の解明	酒井晋介	腎臓内科	1,170,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
(若手研究_22-24_早川 友朗)ミネラルコルチコイド受容体活性評価系の確立と臨床応用	早川友朗	糖尿病・内分泌・代謝内科	1,820,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
(若手研究_22-23_角田 守)ATP7Bを標的としたプラチナ抵抗性卵巣癌の新規治療方法の開発	角田守	総合周産期母子医療センター	1,950,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
(若手研究_22-24_須河内 昭成)マウス自然発癌モデルを用いた第三世代がん治療用HSV-1の治療効果と安全性の検討	須河内昭成	歯科治療室	1,560,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
(若手研究_22-24_仲島 圭将)無人タイムスタディおよび看護ビッグデータを用いた看護業務動線の解析と実務への応用	仲島圭将	医療情報部	910,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
(挑戦的研究萌芽_22-24_佐藤 太郎)膵がん間質特異的コンジュゲート兵糧攻めと治療抵抗性リプログラミングによる根絶化	佐藤太郎	消化器外科(二外)	1,950,000	補委	独立行政法人日本学術振興会

(研スタ_22-23_須永 晃弘)心房細動アブレーション術後におけるApple watchを応用した新たな抗凝固療法	須永晃弘	循環器内科	1,430,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
(研スタ_22-23_花井 洋人)サイトカイン刺激したMSC由来細胞外小胞の肩腱板断裂に対する骨腱部修復効果の解明	花井洋人	整形外科	130,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
(研スタ_22-23_的羽 大二郎)移植・再生医療に向けた肝・膵組織の三次元立体構築	的羽大二郎	消化器外科(二外)	1,430,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
(研スタ_22-23_岡 利樹)運動による代謝物の変化が前立腺癌の進展に及ぼす影響の検討	岡利樹	泌尿器科	1,430,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
(研スタ_22-23_辻村 剛)精液細菌叢に着目した新たな男性不妊メカニズム解明と細菌叢ターゲット治療開発	辻村剛	泌尿器科	1,430,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
(研スタ_22-23_奥田 洋平)泌尿器がん個別化免疫療法の開発～遺伝子改変ネオアンチゲン特異的T細胞の作製～	奥田洋平	泌尿器科	1,430,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
(基盤C_23-25_奥田 真弘)多層的アプローチによる抗がん薬誘発性末梢神経障害に対する新規予防法の開発	奥田真弘	薬剤部	1,820,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
(基盤C_23-25_山田 幸子)臨床MR画像に対するSNR評価の新機軸:すべての撮像法に適用可能な統一的分析法の樹立	山田幸子	放射線部	2,600,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
(基盤C_23-25_瀬戸 寛人)BRAF変異陽性大腸癌に対する新規治療薬の開発	瀬戸寛人	消化器外科(二外)	1,430,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
(基盤C_23-25_寛島 隆史)胸腺上皮性腫瘍の腫瘍間質をターゲットとした治療戦略の探索	寛島隆史	呼吸器外科	1,560,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
(基盤C_23-25_櫻井 禎子)肺移植後炎症における肺胞マクロファージの役割と制御経路の検討	櫻井禎子	呼吸器外科	1,300,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
(基盤C(分担)_23-27_松本 寿健)敗血症性脳症の分子病態統合解析と新規生体指標による積極的治療介入方法の提案	松本寿健	高度救命救急センター	65,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
(基盤C_23-25_奥田 洋平)泌尿器癌におけるPublic Neoantigenの同定とその特異的T細胞誘導による新規治療開発	奥田洋平	泌尿器科	2,340,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
(基盤C(分担)_23-25_中島 和江)ウェアラブルセンサーによる計測値に基づく高齢者転倒リスク予測・予防モデル開発	中島和江	中央クオリティマネジメント部	39,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
(基盤C(分担)_23-25_北村 温美)ウェアラブルセンサーによる計測値に基づく高齢者転倒リスク予測・予防モデル開発	北村温美	中央クオリティマネジメント部	39,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
(基盤C_23-26_権 泰史)全国がん登録を活用したがん患者のがん以外の死因調査研究	権泰史	神経内科・脳卒中科	1,430,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
(基盤C(分担)_23-26_石丸 大貴)アプリケーションシステムによる認知症ケアの暗黙知のビッグデータ化とその臨床応用	石丸大貴	神経科・精神科	26,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
(基盤C(分担)_23-25_宮川 和晃)全身性不活動が骨細胞の機能変容により脆弱性をもたらすメカニズムの解明と回避の戦略	宮川和晃	歯科治療室	1,560,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
(基盤C_23-25_松本 あゆみ)人工知能により創出された新たな知に基づく病理画像解析システムの開発	松本あゆみ	腎臓内科	2,340,000	補委	独立行政法人日本学術振興会

(若手研究_23-25_神谷 貴史)アスタチン[211At]核医学治療における半導体SPECT/CTを用いた集積評価	神谷貴史	放射線部	3,510,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
(若手研究_23-24_大竹 由利子)腸内細菌叢と脂質代謝物が腸管炎症に及ぼす影響についての検討	大竹由利子	消化器内科	2,730,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
(若手研究_23-25_前阪 和城)肝細胞癌に対する薬物療法の治療効果・生命予後を予測する新規バイオマーカーの開発	前阪和城	消化器内科	1,820,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
(若手研究_23-24_三宅 啓介)重症下肢虚血の救肢達成を可能とするiPS-MSCを用いた新規再生治療法の開発	三宅啓介	心臓血管外科(一外)	2,210,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
(若手研究_23-24_朝比奈 悠太)慢性腎臓病患者に対する植物性蛋白質食の有効性の評価～pilot study	朝比奈悠太	腎臓内科	3,770,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
(若手研究_23-25_花井 洋人)IFN γ 刺激したMSC由来細胞外小胞の肩腱板断裂に対する骨腱部修復促進効果の解明	花井洋人	整形外科	1,430,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
(研スタ_23-24_坂口 仁美)LSRを介し卵巣癌の増殖促進・抑制に寄与する脂質分子の探索とその作用機序の解明	坂口仁美	産科婦人科	1,430,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
(研スタ_23-24_豊田 有紀)オルガノスフェアとマイクロバイオーム解析による多次元腫瘍解析と次世代型治療効果予測システムの構築	豊田有紀	消化器外科(二外)	1,430,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
(研スタ_23-24_門脇 淳)筋萎縮性側索硬化症アストロサイトのマイトファジーによる病原性制御に関する研究	門脇淳	神経内科・脳卒中科	1,430,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
(研スタ_23-24_堀部 祐輝)尿路上皮癌の発癌機構に関わる代謝物を基質としたRNA修飾経路の解明	堀部祐輝	泌尿器科	1,430,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
(研スタ_23-24_谷 優)AR標的薬とPARP阻害剤の併用に着目した前立腺癌の新規合成致死性メカニズムの解明	谷優	泌尿器科	1,430,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
(研スタ_23-24_吉村 明洋)新規リボスクレアーゼRegnase-1を標的とした新たな腎がん免疫療法の開発	吉村明洋	泌尿器科	1,430,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
(研スタ_23-24_岡 愛実子)子宮頸がんの格差モニタリングとその要因解明～公的統計・がん登録データの活用～	岡愛実子	産科婦人科	1,430,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
(基盤C_21-23_吉澤 秀憲)監察医機関における熱中症解剖例の分子診断・病態解明、背景分析に関する研究	吉澤秀憲	病理部	105,922	補委	独立行政法人日本学術振興会
(基盤C_21-23_大谷 直矢)水素による移植組織内酸化ストレスの制御と生着率向上への試み	大谷直矢	形成外科	827,971	補委	独立行政法人日本学術振興会
(挑戦的研究(萌芽)_21-23_北畠 康司)新規のゲノム編集技術をもちいたダウン症候群の革新的遺伝子治療法の開発	北畠康司	総合周産期母子医療センター	1,453,368	補委	独立行政法人日本学術振興会
(基盤C_22-24_加藤 伸弥)大腸癌における特異的な新規がん関連線維芽細胞マーカーの同定	加藤伸弥	消化器外科(二外)	1,430,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
(研スタ_23-24_高田 創)胸腺がんの特徴的なゲノム・エピゲノム異常に基づく病態解明	高田創	呼吸器内科	1,430,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
(基盤C_22-24_黒田 一也)LIMK2に注目した、肥厚性瘢痕・ケロイドのコントロール	黒田一也	形成外科	1,040,000	補委	独立行政法人日本学術振興会

(厚生労働科研(分担)_22-23_味村 和哉) 妊婦健康診査、産婦健康診査における妊産婦支援の総合的評価に関する研究	味村和哉	産科婦人科	150,000	補 委	厚生労働省
(厚生労働科研(分担)_21-23_西山 和孝) 小児からの臓器提供にかかる基盤整備と普及・教育システムの開発に関する研究	西山和孝	高度救命救急センター	400,000	補 委	厚生労働省
(厚生労働科研_22-23_岡田 佳築)国や都道府県が循環器病対策に関する計画を策定する際に利用可能な指標の設定、及び新型コロナウイルス感染症による循環器病への影	岡田佳築	医療情報部	8,307,000	補 委	厚生労働省
(厚生労働科研(分担)_23-24_北村 温美) 医療安全地域連携加算等による医療経済・医療安全上の影響の検証と効率的かつ効果的な体制構築に向けた研究	北村温美	中央クオリティマネジメント部	400,000	補 委	厚生労働省
(厚生労働科研(分担)_23-24_岡田 佳築)がん患者に発症する心血管疾患・脳卒中の早期発見・早期介入に資する研究	岡田佳築	医療情報部	307,000	補 委	厚生労働省
(厚生労働科研(分担)_23-25_水木 満佐央) キャスルマン病、TAFRO症候群、類縁疾患の診療ガイドラインの策定や更なる改良に向けた 国際的な総意形成を踏まえた調査研	水木満佐央	血液腫瘍内科	150,000	補 委	厚生労働省
(厚生労働科研(分担)_23-25_山田 知美) 前眼部難病の診療ガイドライン作成および普及・啓発の研究	山田知美	データセンター	500,000	補 委	厚生労働省
(AMED・補助金)医療技術実用化総合促進事業	竹原徹郎	医学部附属病院	204,750,000	補 委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
(AMED・補助金)橋渡し研究プログラム	竹原徹郎	医学部附属病院	88,935,900	補 委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
臨床研究総合促進事業	竹原徹郎	医学部附属病院	49,220,000	補 委	厚生労働省
(AMED・補助金・R4年度繰越)医療技術実用化総合促進事業	竹原徹郎	医学部附属病院	11,220,000	補 委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
(AMED・補助金・玉川)スタートアップ課題解決支援事業(人工呼吸器患者を救う革新的神経刺激装置の開発)	玉川友樹	心臓血管外科(一外)	25,938,770	補 委	日本医療研究開発機構
(AMED・補助金・三宅)スタートアップ課題解決支援事業(感染を有する足部創傷に対する新規治療法の探索)	三宅啓介	心臓血管外科(一外)	19,500,000	補 委	日本医療研究開発機構
(国循・受託・坂田)循環器疾患診療実態調査(JROAD)のデータベースによる心臓サルコイドーシスの診療実態調査と二次調査に基づく診療・治療プロトコールの策定に関する	坂田泰史	循環器内科	30,000	補 委	国立研究開発法人国立循環器病研究センター
(東大・受託・吉山)PAD-TRACK研究(プレクリニカルAD縦断追跡研究)	吉山顕次	神経科・精神科	44,418	補 委	国立大学法人東京大学
(横浜市立大学・受託・植村)直腸癌手術におけるSPY-QPソフトウェアシステムを用いた吻合部腸管血流評価の有用性に関する多施設前向き単群試験	植村守	消化器外科(二外)	80,000	補 委	公立大学法人横浜市立大学
(国がん・受託・野々村)固形がん患者及び血縁者における生殖細胞系列遺伝子変異同定の有用性を評価する観察研究(略称:BRANCH Study)	野々村祝夫	泌尿器科	100,000	補 委	国立研究開発法人国立がん研究センター
(国立精神・望月)J-CAT及びJ-CAT PRIMEを活用した純粋小脳型脊髄小脳変性症のヒストリカルデータの収集	望月秀樹	神経内科・脳卒中科	143,000	補 委	国立精神・神経医療研究センター
(横浜市立大学・受託・植村)局所進行直腸癌に対する術前治療としての短期放射線療法とCAPOX及び短期放射線療法とCAPOXIRIの多施設共同ランダム化第III相	植村守	消化器外科(二外)	165,000	補 委	公立大学法人横浜市立大学

(札幌医大・井浦)クーデックエイミーPCAの術後痛に対する有効性を探索するオープンラベル他施設共同ランダム化並行群間比較研究	井浦晃	麻酔科	200,000	補 委	北海道公立 大学法人札 幌医科大学
(国立精神・委託・望月)パーキンソン病発症前から発症後に連続する神経回路病態の解明とトランスレータブル指標の開発	望月秀樹	神経内科・脳卒中科	236,580	補 委	国立精神・ 神経医療研 究センター
(貝塚病院・森井)肝生検病理診断基準均一化	森井英一	病理部	350,000	補 委	市立貝塚病 院
(東大・受託・吉山)J-TRCオンサイト研究(認知症プレクリニカル期プロドローマル期を対象とするトライアルレディコホート構築研究)	吉山顕次	神経科・精神科	446,900	補 委	国立大学法 人東京大学
(国がん・野々村)進行固形悪性腫瘍患者に対するAIマルチオミックスを活用したバイオマーカー開発の多施設共同研究	野々村祝夫	泌尿器科	570,000	補 委	国立研究開 発法人国がん 研究セン ター
(国立長寿医療研究センター・受託・赤坂)高齢者総合機能評価(CGA)ガイドラインの作成研究	赤坂憲	老年・高血圧内科	600,000	補 委	国立研究開 発法人国立 長寿医療研 究センター
(国立長寿医療研究センター・受託・赤坂)フレイル高齢者のレジストリ研究及びサルコペニアを含めた病態解明及び予防介入法の確率を目指した臨床ならびに関連研究	赤坂憲	老年・高血圧内科	600,000	補 委	国立研究開 発法人国立 長寿医療研 究センター
(A0271坂田)SGLT2阻害薬トグリフロジンを用いた心保護効果のメカニズムに関する研究	坂田泰史	循環器内科	704,000	補 委	国立大学法 人東海国立 大学機構
(岸和田市民病院・森井)泉州地区の骨髄疾患を対象とする病理学的検討	森井英一	病理部	1,075,000	補 委	市立岸和田 市民病院
(内閣府・SIP・武田)医療機関におけるトレーサビリティデータ収集方式の検討及び関連システムの設計と導入支援	武田理宏	医療情報部	1,100,000	補 委	国立研究開 発法人国際 医療研究セ ンター
(内閣府SIP・再委託(東大)・武田)医療機関・ベンダー・システムの垣根を超えた医療データ基盤構築による組織横断的な医療情報収集の実現	武田理宏	医療情報部	31,999,000	補 委	東京大学医 学部附属病 院
(静岡がん・土岐)cT1-2NO-2胃癌におけるロボット支援下胃切除術の腹腔鏡下胃切除術に対する優越性を検証するランダム化比較試験	土岐祐一郎	消化器外科(二外)	90,000	補 委	静岡県立静 岡がんセン ター
(AMED・再委託・樽井)研究開発推進ネットワーク事業(薬事承認を目指した医療機器開発のRBA実装と特定臨床研究における品質管理汎用性ツールの開発)	樽井弥穂	未来医療開発部	260,000	補 委	国立大学法 人筑波大学
(AMED・再委託・水木)難治性疾患実用化研究事業(統合レジストリを活用したキャスルマン病・TAFRO症候群における精密医療基盤の構築を目指す実用化研究)	水木満佐央	化学療法部	520,000	補 委	国立大学法 人長崎大学 病院
(AMED・再委託・山田)革新的がん医療実用化研究事業(MAGE-A4抗原を発現する切除不能進行・再発腫瘍に対するCAR-T細胞療法の医師主導第I相治験)	山田知美	データセンター	650,000	補 委	国立大学法 人三重大学
(AMED・再委託・岩崎)研究開発推進ネットワーク事業(QbDの概念が導入された業務フローの活用による多職種連携の研究計画支援体制・方法の汎用化に向けた検討)	岩崎幸司	未来医療開発部	650,000	補 委	国立大学法 人東海国立 大学機構
(AMED・再委託・岩崎)研究開発推進ネットワーク事業(実践研修の実施と検証による研究マネジメント人材育成及びネットワーク構築に関する研究)	岩崎幸司	未来医療開発部	793,000	補 委	学校法人藤 田学園 藤 田医科大学
【大阪府・委託費】令和5年度大阪府てんかん地域診療連携体制整備事業	貴島晴彦	脳神経外科	959,000	補 委	大阪府
(AMED・再委託・山田)再生医療実用化研究事業(AYA世代難治性固形がんに対する新規GD2特異的CAR-T療法の研究開発における統計学的検討)	山田知美	データセンター	1,000,000	補 委	国立大学法 人三重大学

(AMED・再委託・佐藤)臨床研究・治験推進研究事業(SCRUM-Japanの基盤を活用した血液循環腫瘍DNAゲノムスクリーニングに基づくBRCA変異を有する胆道がんに対する医	佐藤太郎	消化器外科(二外)	1,950,000	補 委	国立大学法人 北海道大学病院
(AMED・再委託・山田)研究開発推進ネットワーク事業(大阪地域、臨床研究者の立場からの調査・検討、実施)	山田知美	データセンター	2,600,000	補 委	国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター
【大阪府・委託】令和5年度大阪府若年性認知症支援コーディネーター設置事業	池田学	神経科・精神科	4,576,000	補 委	大阪府
(AMED・委託費・北村)医薬品等規制調和・評価研究事業(緊急な状況における薬事行政と市民の相互理解に寄与するコミュニケーション法の検討)	北村温美	中央クオリティマネジメント部	4,810,000	補 委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
【大阪府・委託】令和5年度若年性認知症地域支援力強化推進事業	池田学	神経科・精神科	5,132,000	補 委	大阪府
(AMED・再委託・中田)令和5年度臨床研究・治験推進研究事業 アジア地域における臨床研究・治験ネットワークの構築事業 感染症緊急事態に対応するためのアジア諸国	中田研	国際医療センター	6,500,000	補 委	国立研究開発法人 国立国際医療研究センター
(AMED・委託・新規・遠藤)難治性疾患実用化研究事業(脊髄髄膜瘤胎児手術の先進医療への展開)	遠藤誠之	胎児診断治療センター	7,183,800	補 委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
(AMED・再委託・山田)臨床研究・治験推進研究事業 生物統計家育成推(京都大学大学院における臨床統計家育成推進のための大学院・卒後一貫したプログラム構築)	山田知美	データセンター	7,300,000	補 委	国立大学法人 京都大学
(AMED・委託・繰越・遠藤)難治性疾患実用化研究事業(脊髄髄膜瘤胎児手術の先進医療への展開)	遠藤誠之	胎児診断治療センター	9,916,400	補 委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
(AMED・委託・西田)(NC)再生医療実用化基盤整備促進事業	西田幸二	未来医療開発部	20,150,000	補 委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
(AMED・委託費・山本)高品質のIRB審査の基盤となるIRBクラブの設立及びIRB運用ハンドブックの作成と普及に関する研究	山本洋一	未来医療開発部	24,700,000	補 委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
(AMED・委託費・北島)再生・細胞医療・遺伝子治療実現加速化プログラム(新規ゲノム編集技術とナノDDS探索によるダウン症候群の知的発達障害に対する遺伝子治療法の開発)	北島康司	総合周産期母子医療センター	38,168,000	補 委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
(AMED・委託費・名井)再生・細胞医療・遺伝子治療実現加速化プログラム(グローバル市場・規制を見据えた細胞・遺伝子治療の早期事業化戦略支援)	名井陽	未来医療センター	51,171,900	補 委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
(AMED・委託)(iPS)再生医療実用化基盤整備促進事業	竹原徹郎	教育研究支援課	65,000,000	補 委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
(医薬基盤研・委託・BRIDGE)AI基盤拠点病院の確立	土岐祐一郎	AI医療センター	70,000,000	補 委	国立研究開発法人 医薬基盤・健康・栄養研究所
☆(番号219001-A)原発性眼内悪性リンパ腫に対するONO-4059(ブルトンキナーゼ阻害剤)の医師主導による第Ⅱ相二重盲検比較試験	丸山和一	眼科	120,460	補 委	国立大学法人 東京大学
☆(番号229003-国循)生体弁置換術後の抗凝固療法における直接経口抗凝固薬エドキサバンの有効性および安全性に関する多施設共同無作為化比較試験	宮川繁	心臓血管外科	1,155,000	補 委	国立研究開発法人 国立循環器病研究センター

☆(番号229005-A)家族性高コレステロール血症ホモ接合体患者を対象にエビナクマブの長期安全性を評価するオープンラベル試験(拡大治験)	坂田泰史	循環器内科	7,502,000	補 委	国立研究開発法人国立循環器病研究センター
☆(番号239009-A)治癒切除不能進行・再発卵巣扁平上皮癌に対するペムプロリズマブ療法の有効性及び安全性を評価する単群非盲検第II相試験	中川慧	婦人科	1,000,000	補 委	国立大学法人新潟大学
☆(番号199011-A)血中循環腫瘍DNAでHER2遺伝子増幅が検出された切除不能固形がん患者を対象とするDS-8201a療法の多施設共同臨床第II相試験	佐藤太郎	消化器外科	1,375,850	補 委	愛知県がんセンター
☆(番号189005-A)V600E以外のBRAF遺伝子変異陽性、切除不能・再発大腸がん患者を対象としたEncorafenib + Binimetinib + セツキシマブ併用療法の有効性・安全性・proof-of-concept (POC)を検討する多施設共同第II相臨床試験	佐藤太郎	緩和医療センター	200,000	補 委	国立研究開発法人国立がん研究センター

計759件

- (注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
- 2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。
- 3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(1)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

番号	発表者氏名	筆頭者名の 特定機能病院における 所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
1	Kosuke Takahari, Takafumi Oka, Takayuki	循環器内科	First Report of Electromagnetic Interference Between Percutaneous Ventricular Assist Device and	JACC Case Rep. 2023 Aug 2;21:101981	Case report
2	Hattori K, Sakaguchi Y, Oka T, et al.	腎臓内科	Interstitial Eosinophilic Aggregates and Kidney Outcome in Patients with CKD	Clin J Am Soc Nephrol. 2023 Dec 1;18(12):1563-1572	Original Article
3	Yamamoto T, Isaka Y.	腎臓内科	Dietary Omega-3 Polyunsaturated Fatty Acids and Amelioration of CKD: Possible Cellular Mechanisms	Kidney360. 2023 Dec 1;4(12):1661-1662	Review
4	Kimura T, Sakai S, Isaka Y.	腎臓内科	D-Serine as a sensor and effector of the kidney	Clin Exp Nephrol. 2023 Nov;27(11):891-900	Review
5	Minami S, Sakai S, Yamamoto T, et al.	腎臓内科	FGF21 and autophagy coordinately counteract kidney disease progression during aging and obesity	Autophagy. 2024 Mar;20(3):489-504	Original Article
6	Oka T, Sakaguchi Y, Hattori K, et al.	腎臓内科	Association of Longitudinal B-Type Natriuretic Peptide Monitoring With Kidney Failure in Patients With CKD: A Cohort Study	Am J Kidney Dis. 2023 Nov;82(5):559-568	Original Article
7	Matsumoto A, Matsui I, Uchinomiya S, et al.	腎臓内科	Spatiotemporally quantitative in vivo imaging of mitochondrial fatty acid β -oxidation at cellular-level resolution in mice	Am J Physiol Endocrinol Metab. 2023 Nov 1;325(5):E552-E561	Original Article
8	Doi Y, Hamano T, Yamaguchi S, et al.	腎臓内科	Mediators between canagliflozin and renoprotection vary depending on patient characteristics: Insights	Diabetes Obes Metab. 2023 Oct;25(10):2944-2953	Original Article
9	Asahina Y, Sakaguchi Y, Oka T, et al.	腎臓内科	Association between urinary uric acid excretion and kidney outcome in patients with CKD	Sci Rep. 2024 Mar 1;14(1):5119	Original Article
10	Sakai S, Tanaka Y, Tsukamoto Y, et al.	腎臓内科	d-Alanine Affects the Circadian Clock to Regulate Glucose Metabolism in the Kidney	Kidney360. 2024 Feb 1;5(2):237-251	Original Article
11	Yamaguchi S, Hamano T, Yonemoto S, et al.	腎臓内科	Low-dosage active vitamin D modifies the relationship between hypocalcemia and overhydration in patients with advanced chronic	J Nephrol. 2024 Mar;37(2):535-538	Original Article

12	Shinzawa M, Matsumoto A, Kitamura H, et al.	腎臓内科	The association between embedded catheter implantation and hospitalization costs for peritoneal dialysis	Clin Exp Nephrol. 2024 Mar;28(3):245-253	Original Article
13	Minami S, Yamamoto T, Yamamoto-Imoto H, et al.	腎臓内科	Autophagy and kidney aging	Prog Biophys Mol Biol. 2023 May;179:10-15	Review
14	Yamamoto R, Isaka Y.	腎臓内科	Albumin Clearance as a Novel Predictor of Relapse in Adults with Minimal Change Nephrotic Syndrome	Kidney360. 2023 Jun 1;4(6):e720-e721	Review
15	Yasuda S, Inoue K, Matsui I, et al.	腎臓内科	Hepatic phosphate uptake and subsequent nerve-mediated phosphaturia are crucial for phosphate homeostasis following portal	Sci Rep. 2023 Apr 8;13(1):5794	Original Article
16	Matsui S, Hamba-Hamano T, Maeda S, et al.	腎臓内科	A Case Report of a Kidney Transplant Recipient With Organizing Pneumonia After Graft Loss	Transplant Proc. 2023 May;55(4):1081-1083	Case report
17	Sato K., Shigekawa M., Kozumi K., et al.	消化器内科	Initial drainage-related prognostic factors for perihilar cholangiocarcinoma: A single-center retrospective	DEN Open. 2023 Apr; 3(1): e127. / 2022 May 22. (オンライン)	Original Article
18	Tahata Y., Sakamori R., Yamada R., et al.	消化器内科	Improved Liver Function After Sustained Virologic Response Enhanced Prognosis in Hepatitis C with Compensated	Dig Dis Sci. 2023 May;68(5):2115-2122 / Epub 2022 Dec 16.	Original Article
19	Tsujii Y., Hayashi Y., Ishihara R., et al.	消化器内科	Diagnostic value of endoscopic ultrasonography for the depth of gastric cancer suspected of submucosal invasion: a	Surg Endosc. 2023 Apr;37(4):3018-3028. / Epub 2022 Dec 19.	Original Article
20	Tahata Y., Sakamori R., Maesaka K., et al.	消化器内科	Effect of sofosbuvir and velpatasvir therapy on clinical outcome in hepatitis C virus patients with decompensated cirrhosis	Hepatol Res. 2023 Apr;53(4):301-311. / Epub 2022 Dec 22.	Original Article
21	Yoshihara T., Shinzaki S., Iijima H., et al.	消化器内科	Combination therapy of ustekinumab and immunomodulator for inflammatory bowel disease: concerns about the	J Gastroenterol Hepatol. 2023 May;38(5):830-832. / Epub 2023 Mar 12.	Original Article
22	Fukuda H., Shinzaki S., Doi A., et al.	消化器内科	Concomitant Clostridioides difficile and Edwardsiella tarda Infection in a Patient with Ulcerative Colitis	Intern Med. 2023 Jun 15;62(12):1757-1763. / Epub 2022 Oct 26.	Case report
23	Tani M., Shinzaki S., Asakura A., et al.	消化器内科	Seasonal variations in gut microbiota and disease course in patients with inflammatory bowel disease	PLoS One. 2023 Apr 18;18(4):e0283880. / 2023 Apr 18.(オンライン)	Original Article
24	Yoshii S., Hayashi Y., Nakamura T., et al.	消化器内科	Endoscopic features and clinical course of colorectal carcinoma resected by cold snare polypectomy	J Gastroenterol Hepatol. 2023 Jun;38(6):948-954. / Epub 2023 Feb 24.	Original Article

25	Fukuoka M., Kodama T., Murai K., et al	消化器内科	Genome-wide loss-of-function genetic screen identifies INSIG2 as the vulnerability of hepatitis B virus-integrated hepatoma	Cancer Sci. 2024 Mar;115(3):859-870. / Epub 2024 Jan 29.	Original Article
26	Yoshioka T., Shigekawa M., Ikezawa K., et al.	消化器内科	The relationship between observation interval and prognosis in pancreatic cancer concomitant with intraductal papillary	Pancreatology. 2024 Feb;24(1):73-77. / Epub 2023 Nov 18.	Original Article
27	Uema R., Hayashi Y., Komori M., et al.	消化器内科	Non-Pure Intestinal Phenotype as an Indicator of Progression in Sporadic Nonampullary Duodenal Adenomas: A Multicenter	Clin Transl Gastroenterol. 2024 Jan 1;15(1):e00649.	Original Article
28	Kai M., Hikita H., Kazuki M., et al.	消化器内科	Clinical factors associated with the therapeutic efficacy of atezolizumab plus bevacizumab in patients with unresectable	PLoS One. 2024 Jan 2;19(1):e0294590. / 2024 Jan 2. (オンライン)	Original Article
29	Tahata Y., Hikita H., Mochida S., et al.	消化器内科	Posttreatment liver function, but not baseline liver function stratifies patient survival after direct-acting antiviral	J Gastroenterol. 2023 Dec;58(12):1211-1221. / Epub 2023 Oct 13.	Original Article
30	Okabe J., Kodama T., Sato Y., et al.	消化器内科	Regnase-1 downregulation promotes pancreatic cancer through myeloid-derived suppressor cell-mediated evasion of anticancer	J Exp Clin Cancer Res. 2023 Oct 9;42(1):262.	Original Article
31	Sakatani A., Hayashi Y., Saiki H., et al.	消化器内科	A novel role for Helicobacter pylori cytotoxin-associated gene A in negative regulation of autophagy in human gastric	BMC Gastroenterol. 2023 Sep 22;23(1):326.	Original Article
32	Otake-Kasamoto Y., Shinzaki S., Hiyama S., et al.	消化器内科	Carbon dioxide insufflation reduces the relapse of ulcerative colitis after colonoscopy: A randomized controlled trial	PLoS One. 2023 Aug 17;18(8):e0290329. / 2023 Aug 17. (オンライン)	Original Article
33	Kodama T., Takehara T.	消化器内科	Is it a prime time for germline genetic testing for HCC?	Hepatology. 2023 Aug 1;78(2):375-377. / Epub 2023 Jan 3.	Others
34	Saiki H., Hayashi Y., Yoshii S., et al.	消化器内科	The apelin-apelin receptor signaling pathway in fibroblasts is involved in tumor growth via p53 expression of cancer cells	Int J Oncol. 2023 Dec;63(6):139. / Epub 2023 Nov 3.	Original Article
35	Kawada K, Kita S, Fukuda S, et al.	糖尿病・内分泌・代謝内科	Chronic hyperadiponectinemia induced by transgenic overexpression increases plasma exosomes without	Endocr J. 2023 Jun 28;70(6):635-645.	Original Article
36	Fujishima Y, Kita S, Nishizawa H, et al.	糖尿病・内分泌・代謝内科	Cardiovascular significance of adipose-derived adiponectin and liver-derived xanthine oxidoreductase in metabolic	Endocr J. 2023 Jul 28;70(7):663-675.	Review
37	Fukuoka K, Mineo R, Kita S, et al.	糖尿病・内分泌・代謝内科	ER stress decreases exosome production through adiponectin/T-cadherin-dependent and -independent pathways.	J Biol Chem. 2023 Sep;299(9):105114.	Original Article

38	Iioka M, Hayakawa T, Otsuki M, et al.	糖尿病・内分泌・代謝内科	A Rare Case of Placental Abruption and Postpartum Compression Fractures in Pregnancy With Cushing Syndrome.	JCEM Case Rep. 2023 Nov 16;1(6):luad128.	Original Article
39	Nagao H, Nishizawa H, Fukuda S, et al.	糖尿病・内分泌・代謝内科	Correlation between plasma glutamate and adiponectin in patients with type 2 diabetes.	Endocr J. 2024 Jan 29;71(1):55–63.	Original Article
40	Fujii K, Fujishima Y, Kita S, et al.	糖尿病・内分泌・代謝内科	Pharmacological HIF-1 activation upregulates extracellular vesicle production synergistically with adiponectin through	Sci Rep. 2024 Feb 13;14(1):3620.	Original Article
41	Iioka M, Hayakawa T, Otsuki M	内分泌・代謝内科学	A Rare Case of Placental Abruption and Postpartum Compression Fractures in Pregnancy With Cushing Syndrome	JCEM Case Rep. 2023 Nov 16;1(6):luad128.	Case report
42	Katakami N., Mita T., Yoshii H. et al.	糖尿病・内分泌・代謝内科	Tofogliflozin long-term effects on atherosclerosis progression and major clinical parameters in patients with type 2	Cardiovascular Diabetology.2023 Jun 22;22(1):143.	Original Article
43	Katakami N., Mita T., Sato Y. et al.	糖尿病・内分泌・代謝内科	Changes in serum levels of liver-related parameters, uric acid, and hemoglobin in patients with type 2 diabetes mellitus under	Diabetology International.2024 Feb	Original Article
44	Kawamori D., Sasaki S.	卒後教育開発センター	Newly discovered knowledge pertaining to glucagon and its clinical application	Journal of Diabetes Investigation.2023 Jul;14(7):829–837. doi: 10.1111/jdi.14009.	Original Article
45	Takahara M., Shiraiwa T., Katakami N. et al.	臨床検査部	Daily Glucose Profiles after Switching from Injectable to Oral Semaglutide in Patients with Type 2 Diabetes Mellitus	Internal medicine.2024 Jan 1;63(1):43–50.	Original Article
46	Takahara M, Soga Y, Fujihara M, et al.	臨床検査部	Sodium-glucose co-transporter 2 inhibitor use in patients with diabetes mellitus undergoing endovascular therapy for	cardiovascular Diabetology. 2023 Oct 5;22(1):273.	Original Article
47	Sasaki S, Nian C, Xu EE et al.	糖尿病・内分泌・代謝内科	Type 2 diabetes susceptibility gene GRK5 regulates physiological pancreatic β -cell proliferation via	iScience.2023 Jul 10;26(8):107311	Original Article
48	Imada T., Katakami N., Watanabe H., et al.	糖尿病・内分泌・代謝内科	Effect of sodium-glucose cotransporter 2 inhibitors on serum low-density lipoprotein cholesterol in Japanese patients with type	Journal of Diabetes Investigation. 2024 Mar 8. Online ahead of print.	Original Article
49	Fujikawa Shingu K., Waguri M., Takahara M., et al.	糖尿病・内分泌・代謝内科	Association between infant birth weight and gestational weight gain in Japanese women with diabetes mellitus	Journal of Diabetes Investigation. 2024 Mar 6. Online ahead of print.	Original Article
50	Masuda T., Katakami N., Watanabe H., et al.	糖尿病・内分泌・代謝内科	Evaluation of changes in glycemic control and diabetic complications over time and factors associated with the progression of	Journal of Diabetes Investigation. 2024 Feb;16(2):e13486.	Original Article

51	Nishide M, Nishimura K, Matsushita H, et al.	免疫内科	Single-cell multi-omics analysis identifies two distinct phenotypes of newly-onset microscopic polyangiitis	Nature Communications. 2023 Oct 11;14(1):5789.	Original Article
52	Okita Y, Hirano T, Wang B, et al.	免疫内科	Automatic evaluation of atlantoaxial subluxation in rheumatoid arthritis by a deep learning model	Arthritis Research & Therapy. 2023 Sep 25;25(1):181.	Original Article
53	Shima Y, Watanabe A, Inoue N, et al.	免疫内科	Heating of the neck or elbows alleviates Raynaud's phenomenon but has different effects on different types of patients with	Modern Rheumatology. 2023 Sep 14:road091.	Original Article
54	Konaka H, Kato Y, Hirano T, et al.	免疫内科	Secretion of mitochondrial DNA via exosomes promotes inflammation in Behçet's syndrome	The EMBO Journal. 2023 Oct 16;42(20):e112573.	Original Article
55	Nii T, Maeda Y, Motooka D, et al.	免疫内科	Genomic repertoires linked with pathogenic potency of arthritogenic Prevotella copri isolated from the gut of patients with rheumatoid	Annals of the Rheumatic Diseases. 2023 May;82(5):621-629.	Original Article
56	Tsujimoto K, Takamatsu H, Kumanogoh A.	免疫内科	The Ragulator complex: delving its multifunctional impact on metabolism and beyond	Inflammation and Regeneration. 2023 May 12;43(1):28.	Review
57	Okita Y, Okamoto M, Fujimoto J, et al.	免疫内科	Pneumocephalus and Cerebral Abscess in Granulomatosis With Polyangiitis	The Journal of Rheumatology. 2024 Mar 1:jrheum.2023-1231.	Case report
58	Funakoshi K, Kato Y, Narazaki M, et al.	免疫内科	Paradoxical improvement of dyspnoea in relapsing polychondritis by glucocorticoid tapering	BMJ Case Reports. 2024 Jan 24;17(1):e257861.	Case report
59	Nishimura JI, Soubret A, Arase N, et al.	血液・腫瘍内科	Mitigating Drug-Target-Drug Complexes in Patients With Paroxysmal Nocturnal Hemoglobinuria Who Switch C5 Inhibitors.	Clin Pharmacol Ther. 2023 Apr;113(4):904-915.	Original Article
60	Kato H.	血液・腫瘍内科	[Recent progress in immune thrombocytopenia pathophysiology and treatment]	Rinsho Ketsueki. 2023;64(9):1106-1115. Japanese.	Review
61	Hino A, Fukushima K, Kusakabe S, et al.	血液・腫瘍内科	Prolonged gut microbial alterations in post-transplant survivors of allogeneic haematopoietic stem cell transplantation.	Br J Haematol. 2023 May;201(4):725-737.	Original Article
62	Hosen N.	血液・腫瘍内科	Identification of cancer-specific cell surface targets for CAR-T cell therapy	Inflamm Regen. 2024 Mar 29;44(1):17.	Review
63	Ueda T, Fujita J, Akazawa Y, et al.	血液・腫瘍内科	Successful Bridging to Allogeneic Hematopoietic Stem Cell Transplantation by Azacitidine and Venetoclax in a Case of	Transplantation. Transplant Proc. 2023 Apr;55(3):711-714.	Case report

64	Mizutani Y, Kusakabe S, Fukushima K, et al.	血液・腫瘍内科	[Sequential therapy with inotuzumab ozogamicin followed by CAR T-cell therapy for Philadelphia chromosome-negative	Rinsho Ketsueki. 2024;65(2):78-83. Japanese.	Case report
65	Nakagami H, Matsumoto T, Takazawa K, et al.	老年・高血圧内科	Long Term Follow-Up Study of a Randomized, Open-Label, Uncontrolled, Phase I/II Study to Assess the Safety and	Vaccines (Basel). 2023 Sep 28;11(10):1535. doi: 10.3390/vaccines11101535.	Original Article
66	Nozato Y, Yamamoto K, Rakugi H	老年・高血圧内科	Hypertension management before and under the COVID-19 pandemic: lessons and future directions	Hypertens Res. 2023 Jun;46(6):1471-1477. doi: 10.1038/s41440-023-01253-7.	Review
67	Nozato Y, Yamamoto K.	老年・高血圧内科	The effects of smartphone apps expected in self-management for hypertension management	Hypertens Res. 2024 Feb;47(2):564-565. doi: 10.1038/s41440-023-01516-3.	Others
68	Nozato Y, Yamamoto K.	老年・高血圧内科	The future of digital hypertension management to overcome clinical inertia.	Hypertens Res. 2023 Jul;46(7):1804-1806. doi: 10.1038/s41440-023-01308-9.	Others
69	Takeshita H, Yamamoto K, Mogi M, et al.	老年・高血圧内科	Is the anti-aging effect of ACE2 due to its role in the renin-angiotensin system?- Findings from a comparison of the aging phenotypes of	Hypertens Res. 2023 May;46(5):1210-1220. doi: 10.1038/s41440-023-01189-y.	Review
70	Yasunobe Y, Akasaka H, Yamamoto K, et al.	老年・高血圧内科	Knee Extensor Weakness Potently Predicts Postoperative Outcomes in Older Gastrointestinal Cancer Patients	J Am Med Dir Assoc. 2024 Jan;25(1):98-103. doi: 10.1016/j.jamda.2023.05.020.	Original Article
71	Kawamura A, Yoshioka D, Kawamura M, et al.	心臓血管外科	The usefulness of chest drain and epicardial pacing wire culture for diagnosing mediastinitis after open-heart surgery	Surg Today. 2023 Jul (オンライン)	Original Article
72	Yakhshimurov U, Yamashita K, Kawamura T, et al.	心臓血管外科	Paradigm shift in myocarditis treatment	J Cardiol. 2023 Aug 17:S0914-5087(23)00203-4.	Original Article
73	Handa K, Shimamura K, Yamashita K, et al.	心臓血管外科	Re-redo aortic root replacement utilizing continuous coronary perfusion via bypass grafting in a patient with	JTCVS Tech. 2023 Aug 3;21:35-38.	Case Report
74	Kawasumi R, Kawamura T, Yoshioka D, et al.	心臓血管外科	Staged left ventricular assist device reimplantation via the left anterior wall approach for a patient with severe pump pocket	Artif Organs. 2023 Apr (オンライン)	Case Report
75	Nagashima T, Watanabe T, Taira M, et al.	心臓血管外科	Novel surgical technique for anomalous origin of a left coronary artery from the right sinus of Valsalva with a single coronary orifice	Asian Cardiovasc Thorac Ann. 2023 May (オンライン)	Original Article
76	Maeda K, Shimamura K, Yoshioka D, et al.	心臓血管外科	Midterm outcomes after surgical aortic valve replacement with the INSPIRIS RESILIA from a multicenter AVR registry	J Cardiol. 2023 Jun 3:S0914-5087(23)00127-2.	Original Article

77	Ide T, Shimamura K, Shijo T, et al.	心臓血管外科	Impact of Patent Lumbar Arteries on Aneurysmal Sac Enlargement with Type II Endoleak after Endovascular Aneurysm	Eur J Vasc Endovasc Surg. 2023 Jun 15;S1078-5884(23)00448-3.	Original Article
78	Nagashima T, Taira M, Hasegawa M, et al.	心臓血管外科	Pseudoaneurysm after aortopulmonary window repair and bilateral lung transplantation for eisenmenger syndrome: a	J Cardiothorac Surg. 2023 Jul 1;18(1):201.	Case Report
79	Tominaga Y, Taira M, Watanabe T, et al.	心臓血管外科	Risk factors for atrial arrhythmia recurrence after atrial arrhythmia surgery with pulmonary valve replacement	JTCVS Open. 2023 Apr 25;14:123-133.	Original Article
80	Maeda S, Toda K, Shimamura K, et al.	心臓血管外科	Preoperative higher right ventricular stroke work index increases the risk of de novo aortic insufficiency after continuous-flow left	J Artif Organs. 2023 Jul (オンライン)	Original Article
81	Saito T, Kawamura M, Toda K, et al.	心臓血管外科	Successful surgical repair of adult anomalous origin of the left main coronary artery from the pulmonary artery syndrome	Eur Heart J Case Rep. 2023 Jul 21;7(8):ytad340.	Case Report
82	Imaoka S, Samura T, Yoshioka D, et al.	心臓血管外科	Clinical Outcomes of Left Ventricular Assist Device Pump Infection	ASAIO J. 2023 Aug (オンライン)	Original Article
83	Kawamura T, Ito Y, Ito E, et al.	心臓血管外科	Safety confirmation of induced pluripotent stem cell-derived cardiomyocyte patch transplantation for ischemic cardiomyopathy:	Front Cardiovasc Med. 2023 Sep 15;10:1182209.	Original Article
84	Nakae M, Kainuma S, Toda K, et al.	心臓血管外科	Impact of complete revascularization in coronary artery bypass grafting for ischemic cardiomyopathy	JTCVS Open. 2023 Apr 20;15:211-219.	Original Article
85	Ito Y, Kawamura T, Chimura M, et al.	心臓血管外科	Mitochondrial function and coronary flow reserve improvement after autologous myoblast patch transplantation for	Eur Heart J Case Rep. 2023 Sep 21;7(10):ytad470.	Case Report
86	Shijo T, Shimamura K, Maeda K, et al.	心臓血管外科	Clinical Outcomes and Factors Associated With Aortic Shrinkage After Thoracic Endovascular Aortic Repair for	J Endovasc Ther. 2023 Oct (オンライン)	Original Article
87	Yamashita K, Shimamura K, Maeda K, et al.	手術部	Three-step surgical management algorithm for annular rupture in transcatheter aortic valve replacement	JTCVS Tech. 2023 Aug 22;22:169-177.	Original Article
88	Goto T, Fujimura H, Shintani T, et al.	心臓血管外科	Use of selective visceral angiography in surgical strategy planning for celiac artery aneurysm in the celiacomesenteric trunk	J Cardiothorac Surg. 2024 Jan 19;19(1):11.	Case Report
89	Nagashima T, Taira M, Hasegawa M, et al.	心臓血管外科	The usefulness of staged extra-anatomic bypass for coarctation of the aorta with arch hypoplasia, from premature neonate to adult	Asian Cardiovasc Thorac Ann. 2024 Mar (オンライン)	Case Report

90	Umetsu A, Taira M, Hasegawa M, et al.	心臓血管外科	Left ventricular assist device temporary explantation as a strategy for infection control in a pediatric patient	J Artif Organs. 2024 Mar (オンライン)	Case Report
91	Shintani Y, Funaki S, Kanou T, et al.	呼吸器外科	Integrated cardiothoracic team approach for complex lung transplantation procedures in Japan—current status and future	J Thorac Dis . 2023 Sep 28;15(9):5195–5203.	Review
92	Isono T, Iwahori K, Yanagawa M, et al.	呼吸器外科	T cell immunity in interstitial lung disease with non-small cell lung cancer patients.	Lung Cancer. 2023 Aug;182:107278.	Original Article
93	Nagata H, Kanou T, Fukui E, et al.	呼吸器外科	A case of surgical pulmonary artery plasty for pulmonary artery stenosis after right single-lung	General Thoracic and Cardiovascular Surgery Cases 2, Article number: 30 (2023)	Case report
94	Matsui Y, Kanou T, Matsui T, et al.	呼吸器外科	Protective effect of calpain inhibition during cold ischemia on ischemia-reperfusion injury after lung	Transplantation. 2023 Sep 1;107(9):1945–1954.	Original Article
95	Mari Tone , Kota Iwahori , Takayuki Shiroyama et al.	消化器外科	Impact of minocycline on outcomes of EGFR-mutant non-small cell lung cancer patients treated with EGFR-TKIs.	Sci Rep. 2023.5	Original Article
96	Yoshinori Hayashi , Tomoki Makino , Eiichi Sato	消化器外科	Density and Maturity of Peritumoral Tertiary Lymphoid Structures in Oesophageal Cancer Predicts Patient Survival	Br J Cancer 2023.6	Original Article
97	Kazuyoshi Yamamoto , Takeshi Omori , Yukinori	消化器外科	Laparoscopic Gastrectomy for Advanced Gastric Cancer	Am Surg 2023.10	Original Article
98	Yoshito Tomimaru , Shogo Kobayashi , Toshinori Ito	消化器外科	Impact of decompression tube placement in duodenal graft on graft perforation after pancreas transplantation	Transplant Proc 2023.5	Original Article
99	Yoshito Tomimaru , Hidetoshi Eguchi , Yoshimitsu	消化器外科	Standard versus delayed initiation of S-1 adjuvant chemotherapy after surgery for pancreatic cancer: a secondary analysis of a	J Gastroenterol 2023.8	Original Article
100	Keizo Kaku , Yasuhiro Okabe , Shinsuke Kubo et al.	消化器外科	Size-mismatched transplantation from large donors to small recipients is associated with pancreas graft thrombosis: A	Clin Transplant 2023.8	Original Article
101	Satoshi Kawata , Junji Kozawa , Sho Yoneda et al.	消化器外科	Inflammatory cell infiltration into islets without PD-L1 expression is associated with the development of immune checkpoint	Diabetes 2023.4	Original Article
102	Takayuki Ogino , Tsunekazu Mizushima , Makoto Fujii	消化器外科	Crohn's Disease-Associated Anorectal Cancer Has a Poor Prognosis With High Local Recurrence: A Subanalysis	Am J Gastroenterol 2023.9	Original Article

103	Takahiro Korai , Kenji Okita , Koichi Okuya et al.	消化器外科	Development of an ultralow-latency communication system using shared internet access: promoting the	Surg Today 2023.4	Original Article
104	Shiki Fujino , Norikatsu Miyoshi , Masatoshi Kitakaze et	消化器外科	Lymph node metastasis in T1 colorectal cancer: Risk factors and prediction model	Oncology Letters 2023.5	Original Article
105	Kazuki Sasaki , Shogo Kobayashi , Yoshifumi Iwagami et	消化器外科	Rituximab administration one week before ABO-incompatible liver transplantation due to drug-induced acute liver	Clin J Gastroenterol., 2023.10	Case report
106	Kazuki Sasaki , Tadafumi Asaoka , Shogo Kobayashi et	消化器外科	Successful endovascular embolization of the common hepatic artery for pseudoaneurysm associated with pancreatic fistula after	Surg Case Rep., 2023.8	Case report
107	Yuki Ushimaru , Tomoki Makino , Yuichiro Doki	消化器外科	ASO Author Reflections: Intramural Metastasis as Dismal Prognostic Factor in Esophageal Squamous Cell Carcinoma	Ann Surg Oncol 2023.8	Original Article
108	Yuki Ushimaru , Tomoki Makino , Koji Tanaka et al.	消化器外科	Clinical Significance of Intramural Metastasis as an Independent Prognostic Factor in Esophageal Squamous Cell Carcinoma	Ann Surg Oncol 2023.8	Original Article
109	Tomo Ishida , Yoshinori Hayashi , Yohei Nose et al.	消化器外科	Development of a new gastrointestinal endoscope forceps plug that can minimize gas leakage	DEN Open 2023.6	Original Article
110	Masaya Higashiguchi , Hiroto Murakami , Hirofumi	消化器外科	The impact of cellular senescence and senescence-associated secretory phenotype in cancer-associated fibroblasts on	Oncol Rep., 2023.5	Original Article
111	Shohei Takaichi , Yoshito Tomimaru , Shogo	消化器外科	Change impact of body composition during neoadjuvant chemoradiotherapy in patients with resectable and	Ann Surg Oncol 2023.4	Original Article
112	Yuto Kubo , Tomoki Makino , Yuichiro Doki et al.	消化器外科	ASO Author Reflections: Risk for Three-Course Neoadjuvant Chemotherapy in Advanced Esophageal Cancer	Ann Surg Oncol 2023.9	Original Article
113	Yuto Kubo , Masahiro Satoh , Sayaka Suzuki et al.	消化器外科	Randomized controlled trial of new hemostatic material "sodium calcium alginate" in a preclinical model	Surgery 2023.12	Original Article
114	Yuto Kubo , Tomoki Makino , Makoto Yamasaki et	消化器外科	Three-Course Neoadjuvant Chemotherapy Associated with Unfavorable Survival of Non-responders to the First Two Courses for	Ann Surg Oncol 2023.9	Original Article
115	Hiroto Takayama , Shogo Kobayashi , Kunihito	消化器外科	SPARC Accelerates Biliary Tract Cancer Progression through CTGF-mediated Tumor-Stroma interactions: SPARC as a Prognostic	Journal of Cancer Research and Clinical Oncology 2023.9	Original Article

116	Hiroaki Itakura , Tsuyoshi Hata , Daisuke	消化器外科	Tumor-suppressive role of the musculoaponeurotic fibrosarcoma gene in colorectal cancer	iScience 2023.4	Original Article
117	Yoshinori Hayashi , Tomoki Makino , Eiichi Sato	消化器外科	Density and maturity of peritumoral tertiary lymphoid structures in oesophageal squamous cell carcinoma predicts patient	Br J Cancer 2023.6	Original Article
118	Yoshinori Hayashi , Yuji Ishii , Tomo Ishida et al.	消化器外科	Management of abdominal gas leakage from surgical trocars in laparoscopic surgery: a preclinical study	Minim Invasive Ther Allied Technol 2023.8	Original Article
119	Yohei Nose , Tomo Ishida , Tomoki Makino et al.	消化器外科	Is simply covering the patient's mouth with a surgical mask during transnasal endoscopy sufficient as an anti-	Clin Endosc 2023.5	Original Article
120	Yohei Nose , Tomoki Makino , Mitsuaki Tatsumi et	消化器外科	Risk stratification of oesophageal squamous cell carcinoma using change in total lesion glycolysis and number of PET-positive	Br J Cancer 2023.5	Original Article
121	Ryugo Teranishi , Tsuyoshi Takahashi , Yuuki Obata	消化器外科	Combination of pimitespib (TAS-116) with sunitinib is an effective therapy for imatinib-resistant gastrointestinal stromal	Int J Cancer 2023.6	Original Article
122	Ryugo Teranishi , Kazuyoshi Yamamoto , Yukinori	消化器外科	Oral frailty is a risk factor for body weight loss after gastrectomy: a single-center, retrospective study	Int J Clin Oncol 2023.12	Original Article
123	Ryugo Teranishi , Tsuyoshi Takahashi , Yukinori	消化器外科	Long-term response to pimitespib in postoperative recurrent gastrointestinal stromal tumors with PDGFRA D842V mutation:	Surg Case Rep 2023.4	Case report
124	Ryugo Teranishi , Tsuyoshi Takahashi , Toshirou	消化器外科	Plasma trough concentration of imatinib and its effect on therapeutic efficacy and adverse events in Japanese	Int J Clin Oncol 2023.5	Original Article
125	Ryugo Teranishi , Tomoki Makino , Koji Tanaka et al.	消化器外科	Long-term survival and prognostic factors associated with curative conversion surgery for ct4b esophageal squamous cell	Surgery 2023.9	Original Article
126	Daiki Marukawa , Kunihito Gotoh , Shogo	消化器外科	Rubicon can predict prognosis in patients with pancreatic ductal adenocarcinoma after neoadjuvant	International Journal of Clinical Oncology 2023.4	Original Article
127	Takeshi Kado , Yoshito Tomimaru , Shogo Kobayashi et	消化器外科	Clinical impact of ischemic time of the pancreas or kidney graft on simultaneous pancreas-kidney transplantation: a	Transplant Proc 2023.5	Original Article
128	Takeshi Kado , Yoshito Tomimaru , Shogo Kobayashi et	消化器外科	Prognostic impact of gastroduodenal artery involvement in cancer of the pancreatic head	Ann Surg Oncol 2023.4	Original Article

129	Shinya Kato , Norikatsu Miyoshi , Shiki Fujino et al.	消化器外科	Treatment response prediction of neoadjuvant chemotherapy for rectal cancer by deep learning of colonoscopy images.	Oncol Lett 2023.9	Original Article
130	Nobuo Takiguchi , Tsuyoshi Hata , Takuro Saito	消化器外科	A case of fulminant amoebic colitis during systemic chemotherapy for gastric cancer.	Clin J Gastroenterol 2023.10	Original Article
131	Nobuo Takiguchi , Mamoru Uemura , Masatoshi	消化器外科	High level sacral bone resection for locally recurrent rectal cancer.	Anticancer Res 2023.11	Original Article
132	Keisuke Toya , Yoshito Tomimaru , Shogo Kobayashi et	消化器外科	Efficacy of autologous skeletal myoblast cell sheet transplantation for liver regeneration in liver failure	Transplantation 2023.8	Original Article
133	Keisuke Toya , Yoshito Tomimaru , Shogo Kobayashi et	消化器外科	Impact of cytomegalovirus infection and disease on graft loss after pancreas transplantation: A single-institution study in Japan	Transplantation Proceedings 2023.4	Original Article
134	Keisuke Toya , Yoshito Tomimaru , Shogo Kobayashi et	消化器外科	Investigation of the Variation of Vessels Around the Pancreatic Head Based on the First Jejunal Vein Anatomy at	Langenbeck's Archives of Surgery 2023.8	Original Article
135	Satoshi Eguchi , Daisaku Yamada , Shogo	消化器外科	Automated analysis for the prevalence of cancer associated fibroblasts in resected specimens of intrahepatic	ASO 2023.5	Original Article
136	Kaoru Fujikawa , Takuro Saito , Koji Kurose et al.	消化器外科	Integrated analysis of phase 1a and 1b randomized controlled trials; Treg-targeted cancer immunotherapy with the	PLoS One 2023.9	Original Article
137	Daiki Hokkoku , Yoshito Tomimaru , Shogo	消化器外科	Clinical Significance of the Interposition Graft for Reconstruction Between the Common Hepatic Artery and Gastroduodenal	Transplant Proc 2023.5	Original Article
138	Hiromichi Sato , Tomoaki Hara , Sikun Meng et al.	消化器外科	Drug Discovery and Development of miRNA-Based Nucleotide Drugs for Gastrointestinal Cancer	Biomedicines 2023.8	Original Article
139	Hiromichi Sato , Tomoaki Hara , Sikun Meng et al.	消化器外科	Multifaced roles of desmoplastic reaction and fibrosis in pancreatic cancer progression: Current understanding and	Cancer Sci 2023.9	Original Article
140	Hiromichi Sato , Kazuki Sasaki , Shogo Kobayashi et	消化器外科	Pure Laparoscopic Donor Left Hepatectomy Reduces Postoperative Analgesic Use and Pain Scale	Transplant Proc 2023.5	Original Article
141	Go Sato , Yuya Shirai , Shinichi Namba et al.	消化器外科	Pan-cancer and cross-population genome-wide association studies dissect shared genetic backgrounds underlying carcinogenesis.	Nat Commun 2023.6	Original Article

142	Hiroki Ueda , Hidenori Takahashi , Shogo Kobayashi et	消化器外科	Pancreatic cancer near the splenic hilum has a higher likelihood of splenic vessel invasion and unfavorable survival	Langenbecks Arch Surg 2023.9	Original Article
143	Rie Hayashi , Norikatsu Miyoshi , Shiki Fujino et al.	消化器外科	Surgery for Rectal Cancer With Mixed Reality of 3D Model During Operation: A Case Report	Cacer Diagn Progn 2023.9	Case report
144	Takuya Inoue , Yuki Sekido , Takayuki Ogino et al.	消化器外科	Resection of anorectal fistula cancer associated with Crohn’s disease after preoperative chemoradiotherapy: a case	Surg Case Rep 2023.11	Case report
145	Daijiro Matoba , Takehiro Noda , Shogo Kobayashi et	消化器外科	Analysis of short-term and long-term outcomes of living donor liver transplantation for patients with high MELD score	Transplant Proc 2023.5	Original Article
146	Satoshi Higuchi , Tsuyoshi Takahashi , Yukinori	消化器外科	Laparoscopic repair of a traumatic diaphragmatic hernia with repeated colon incarcerations 7 years after injury: a case report	Surg Case Rep 2023.12	Case report
147	Daisuke Taguchi , Kotaro Yamashita , Kota Momose	消化器外科	A case of Barrett’s esophageal adenocarcinoma and severe scoliosis with successful salvage esophagectomy after	Surg Case Rep., 2023.11	Original Article
148	Chihiro Koga , Kotaro Yamashita , Yoshiro Yukawa et	消化器外科	The impact of postoperative blood glucose levels on complications and prognosis after esophagectomy in patients	Surg Today 2023.8	Original Article
149	Asami Arita , Tsuyoshi Takahashi , Kiyokazu Nakajima et	消化器外科	Surgery for multiple gastric gastrointestinal stromal tumors and large esophageal diverticulum related to germline	Surg Case Rep 2023.10	Case report
150	Yurina Saito , Tsuyoshi Takahashi , Toshirou Nishida et al.	消化器外科	Long-Term Outcomes of Pylorus-Preserving Gastrectomy for Early Gastric Cancer	Am Surg 2023.9	Original Article
151	Yurina Saito , Tsuyoshi Takahashi , Kosuke Hiramatsu et	消化器外科	Nano-particulate Toll-like Receptor 9 Agonist Potentiates the Antitumor Activity of Anti-Glypican-1 Antibody	Anticancer Res 2023.6	Original Article
152	Makoto Yamasaki , Hiroshi Miyata , Kotaro	消化器外科	Chemoradiotherapy versus triplet chemotherapy as initial therapy for T4b esophageal cancer: survival results from a multicenter	Br J Cancer 2023.7	Original Article
153	Daishi Yoshimura , Yuki Sekido , Hidekazu Takahashi et	消化器外科	Testicular metastasis 9 years after resection of primary descending colon cancer with simultaneous	Surg Case Rep 2023.6	Case report
154	Hidemi Nishi , Kunihito Gotoh , Yoshito Tomimaru et	消化器外科	Anti-tumor effect of avadomide in gemcitabine-resistant pancreatic ductal adenocarcinoma.	Cancer Chemother Pharmacol. 2023.10	Original Article

155	Noriko Wada , Yukinori Kurokawa , Tsuyoshi Takahashi et Yuta	消化器外科	Accurate Preoperative Evaluation of the Location of Esophagogastric Junction Adenocarcinoma Using Positron Emission	Am Surg 2023.12	Original Article
156	Kobayashi , Mamoru Uemura , Masakatsu	消化器外科	Venous thromboembolism following lateral lymph node dissection for rectal cancer	Anticancer Research 2024.2	Original Article
157	Daiki Hokkoku , Kazuki Sasaki , Shogo Kobayashi et	消化器外科	The apparent diffusion coefficient in intrahepatic cholangiocarcinoma DW-MRI non-invasively predicts Ki67 expression	Hepatology Research 2024.1	Original Article
158	Shogo Kobayashi , Akira Tomokuni , Yutaka	消化器外科	Exploratory prospective, randomized phase II study of neoadjuvant transcatheter arterial chemo-embolization plus	Hepatology Research 2024.1	Original Article
159	Takashi Yokouchi , Kiyokazu Nakajima , Tsuyoshi	消化器外科	The role of anterior gastropexy in elderly Japanese hiatal hernia patients	Surgery Today 2024.3	Original Article
160	Ryugo Teranishi , Tsuyoshi Takahashi , Shinsuke Sato	消化器外科	The impact of contour maps on estimating the risk of gastrointestinal stromal tumor recurrence: indications for adjuvant	Gastric Cancer 2024.3	Original Article
161	Hiroto Murakami # , Shokichi Takahama # , Hirofumi	消化器外科	Circulating tumor-associated antigen-specific IFN γ + 4-1BB + CD8 + T cells as peripheral biomarkers of treatment	Frontiers in Immunology 2024.3	Original Article
162	Naoko Sekiguchi , Hidenori Takahashi , Hirofumi	消化器外科	Long-term impact of replaced right hepatic artery resection in pancreaticoduodenectomy	updates in surgery 2024.3	Original Article
163	Keisuke Toya , Yoshito Tomimaru , Nariaki Fukuchi et	消化器外科	Influence of percutaneous transhepatic gallbladder aspiration and drainage for severe acute cholecystitis on the surgical outcomes of	Surgical Laparoscopy., Endoscopy & Percutaneous Techniques 2024.2	Original Article
164	Keisuke Oyama , Yoshifumi Iwagami , Shogo	消化器外科	Removal of gemcitabine-induced senescent cancer cells by targeting glutaminase1 improves the therapeutic effect in	IJC 2024.3	Original Article
165	Yoshihiro Sakano , Takehiro Noda , Shogo Kobayashi et	消化器外科	Geriatric Prognostic Scoring System predicts survival after hepatectomy for elderly patients with liver cancer.,	Annals of Gastroenterological Surgery 2023.12	Original Article
166	Park SA, Masunaga N, Kagara N, et al.	乳腺内分泌外科	Evaluation of RASSF1A methylation in the lysate of sentinel lymph nodes for detecting breast cancer metastasis: A diagnostic	Oncol Lett. 2023 Sep	Original Article
167	Hashimoto Y, Masunaga N, Kagara N, et al.	乳腺内分泌外科	Detection of Ultra-Rare ESR1 Mutations in Primary Breast Cancer Using LNA-Clamp ddPCR.	Cancers (Basel). 2023 May	Original Article

168	Masuyama M, Masuda N, Kawaguchi H, et al.	乳腺内分泌外科	Fulvestrant with or without anti-HER2 therapy in patients in a postmenopausal hormonal state and with ER-positive	Cancer Medicine. 2023 Sep	Original Article
169	Tomonori Tanei, Shigeto Seno, Yoshiaki Sota	乳腺内分泌外科	High HER2 Intratumoral Heterogeneity Is a Predictive Factor for Poor Prognosis in Early-Stage and Locally Advanced	Cancers (Basel). 2024 Mar 5;16(5):1062.	Original Article
170	Mimura K, Endo M, Kawanishi Y, et al.	小児外科	Neonatal outcomes of congenital diaphragmatic hernia in full term versus early term deliveries: A systematic review and	Prenat Diagn. 2023 Jul;43(8):993-1001.	Review
171	Masahata K, Uga N, Nomura M, et al.	小児外科	Stapleless thoracoscopic lobectomy for congenital pulmonary airway malformation: a simple technique in thoracoscopic	J Surg Case Rep. 2023 May 15;2023(5):rjad247.	Original Article
172	Takase K, Ueno T, Matsuki K, et al.	小児外科	Liver-Spleen Volume Ratio as a Predictor of Native Liver Survival in Patients with Biliary Atresia.	Transplant Proc. 2023 May;55(4):872-877.	Original Article
173	Deguchi K, Saka R, Todo M, et al.	小児外科	Potential risks associated with laparoscopic gastrostomy in patients with the COL4A1 variant: Two case reports	Asian J Endosc Surg. 2024 Jan;17(1):e13269.	Case report
174	Ueno T, Wada M, Ogawa E, et al.	小児外科	Present state of intestinal transplantation in Japan.	Pediatr Surg Int. 2023 Sep 27;39(1):276.	Original Article
175	Satomura Y, Tachibana M, Yasuda K, et al.	小児外科	Comprehensive analyses of neurodevelopmental outcomes and quality of life of children with biliary atresia	J Pediatr Gastroenterol Nutr. 2024 Mar;78(3):514-523.	Original Article
176	Deguchi K, Saka R, Todo M, et al.	小児外科	Potential risks associated with laparoscopic gastrostomy in patients with the COL4A1 variant: Two case reports	Asian J Endosc Surg. 2024 Jan;17(1):e13269.	Case report
177	Deguchi K, Watanabe M, Yoneyama T, et al.	小児外科	Tension-free thoracoscopic repair of congenital diaphragmatic hernia combined with a percutaneous	Surg Today. 2023 May;53(5):640-646.	Original Article
178	Deguchi K, Zambaiti E, De Coppi P	小児外科	Regenerative medicine: current research and perspective in pediatric surgery	Pediatr Surg Int. 2023 Apr 4;39(1):167	Review
179	Yoshizawa H, Hattori S, Yoshida KI, et al.	病理診断科	Association of atmospheric temperature with out-of-hospital natural deaths occurrence before and during the COVID-19	Sci Rep. 2023 Oct 28;13(1):18529.	Original Article
180	Morii E.	病理診断科	Tumor heterogeneity from the viewpoint of pathologists.	Pathol Int. 2023 Sep;73(9):394-405.	Review

181	Nojima S, Kadoi T, Suzuki A, et al	病理診断科	Deep Learning-Based Differential Diagnosis of Follicular Thyroid Tumors Using Histopathological Images.	Mod Pathol. 2023 Nov;36(11):100296.	Original Article
182	Kiyokawa H, Matsui T, Kurashige M, et al	病理診断科	Mixed epithelial and stromal tumor synchronously detected in bilateral kidneys with end-stage renal failure.	Pathol Int. 2023 Sep;73(9):476-478.	Case report
183	Kido K, Nojima S, Motooka D, et al	病理診断科	Ovarian high-grade serous carcinoma cells with low SMARCA4 expression and high SMARCA2 expression contribute to platinum	J Pathol. 2023 May;260(1):56-70.	Original Article
184	Morii E, Hatanaka Y, Motoi N, et al	病理診断科	Guidelines for Handling of Cytological Specimens in Cancer Genomic Medicine.	Pathobiology. 2023.10;90(5):289-311.	Review
185	Kanai M, Sakimoto S, Nishida K.	眼科	Spontaneous separation of secondary epiretinal membrane after vitrectomy for retinal detachment.	Am J Ophthalmol 2024;34:102017.	Case report
186	Kawashima R, Matsushita K, Mandai K, 他	眼科	Necl-1/CADM3 regulates cone synapse formation in the mouse retina	iScience. 2024;27(4):109577.	Original Article
187	Shiraki A, Tsuboi K, Wakabayashi T, 他	眼科	Reperfusion of retinal nonperfusion by neovascular-vascular anastomosis in proliferative diabetic retinopathy	Eur J Ophthalmol. 2024;34(2):NP28-NP32.	Original Article
188	Shiraki A, Sakimoto S, Nishida K.	眼科	INTRAOPERATIVE OPTICAL COHERENCE TOMOGRAPHY OBSERVATION WITH PERFLUOROCARBON	Retin Cases Brief Rep. 2024;18(2):242-246.	Case report
189	Iwama Y, Nomaru H, Masuda T, 他	眼科	Label-free enrichment of human pluripotent stem cell-derived early retinal progenitor cells for cell-based regenerative	Stem Cell Reports. 2024;19(2):254-269.	Case report
190	Miki A, Fuse N, Fujimoto S, 他	眼科	Prevalence, Associated Factors, and Inter-Eye Differences of Refractive Errors in a Population-Based Japanese Cohort:	Ophthalmic Epidemiol. 2024;31(1):46-54.	Original Article
191	Sayanagi K, Fujimoto S, Hara C, 他	眼科	Effect of polyp regression and reduction on treatment efficacy in polypoidal choroidal vasculopathy treated with aflibercept.	Sci Rep. 2024;14(1):1833.	Case report
192	Hara C, Suzue M, Fujimoto S, 他	眼科	Comparison of Loading Dose between Aflibercept and Faricimab for Neovascular Age-Related Macular Degeneration	J Clin Med. 2024;13(2):385.	Original Article
193	Sato S, Morimoto T, Fujikado T, 他	眼科	Two Japanese Families with Pigmented Paravenous Retinochoroidal Atrophy and HK1 Mutation:	Case Rep Ophthalmol. 2024;15(1):8-14.	Case report

194	Koh S, Matsuo R, Inoue R, 他	眼科	A Comprehensive Wavefront Assessment of Keratoconus Using an Integrated Scheimpflug Corneal	Eye Contact Lens. 2024;50(1):16-22.	Original Article
195	Kamioka J, Sasaki K, Baba K, 他	眼科	Agent-based approach for elucidating the release from collective arrest of cell motion in corneal epithelial cell sheet.	J Biosci Bioeng. 2023;136(6):477-486.	Original Article
196	Suzue M, Shiraki N, Sakimoto S, 他	眼科	Optical coherence tomography angiography imaging in peripheral commotio retinae	Am J Ophthalmol Case Rep. 2023;32:101894.	Case report
197	Oie Y, Yamaguchi T, Nishida N,他	眼科	Systematic Review of the Diagnostic Criteria and Severity Classification for Fuchs Endothelial Corneal Dystrophy.	Cornea. 2023;42(12):1590-1600.	Original Article
198	Sayanagi K, Hara C, Fukushima Y, 他	眼科	Three cases of macular retinal detachment exacerbated during follow-up with myopic foveoschisis around myopic choroidal	Am J Ophthalmol Case Rep. 2023;32:101899.	Case report
199	Sakaguchi H, Kabata D, Sakimoto S, 他	眼科	Relationship between Full-Thickness Macular Hole Onset and Posterior Vitreous Detachment: A Temporal Onset Theory.	Ophthalmol Sci. 2023;3(4):100339.	Original Article
200	Hara C, Maruyama K, Wakabayashi T, 他	眼科	Choroidal Vessel and Stromal Volumetric Analysis After Photodynamic Therapy or Focal Laser for Central	Transl Vis Sci Technol. 2023;12(11):26.	Original Article
201	Koh S, Maeda N, Terao M,他	眼科	Optical Quality and Visual Performance With Different Toric Contact Lens Designs.	Eye Contact Lens. 2023;49(11):483-488.	Original Article
202	Koh S, Soma T, Jhanji V, 他	眼科	Acute Corneal Hydrops in Keratoconus Coinciding With COVID-19 Infection.	Asia Pac J Ophthalmol (Phila). 2023;12(6):622-623.	Original Article
203	21.Kubo K, Hashida N, Watanabe A, 他	眼科	Intensity-Modulated Radiation Therapy for Bilateral Choroidal Metastases Involving Macula and Optic Disc.	Cureus. 2023;15(10):e46729	Case report
204	22.Asao K, Hashida N, Maruyama K, 他	眼科	Comparative evaluation of 16S rRNA metagenomic sequencing in the diagnosis and understanding of bacterial endophthalmitis	BMJ Open Ophthalmol. 2023;8(1):e001342.	Original Article
205	23.Asao K, Hashida N, Motooka D, 他	眼科	Fungal dysbiosis and decreased tear mucin at the conjunctiva in patients with conjunctival mucosa-associated lymphoid tissue	BMJ Open Ophthalmol. 2023;8(1):e001360.	Original Article
206	Imaizumi T, Hayashi R, Kudo Y, 他	眼科	Ocular instillation of conditioned medium from mesenchymal stem cells is effective for dry eye syndrome by improving	Sci Rep. 2023;13(1):13100.	Case report

207	Sayanagi K, Hara C, Fukushima Y, 他	眼科	Three cases of macular retinal detachment exacerbated during follow-up with myopic foveoschisis around myopic choroidal	Am J Ophthalmol Case Rep. 2023;32:101899.	Case report
208	Kitao M, Hayashi R, Nomi K, 他	眼科	Identification of BST2 as a conjunctival epithelial stem/progenitor cell marker.	iScience. 2023;26(7):107016.	Original Article
209	Suzue M, Shiraki N, Sakimoto S, 他	眼科	Optical coherence tomography angiography imaging in peripheral commotio retinae: A case report.	Am J Ophthalmol Case Rep. 2023;32:101894	Case report
210	Hashida N, Nishida K.	眼科	Recent advances and future prospects: Current status and challenges of the intraocular injection of drugs for vitreoretinal	Adv Drug Deliv Rev. 2023;198:114870.	Review
211	Kitaguchi Y, Hayakawa R, Kawashima R, 他	眼科	Deep-learning approach to detect childhood glaucoma based on periorcular photograph.	Sci Rep. 2023;13(1):10141.	Case report
212	Iwamoto Y, Koh S, Inoue R, 他	眼科	Long-Term Corneal Refractive Power Changes Two Decades After Radial Keratotomy With Microperforations.	Eye Contact Lens. 2023;49(6):258-261.	Original Article
213	Oie Y, Sugita S, Yokokura S, 他	眼科	Clinical Trial of Autologous Cultivated Limbal Epithelial Cell Sheet Transplantation for Patients with Limbal Stem Cell Deficiency.	Ophthalmology. 2023;130(6):608-614.	Original Article
214	Wakabayashi T, Hara C, Shiraki A, 他	眼科	Simultaneous intravitreal aflibercept and gas injections for submacular hemorrhage secondary to polypoidal choroidal	Graefes Arch Clin Exp Ophthalmol. 2023;261(6):1545-1552.	Original Article
215	Sakaguchi H, Kabata D, Sakimoto S, 他	眼科	Relationship between Full-Thickness Macular Hole Onset and Posterior Vitreous Detachment: A Temporal Onset Theory.	Ophthalmol Sci. 2023;3(4):100339.	Original Article
216	Takenaka Y, Uno A, Tanaka H, et al.	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	Distant metastasis in head and neck squamous cell carcinoma variants: A population-based study	Head Neck. 2023 Apr;45(4), 882-889	Original Article
217	Takeshi Tsuda, Masanobu Suzuki, Yukinori	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	The current findings in eosinophilic chronic rhinosinusitis	Auris Nasus Larynx . 2024 Feb;51(1):51-60.	Review
218	Takeshi Tsuda, Takahito Fukusumi, Miyu Saito,	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	Microscopic Residual Disease After Nasal Squamous Cell Carcinoma Not Visualized on FDG PET-CT: A Case Report	Cureus . 2023 Oct 22;15(10):e47451.	Case report
219	Yuya Ueno, Takao Imai, Kayoko Higashi-Shingai, et al.	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	Stratification of patients with Menière's disease based on eye movement videos recorded from the beginning of vertigo attacks	Front Neurol . 2024 Jan 11:14:1348177. doi: 10.3389/fneur.2023.1348177. eCollection 2023.	Original Article

220	Itsuki Kitayama, Kiyohito Hosokawa, Shinobu Iwaki	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	Validation of Subharmonics Quantification Using Two-Stage Cepstral Analysis	jvoice.2023.12.002	Original Article
221	Kosuke Ebina, Yuki Etani, Yuichi Maeda 他	整形外科	Drug retention of biologics and Janus kinase inhibitors in patients with rheumatoid arthritis: the ANSWER cohort study.	RMD open 2023 Aug ; (3) : e003160	Original Article
222	Akira Tsujii, Haruna Takami, Seira Sato 他	整形外科	Deep Infection After Anterior Cruciate Ligament Reconstruction Diagnosed by Intratunnel Suspensory Fixation Device Migration:	JBJS case connector 2023 Oct ; 13(4) : e23.00312	Original Article
223	Seira Sato, Tatsuhiro Hanai, Takashi Kanamoto	整形外科	Vibration acceleration enhances proliferation, migration, and maturation of C2C12 cells and promotes regeneration of	Physiological reports 2024 Feb ; 12(4) : e15905	Original Article
224	Kosuke Ebina, Yoshio Nagayama, Masafumi Kashii 他	整形外科	An investigation of the differential therapeutic effects of romosozumab on postmenopausal osteoporosis patients with	Osteoporos Int . 2024 Jan; 35(5): 841-849.	Original Article
225	Yuichiro Ukon , Shota Takenaka, Takahiro Makino. et al.	整形外科	Preoperative Risk Factors Affecting Outcome in Surgically Treated Pyogenic Spondylodiscitis	Global Spine J . 2023 Oct;13(8):2201-2209.	Original Article
226	Mae H.	整形外科	Targeting the Clear Cell Sarcoma Oncogenic Driver Fusion Gene EWSR1::ATF1 by HDAC Inhibition	Cancer Res Commun . 2023 Jul 3;3(7):1152-1165. doi: 10.1158/2767-9764.CRC-22-0518.	Original Article
227	Kotani U.	整形外科	Therapeutic Potential of Bromodomain and Extra-Terminal Domain Inhibitors for Synovial Sarcoma Cells	2024 Mar 11;16(6):1125. doi: 10.3390/cancers16061125	Original Article
228	Kosuke Kita, Takahito Fujimori, Yuki Suzuki	整形外科	Automated entry of paper-based patient-reported outcomes: Applying deep learning to the Japanese orthopaedic association	Computers in Biology and Medicine. 2024 Feb. 172 (2024) 1018197	Original Article
229	Kosuke Kita, Takahito Fujimori, Yuki Suzuki	整形外科	Bimodal artificial intelligence using TabNet for differentiating spinal cord tumors-Integration of patient background	iScience. 2023 Sep 8; S2589-0042(23)01977-6.	Original Article
230	M. Tamaki, T. Ishibashi, T. Yamazaki	整形外科	Maximum flexion and lateral rollback revealed better patient satisfaction after total knee arthroplasty	Knee Surgery & Related Research 2024 Mar 27;36(1):12.	Original Article
231	Takaaki Noguchi, Makoto Hirao, Kosuke	整形外科	Reverse V-shaped osteotomy for ankylosing rocker-bottom foot deformity in patients with rheumatoid arthritis. A	Mod Rheumatol Case Rep . 2024 Jan 22:rxae005.	Review
232	Oka K, Miyamura S, Shiode R, et al.	整形外科	Three-dimensional corrective osteotomy for cubitus varus deformity using patient-matched instruments.	JSES Int. 2024;8(3):646-653. Published 2024 Feb 2.	Original Article

233	Shiode R, Miyamura S, Kazui A, et al.	整形外科	Reproduction of forearm rotation dynamic using intensity-based biplane 2D-3D registration matching method.	Sci Rep. 2024;14(1):5518. Published 2024 Mar 6.	Original Article
234	Shiode R, Miyamura S, Kazui A, et al.	整形外科	Acceptable range of forearm deformity derived from relation to three-dimensional analysis and clinical impairments.	J Orthop Res. 2024;42(7):1509-1518.	Original Article
235	Miyamura S, Shiode R, Lans J, et al.	整形外科	Quantitative 3-D CT Demonstrates Distal Row Pronation and Radiolunate Arthritis in the SNAC Wrist.	J Bone Joint Surg Am. 2023;105(17):1329-1337.	Original Article
236	Iwahashi T, Suzuki K, Tanaka H, et al.	整形外科	Neurotrophin® accelerates peripheral nerve regeneration in a rat sciatic nerve crush injury model.	J Orthop Sci. 2024;29(2):653-659.	Original Article
237	Hiroto Hanai, David A. Hart, George Jacob, et al.	整形外科	Small extracellular vesicles derived from human adipose-derived mesenchymal stromal cells cultured in a new	J Extracell Vesicles. 2023;12:12337	Original Article
238	Morisaka H, Sano H, Yamamoto M, et al.	皮膚科	Therapeutic efficacy of allogenic haematopoietic stem cell transplantation from an appropriate sibling donor to a patient with	J Eur Acad Dermatol Venereol. 2024 Feb 29	Letter
239	Kazuya Kuroda, Koichiro Kiya, Shinsuke	形成外科	Altered actin dynamics is possibly implicated in the inhibition of mechanical stimulation-induced dermal fibroblast	Exp Dermatol. 2023 Nov;32(11):2012-2022.	Original Article
240	Naoya Otani, Koichi Tomita, Yuki Kobayashi, et al.	形成外科	"Hydrogen-generating Si-based agent improves fat graft survival in rats"	Plast Reconstr Surg. 2023 Jul 10.	Original Article
241	Taomoto D, Ikeda M et al.	神経科・精神科	Utility of the Japanese version of the Clinical Dementia Rating® plus National Alzheimer's Coordinating Centre	Psychogeriatrics. 2024 Mar;24(2):281-294	Original Article
242	Satake Y, Ikeda M. et al	神経科・精神科	Complex cases with suspected dementia in the community need psychiatric support: Results from a nationwide survey in Japan.	Asian J Psychiatr. 2024 Jan;91:103840.	Letter
243	Satake Y, Ikeda M et al	神経科・精神科	Characteristics of very late-onset schizophrenia-like psychosis classified with the biomarkers for Alzheimer's disease: a	Int Psychogeriatr. 2024 Jan;36(1):64-77.	Original Article
244	Hata M, Ikeda M et al	神経科・精神科	Predicting postoperative delirium after cardiovascular surgeries from preoperative portable electroencephalography	Front Psychiatry. 2023 Nov 14;14:1287607.	Original Article
245	Satake Y, Ikeda M. et al	神経科・精神科	Cerebrospinal fluid amyloid beta with amyloid positron emission tomography concordance rates in a heterogeneous group of	Psychogeriatrics. 2023 Nov;23(6):1091-1093.	Others

246	Kanemoto H, Mori E, Ikeda M.	神経科・精神科	Response to the letter "The effect of Alzheimer's disease comorbidity in tap test response in idiopathic normal pressure	Int Psychogeriatr. 2023 Sep;35(9):531-532.	Letter
247	Kanemoto H, Ikeda M et al	神経科・精神科	Cerebrospinal fluid amyloid beta and response of cognition to a tap test in idiopathic normal pressure hydrocephalus: a case-	Int Psychogeriatr. 2023 Sep;35(9):509-517.	Original Article
248	Mori K, Ikeda M. et al	神経科・精神科	A heterozygous splicing variant IVS9-7A>T in intron 9 of the MAPT gene in a patient with right-temporal variant	Acta Neuropathol Commun. 2023 Aug 10;11(1):130.	Case report
249	Mori K, Gotoh S, Ikeda M.	神経科・精神科	Aspects of degradation and translation of the expanded C9orf72 hexanucleotide repeat RNA.	J Neurochem. 2023 Jul;166(2):156-171	Review
250	Ishimaru D, Ikeda M. et al	神経科・精神科	Criteria for detection of possible risk factors for mental health problems in undergraduate university students.	Front Psychiatry. 2023 Jun 29;14:1184156.	Original Article
251	Oshino S, Tani N, Hui Ming Khoo, 他	脳神経外科	Clinical Factors Related to Outcomes in Pediatric Epilepsy Surgery: Insight into Predictors of Poor Surgical Outcome	Neurol Med Chir [Tokyo].63(5):173-178.2023/4/6	Original Article
252	Iwata T, Hosomi K, Tani N, 他	脳神経外科	Utilization of three-dimensional fusion images with high-resolution computed tomography angiography for	J Neurosurg Case Lessons.6(9):CASE23330. 2023/8/28	Original Article
253	Dong D, Hosomi K, Mori N, 他	脳神経外科	White matter microstructural alterations in patients with neuropathic pain after spinal cord injury: a diffusion tensor	Front Neurol.14:1241658.2023/8/24	Original Article
254	Kimoto Y, Oshino S, Tani N, 他	脳神経外科	Characteristics of Changes in Intrathecal Baclofen Dosage over Time due to Causative Disease	Neurol Med Chir [Tokyo].63(12):535-541.2023/12/15	Original Article
255	Ozaki T	脳神経外科	Current State of the Flow Diverter in Endovascular Treatment	No Shinkei Geka, 2023 Nov;51(6):1133-1148.	Review
256	Yan T, Suzuki K, Kameda S, 他	脳神経外科	Chronic subdural electrocorticography in nonhuman primates by an implantable wireless device for brain-machine	Front Neurosci. 2023 Sep 28;17:1260675.	Original Article
257	Yan T, Maekawa K, Nota Y, 他	脳神経外科	Combining language corpora in a Japanese electromagnetic articulography database for acoustic-to-articulatory	Interspeech.2023-36	Others
258	Fortune C.B, Yan T, Kaiju T, 他	脳神経外科	Preliminary results of branch level, brachial plexus peripheral nerve stimulation on a non-human primate.	Annu Int Conf IEEE Eng Med Biol Soc. 2023 Jul;2023:1-5.	Original Article

259	Hashimoto H. Maruo T. Kimoto Y. 他	脳神経外科	Burr hole locations are associated with recurrence in single burr hole drainage surgery for chronic subdural hematoma	World Neurosurg X . 2023 Apr 27;19:100204.	Original Article
260	Hashimoto H. Maruo T. Kimoto Y.他	脳神経外科	The association between diffusion-weighted imaging-Alberta Stroke Program Early Computed Tomography Score and the	Interdisciplinary Neurosurgery: Advanced Techniques and Case Management 2023 Sep;33	Original Article
261	Hashimoto H. Takemoto O. Chiba Y.	脳神経外科	Growth patterns and ratios of posterior cranial fossa structures in the Japanese pediatric population: a study utilizing CT scans	Neuroradiology . 2023 Dec;65(12):1835-1844. / Epub 2023 Oct 6	Original Article
262	Hashimoto H. Takemoto O. Nishimoto K. 他	脳神経外科	Normal growth curve of choroid plexus in children: implications for assessing hydrocephalus due to choroid plexus hyperplasia	J Neurosurg Pediatr . 2023 Sep 8;32(6):627-637.	Original Article
263	Matsuzaki, S. Hara, T. Endo, M. et al.	産科・婦人科	Vertical compression suture for placenta previa: Using a dedicated needle for uterine compression suture to achieve longitudinal	Acta Obstet Gynecol Scand. 2023 Jul;102:961-963	Original Article
264	Nagase, Y. Kobayashi, E. Kobayashi, M. et al.	産科・婦人科	Intracorporeal colpotomy using the Gutclammer as a novel clamping device to prevent tumor spillage during laparoscopic radical	Asian J Endosc Surg. 2023 Jul; 16:658-661	Original Article
265	Watanabe, Y. Ueda, Y. Yagi, A. et al.	産科・婦人科	Disparities among Japanese municipalities in recommendations for routine and catch-up HPV vaccinations	Cancer Sci. 2023 May; 114:2139-2144	Original Article
266	Kuruma, A. Kodama, M. Kawashima, A. et al.	産科・婦人科	Massive full-thickness mucosal defect of the anterior vaginal wall in ring pessary treatment	Eur J Obstet Gynecol Reprod Biol. 2023 Apr; 283:167-168	Original Article
267	Mimura, K. Kawanishi, Y. Toda, A. et al.	産科・婦人科	Pregnancy outcomes of IgA vasculitis with nephropathy (Henoch-Schönlein purpura nephritis) compared with IgA nephropathy:	Hypertens Res Pregnancy. 2023 11:17-24	Original Article
268	Mimura, K. Endo, M. Kawanishi, Y. et al.	産科・婦人科	Neonatal outcomes of congenital diaphragmatic hernia in full term versus early term deliveries: A systematic review and	Prenatal Diagnosis.2033 Jul; 43:993-1001	Review
269	Oride, T. Sawada, K. Shimizu, A. et al.	産科・婦人科	Clinical trial assessing the safety of edoxaban with concomitant chemotherapy in patients with gynecological cancer-	Thromb J.2023 May: 21:57	Original Article
270	Shinya Matsuzaki. Ueda, Y. Satoko Matsuzaki. et	産科・婦人科	Relationship between abnormal placenta and obstetric outcomes: A meta-analysis	Biomedicines.2023 May; 11: 1522	Review
271	Sakaguchi-Mukaiida, H. Shinya Matsuzaki. Ueda, Y. et	産科・婦人科	Systematic review of the survival outcomes of neoadjuvant chemotherapy in women with malignant ovarian germ cell tumors	Cancers (Basel).2023 Sep; 15: 4470	Review

272	Kamei, Y. Kobayashi, E. Nakatani, E. et al.	産科・婦人科	A single institution's experience with minimally invasive surgery for ovarian cancer, and a systematic meta-analysis of the	Int J Clin Oncol.2023 Jun; 28:794-803	Review
273	Matsutani, K. Kinose, Y. Kato, M. et al.	産科・婦人科	Complicated pancreatic fistula after gynecologic surgery for left fallopian tube carcinosarcoma: A case report	Case Rep Womens Health.2024 Feb; 41: e00589	Case report
274	Suginobe H, Ishida H, Ishii Y	小児科	Isogenic pairs of induced-pluripotent stem-derived endothelial cells identify DYRK1A/PPARG/EGR1 pathway is responsible for	Human molecular genetics/ 2023	Original Article
275	Ishida H, Narita J, Ishii R他	小児科	Clinical Outcomes and Genetic Analyses of Restrictive Cardiomyopathy in Children	Circ Genom Precis Med./2023 Aug	Original Article
276	Ishida H, Maeda J, Uchida K他	小児科	Unique Pulmonary Hypertensive Vascular Diseases Associated with Heart and Lung Developmental Defects	J Cardiovasc Dev Dis./2023 Aug	Review
277	Hirose M, Ishida H, Kawamura T	小児科	Trans-subclavian approach for Impella CP implantation using the chimney graft in a pediatric patient with fulminant myocarditis	J Artif Organs/2023 Sep	Original Article
278	Suginobe H, Ishida H, Ishii Y他	小児科	Isogenic pairs of induced-pluripotent stem-derived endothelial cells identify DYRK1A/PPARG/EGR1 pathway is responsible for	Hum Mol Genet./ 2023 Dec	Original Article
279	Wang R, Hasegawa M, Suginobe H他	小児科	Impaired Relaxation in Induced Pluripotent Stem Cell-Derived Cardiomyocytes with Pathogenic TNNI3	J Am Heart Assoc./2024.	Original Article
280	Takeyari S, Yamamoto K, Fujiwara M他	小児科	A family with brachydactyly mental retardation syndrome with a missense variant in HDAC4	Clin Pediatr Endocrinol 2023;32(2):105-109	Case report
281	Nakano Y, Kubota T, Ohata Y他	小児科	Assessment of body fat mass, anthropometric measurement and cardiometabolic risk in children and adolescents	Endocr J 2023 Apr 28	Original Article
282	Kubota T, Namba N, Tanaka H他	小児科	Self-administration of burosumab in children and adults with X-linked hypophosphataemia in two open-label, single-arm	Adv Ther 2023 Apr	Original Article
283	Ohata Y, Kitaoka T, Ishimi T	小児科	Association of trabecular bone score and bone mineral apparent density with the severity of bone fragility in children and	PLoS One 2023 Aug	Original Article
284	Nabatame S, Kishimoto K, Mano T	小児科	Introduction and modification of the ketogenic diet in an adult patient with glucose transporter 1 deficiency	Epileptic Disord 2024 Mar 16.	Case report

285	Nabatame S, Tanigawa J, Tominaga K 他	小児科	Association between cerebrospinal fluid parameters and developmental and neurological status in	J Neurol Sci 2023 Apr	Original Article
286	Fukuhara S, Nonomura N.	泌尿器科	Editorial Comment to Testicular sperm retrieval in hemodialysis patients with anejaculation	Int J Urol. 2024 Feb; 31: 184	Letter
287	Fukuhara S, Shirai M, Ueda N, et al.	泌尿器科	Therapeutic efficacy and safety of a free-standing motorized ejaculation aid for patients with intravaginal ejaculatory	Reprod Med Biol. 2023 Aug;22:e12530	Original Article
288	Gaku Yamamichi, Taigo Kato, Tadashi Watabe, et	泌尿器科	Current Status of Prostate-specific Membrane Antigen-targeted Alpha Radioligand Therapy in Prostate Cancer	Anticancer Res . 2024 Mar;44(3):879-888	Review
289	Yohei Okuda, Taigo Kato, Kazutoshi Fujita, et al.	泌尿器科	Association of Androgen Receptor and PD-L1 Expression in Upper Urinary Tract Urothelial Carcinoma	Cancer Genomics Proteomics. 2024 Mar-Apr; 21(2): 137-143.	Original Article
290	Matsumoto S, Tsuboyama T, Onishi H, et al.	放射線診断・IVR科	Ultra-High-Resolution T2-Weighted PROPELLER MRI of the Rectum With Deep Learning Reconstruction:	Invest Radiol. 2023 Nov 17.	Original Article
291	Watabe T, Kabayama K, Naka S, et al.	放射線診断・IVR科	Immuno-PET and Targeted α -Therapy Using Anti-Glypican-1 Antibody Labeled with 89Zr or 211At: A Theranostic	J Nucl Med. 2023 Dec 1;64(12):1949-1955.	Original Article
292	Yanagawa M, Ito R, Nozaki T, et al.	放射線診断・IVR科	New trend in artificial intelligence-based assistive technology for thoracic imaging.	Radiol Med. 2023 Oct;128(10):1236-1249.	Review
293	Hirata T, Suzuki O, Otani K, et al.	放射線治療科	Increased toxicities associated with dose escalation of stereotactic body radiation therapy in prostate cancer: results	Acta Oncol. 2023 May;62(5):488-494.	Original Article
294	Haruka Hashimoto, Takeshi Yoshida, Firstiogusran	集中治療科	Asynchrony Injures Lung and Diaphragm in Acute Respiratory Distress Syndrome	Critical Care Medicine 2023 Nov	Original Article
295	Hiroki Taenaka, Takeshi Yoshida, Haruka	集中治療科	Personalized ventilatory strategy based on lung recruitability in COVID-19-associated acute respiratory distress	Critical Care 2023 Apr	Original Article
296	Aiko Tanaka, Yoshimitsu Shimomura, Akinori Uchiyama, et	集中治療科	Time definition of reintubation most relevant to patient outcomes in critically ill patients: a multicenter cohort study	Critical Care 2023 Sep	Original Article
297	Taiki Hoshino, Akinori Uchiyama, Natsuko	集中治療科	Factors Associated With Prolonged Ventilation in Patients Receiving Prone Positioning Protocol With Muscle Relaxants for	Respiratory Care 2023 Aug	Case report

298	Aiko Tanaka, Akinori Uchiyama, Tetsuhisa Kitamura, et	集中治療科	Association between tracheostomy and survival in patients with coronavirus disease 2019 who require prolonged mechanical	Auris Nasus Larynx 2023 Apr	Others
299	Tomonori Yamashita, Akinori Uchiyama, Yusuke	集中治療科	Combined Use of Alkaline Agents With Low-Flow Extracorporeal Carbon Dioxide Removal in Carbon Dioxide Inhalation Models	Journal of Acute Medicine 2024 Mar	Original Article
300	Taiki Hoshino, Takeshi Yoshida.	集中治療科	Future directions of lung-protective ventilation strategies in acute respiratory distress syndrome.	Acute medicine & surgery 2024 Jan	Review
301	Sawaya R, Ueda J, Saito S	医療技術部 放射線部門	Quantitative Susceptibility Mapping and Amide Proton Transfer-Chemical Exchange Saturation Transfer for the Evaluation	Int J Mol Sci. 2023 Apr 1;24(7):6627.	Original Article
302	Takashi Kamiya, Takashi Iimori, Yukito Maeda, et al.	医療技術部 放射線部門	Administered dosage and effective dose estimated from ⁸¹ Rb-rubidium hydroxide for lung ventilationscintigraphy	Radiation Protection Dosimetry, 2023, 1-6	Original Article
303	Kutsuna S., Ohbe H., Matsui H., Yasunaga H.	感染制御部	Steroid pulse therapy for severe fever with thrombocytopenia syndrome patients may not improve prognosis:	Journal of Infection and Chemotherapy. May 2023; Volume 29: Issue 5, Pages 490 - 494	Original Article
304	Yamamoto S	感染制御部	Caveats for Validating the Diagnostic Accuracy of Diagnostic or Classification Criteria for Infective Endocarditis	Clinical Infectious Diseases. 2023 Oct; Volume 77: Issue 8: Pages 121615	Letter
305	Konishi K, Onozuka D, Takatera S, et al.	感染制御部	Protocol for a Randomized, Open-Label Clinical Trial on the Effect of Mouthwash on Salivary SARS-CoV-2 Load	Life. 2023 Dec; Volume 13: Issue 12: 2312	Others
306	Kutsuna S, Ohbe H, Kanda N, et al.	感染制御部	Epidemiological analysis of Legionella pneumonia in Japan: A national inpatient database study	J Epidemiol . 2023 Dec 16. (オンライン)	Original Article
307	Matsumoto T, Yoshida K, Ueno T, et al.	臨床工学部	Development of new colloid osmotic pressure measurement method using ultrafiltration membrane during cardiopulmonary	J Extra Corpor Technol, 55(4);167-174, 2023.	Original Article
308	Shunichiro Nakao, Yusuke Katayama, Tetsuhisa	高度救命救急センター	Characteristics and outcomes of severe sports-related injury in children and adults: a nationwide cohort study in Japan	Eur J Trauma Emerg Surg 2023.4	Original Article
309	Takeshi Ebihara , Kentaro Shimizu, Yumi	高度救命救急センター	Association between high cardiac output at altitude and acute mountain sickness: preliminary study on Mt. Fuji	J Cereb Blood Flow Metab 2023.4	Original Article
310	Yukio Imamura, Hisatake Matsumoto, Jun Imamura,	高度救命救急センター	Ultrasound stimulation of the vagal nerve improves acute septic encephalopathy in mice	Front Neurosci 2023.7	Original Article

311	Jumpei Yoshimura, Hiroshi Ogura, and Jun Oda	高度救命救急センター	Can Gram staining be a guiding tool for optimizing initial antimicrobial agents in bacterial infections?	Acute Med Surg 2023.6	Review
312	Shinya Onishi, Hisatake Matsumoto, Fuminori	高度救命救急センター	Combination of HBA1, TTR, and SERPINF2 in plasma defines phenotype correlated with severe burn outcome	iScience 2023.6	Original Article
313	Shunichiro Nakao, Yusuke Katayama, Tetsuhisa	高度救命救急センター	Assessing the impact of COVID-19 pandemic on ambulance transports for self-harm: a population-based study in	BMJ Open 2023.11	Original Article
314	Yusuke Katayama, Kenta Tanaka, Tetsuhisa	高度救命救急センター	Incidence and outcome of patients with difficulty in hospital acceptance during COVID-19 pandemic in Osaka	Acute Med Surg 2023.8	Original Article
315	Yusuke Katayama, Kenta Tanaka, Hisaya	高度救命救急センター	Outcome of emergency patients transported by ambulance during the COVID-19 pandemic in Osaka Prefecture, Japan:a	Frontiers in Public health 2023.10	Original Article
316	Kentaro Shimizu, Haruhiko Hirata, Natsuko Tokuhira, et	高度救命救急センター	Dysbiosis of gut microbiota in patients with severe COVID-19	Acute Med Surg 2024.1	Original Article
317	Shunichiro Nakao, Yusuke Katayama, Tetsuhisa	高度救命救急センター	Trends and characteristics of severe road traffic injuries in children: a nationwide cohort study in Japan	Eur J Trauma Emerg Surg 2023.10	Original Article
318	Hiroshiito, Yohhei Nakamura, Yukitogami, et al.	高度救命救急センター	Relationship between extravascular leakage clinical outcome on computed tomography of isolated traumatic brain	Acute Med Surg 2024.2	Original Article
319	Shunichiro Nakao, Hiroshi Ito, Yusuke Katayama, et	高度救命救急センター	Mapping publications using the Japan Trauma Data Bank: Scoping review of the international literature	Acute Med Surg 2023.5	Original Article
320	Ryouke Nobe, Shunichiro Nakano	高度救命救急センター	Association between lung contusion volume and acute changes in fibrinogen levels: A single-center	Acute Med Surg 2024.3	Original Article
321	Kobayashi, Ikemura, Wakai et al.	薬剤部	Proton pump inhibitors ameliorate oxaliplatin-induced peripheral neuropathy: retrospective analysis of two real-world	Anticancer Res . 2023 Dec;43(12):5613-5620. doi: 10.21873/anticancerres.16764.	Original Article
322	Hara, Sakai, Ikemura et al	薬剤部	Comparative efficacy and safety of standard and biweekly trifluridine/tipiracil regimen in patients with colorectal	Anticancer Res . 2024 Mar;44(3):1219-1226. doi: 10.21873/anticancerres.16917.	Original Article

計322件

(注) 1 当該特定機能病院に所属する医師等が前年度に発表した英語論文のうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断されるものを七十件以上記入すること。七十件以上発表を行っている場合には、七十件のみを記載するのではなく、合理的な範囲で可能な限り記載すること。

- 2 報告の対象とするのは、筆頭著者の所属先が当該特定機能病院である論文であり、査読のある学術雑誌に掲載されたものに限るものであること。ただし、実態上、当該特定機能病院を附属している大学の講座等と当該特定機能病院の診療科が同一の組織として活動を行っている場合においては、筆頭著者の所属先が大学の当該講座等であっても、論文の数の算定対象に含めるものであること(筆頭著者が当該特定機能病院に所属している場合に限る。)
- 3 「発表者氏名」に関しては、英文で、筆頭著者を先頭に論文に記載された順に3名までを記載し、それ以上は、他、またはet al.とする。
- 4 「筆頭著者の所属」については、和文で、筆頭著者の特定機能病院における所属を記載すること。
- 5 「雑誌名・出版年月等」欄には、「雑誌名. 出版年月(原則雑誌掲載月とし、Epub ahead of printやin pressの掲載月は認めない); 巻数: 該当ページ」の形式で記載すること
(出版がオンラインのみの場合は雑誌名、出版年月(オンライン掲載月)の後に(オンライン)と明記すること)。
記載例: Lancet. 2015 Dec; 386: 2367-9 / Lancet. 2015 Dec (オンライン)
- 6 「論文種別」欄には、Original Article、Case report、Review、Letter、Othersから一つ選択すること。

(2)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象とならない論文(任意)

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院における 所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
1	Ito E, Kawamura A, Kawamura T, et al.	心臓血管外科	Establishment of a protocol to administer immunosuppressive drugs for iPS cell-derived cardiomyocyte patch transplantation in a rat myocardial infarction model	Sci Rep. 2023 Jun 29;13(1):10530.	Original Article
2	Tominaga Y, Kawamura T, Ito E, et al.	心臓血管外科	Pleiotropic effects of extracellular vesicles from induced pluripotent stem cell-derived cardiomyocytes on ischemic cardiomyopathy: A pre-clinical study	J Heart Lung Transplant. 2023 Aug (オンライン)	Original Article
3	Miyagawa S, Kawamura T, Ito E, et al.	心臓血管外科	Pre-clinical evaluation of the efficacy and safety of human induced pluripotent stem cell-derived cardiomyocyte patch	Stem Cell Res Ther. 2024 Mar 13;15(1):73.	Original Article
4	Hasegawa M, Miki K, Kawamura T, et al.	集中治療部	Gene correction and overexpression of TNNI3 improve impaired relaxation in engineered heart tissue model of pediatric restrictive cardiomyopathy	Dev Growth Differ. 2024 Jan (オンライン)	Original Article

計 4件

- (注) 1 当該医療機関に所属する医師等が前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
- 2 記載方法は、前項の「高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文」の記載方法に準じること。

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

3 高度の医療技術の開発及び評価の実施体制

(1) 倫理審査委員会の開催状況

① 倫理審査委員会の設置状況	有・無
② 倫理審査委員会の手順書の整備状況	有・無
・ 手順書の主な内容 「大阪大学医学部附属病院における倫理審査委員会 標準業務手順書」において、倫理審査委員会の運営に必要な手続き等を定めている。	
③ 倫理審査委員会の開催状況	年12回（介入研究等） 年12回（観察研究等） （参考：臨床研究法にもとづく大阪大学臨床研究審査委員会は年13回）

- (注) 1 倫理審査委員会については、「臨床研究に関する倫理指針」に定める構成である場合に「有」に○印を付けること。
2 前年度の実績を記載すること。

(2) 利益相反を管理するための措置

① 利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の設置状況	有・無
② 利益相反の管理に関する規定の整備状況	有・無
・ 規定の主な内容 審議事項、組織、手続き、指導及び勧告	
③ 利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の開催状況	年12回

(注) 前年度の実績を記載すること。

(3) 臨床研究の倫理に関する講習等の実施

① 臨床研究の倫理に関する講習等の実施状況	以下のとおり
-----------------------	--------

■ 阪大臨床研究講習会

研修の主な内容：研究者の受講ルール、「臨床研究における、プロトコル作成、データマネジメント、モニタリング、監査に関する基本方針」について、臨床研究データの信頼性確保とEDCシステム、臨床研究実施時のモニタリングの観点からのポイント・事例紹介、受託監査/教育的監査/点検で認められた事例とその留意点、分散型臨床試験DCTへの対応、治験における一括審査、理解度テスト

実施方法：臨床研究教育e-learning システムCROCO（公開期間：R6.2.19～R6.3.31）

参加人数：871名（医師含む）

■ 治験・倫理審査委員会委員養成研修

研修の主な内容

【講義1】研究参加の意思決定—何が問題なのか、どうすれば良いのか

【講義2】治験・臨床研究における患者・市民の視点の重要性

【講義3】患者・市民として、治験・臨床研究で何を大切にしてほしいか？

【課題1】グループワーク「患者・市民視点に立ったうえで審査資料を見るポイントを考える」

【講義4】製薬企業における患者・市民参画の取り組みと説明同意文書の統一化への取り組み

【課題2】説明文書の統一化に対して、委員会で出来る全体最適とは何かを考える

【総合討論】ディスカッション Q&A

実施回数：1回 460分

全プログラム参加人数：23名（院外23名、院内0名、医師含む）

聴講者：32名（院外32名、院内0名、医師含む）

■ 治験・倫理審査委員会委員研修「委員長研修」

研修の主な内容

【講義】「委員会の質向上のポイント」

【ワークショップ】 審査で難渋しそうな事例の検討

【Q&A / グループワーク】

実施回数：1回 210分

全プログラム参加人数：12名（院外12名、院内0名、医師含む）

■ 臨床研究・治験従事者研修（OJT研修）

研修の主な内容：

臨床研究中核病院以外の機関からの人材を受入れ、Clinical Question から研究

計画立案に至るまでの教育

実施回数：1回～30回以上（受講者の臨床研究の実施環境（活用可能な時間など）により実施回数が異なる）

参加人数：3名（学外3名）

■ 上級者CRC養成研修

【講義1】 臨床試験の実施、安全性、信頼性を向上させるための新しい科学技術や手法、手技

【講義2】 被験者保護と研究公正

【講義3】 ICの概念と臨床研究への適用

【講義4】 IRB等の審議にかかわる申請資料ならびにレビューのポイントと支援体制の整備

【講義5】 GCPや諸外国の規制要件の最近の動向と自施設の体制整備

【講義6】 臨床研究実施におけるリスク管理（QMS）

臨床研究におけるプロジェクトマネジメントに対してのCRCの役割

【講義7】 データの完全性Data Integrityの概念

実施施設におけるデータマネジメントのシステム構築

【講義8】 管理すべき資源（人・モノ費用・情報）を管理する組織マネジメント

【講義9】 業務上で発生する交渉・説得（ネゴシエーション・スキル）

【講義10】臨床研究（集学的）チームにおける適切なコミュニケーション

臨床研究の関係者との合意形成プロセスと手法

【講義11】臨床試験の意義・創薬プロセスについての市民啓発活動

PPI (Patient and Public Involvement) の取組

【講義12】国際共同治験実施に必要な語学スキル

【演習1】今さら聞けない?! DCTのいろは

【演習2】今さら聞けない?! OJTのほへと

演習実施回数：1回 315分 ※講義はすべてe-learningで実施

全プログラム参加人数：19名（院外18名、院内1名）

■訪問&病院看護師むけ臨床研究・治験研修会

【講義1】臨床研究の歴史と心構え

【講義2】臨床薬理学の基礎等

【講義3】治験薬開発のプロセスに関わる各施設の役割と責任を理解できる～企業治験と医師主

導治験の特徴～

【講義4】治験薬管理の実際

【講義5】臨床試験の実施に関わる費用と制度

【講義6】治験で求められる原資料の考え方

【講義7】モニタリング、監査規制当局による査察の理解等

【講義8-1】治験・臨床研究に関わる人々の役割と研究協力者として必要な倫理的態度

【講義8-2】訪問看護を用いたDCT

演習実施回数：1回 160分

Web参加者：79名、内阪大管轄現地参加者：2名（院外2名、院内0名）

■中級モニター研修

【講習】 0. QM 概論

F1. 状況の理解

F2. リーダーシップ

F4. CQMS の継続的改善

1. プロセス ※必須

2. リソース、役割、責務 ※必須

3. パートナーシップ

4. リスクマネジメント ※必須

5. イシューマネジメント ※必須

6. ナレッジマネジメント

7. 品質確保のために必要な文書

8. CQMS の評価

9. マネジメントレビュー

10. やらかしを未然に防げ！

【講義】 「GCP Renovationにより医療機関側では何が変わるか」

【演習】 臨床研究のCAPAに関する事例検討

【発表】 グループ発表・総合討論

【総括】

実施回数：1回 450分 講習はすべてe-learningで実施

全プログラム参加人数：26名（院外26名、院内0名）

(注) 前年度の実績を記載すること。

(様式第 4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

1 研修の内容

本院では卒後 2 年間の臨床研修を修了した医師を対象に連携・関連施設と協力し、臨床医学系専門領域における専門医を取得し地域医療に貢献するとともに、幅広く活躍できる高度な医療人の育成を目的として「阪大病院専門研修プログラム」を運営している。日本専門医機構が指定する 19 の基本領域すべての基幹施設となっており、内科、外科および放射線科領域については、内科専門医、外科専門医、放射線科専門医を取得したのち、継続してサブスペシャリティ専門医取得を目指す連動プログラムとなっている。また全領域とも、大阪・阪神間にある他基幹病院を中心とする研修プログラムに連携施設として参加しており、本院は強固かつ密な地域医療ネットワークの中心リーダーとして、教育病院の責任を果たしている。各領域のプログラムは様々なローテーションのパターンを準備しており、本人の興味や希望、ライフイベントに合わせたキャリア形成をサポートしていく体制が整っている。様々なローテーションの中には、医学系研究科と密接に連携するコースも含んでおり、大学院に進学し臨床と直結した形で病態や治療に関する基礎研究を平行して行うこと、または専門医取得後に大学院に進学することを推奨しており、高い研究マインドを持った医師の養成も積極的に行っている。

また高度急性期医療を扱う「特定機能病院」、高度先端技術の提供・開発・評価・教育を担う「臨床研究中核病院」「がんゲノム医療中核拠点病院」など様々な認定を本院は受けている。高度な先端医療技術や臨床研究、臨床治験、再生医療、ゲノム医療、国際医療を行っており、移植や困難症例、危機状況への対応法を学ぶ機会が多く、関連するセミナーも日常的に開催されるなど、豊富な教育の機会を提供している。このような環境下、そして多彩なキャリアパスを備えたキャリア形成システムを通し、高度な臨床能力を持った専門医を多数養成している。

(注) 上記の研修内容は医師法及び歯科医師法の規定による臨床研修を終了した医師及び歯科医師に対する専門的な研修について記載すること。

2 研修の実績

上記研修を受けた医師数	204 人
-------------	-------

(注) 前年度の研修を受けた医師の実績を記入すること。

3 研修統括者

研修統括者氏名	診療科	役職等	臨床経験年数	特記事項
坂田 泰史	循環器内科	教授	30年	
猪阪 善隆	腎臓内科	教授	33年	
竹原 徹郎	消化器内科	教授	39年	
下村 伊一郎	内分泌・代謝内科	教授	34年	
武田 吉人	呼吸器内科	准教授	29年	
熊ノ郷 淳	免疫内科	教授	32年	感染症内科 アレルギー科 リウマチ科
保仙 直毅	血液・腫瘍内科	教授	25年	
望月 秀樹	神経内科・脳卒中科	教授	36年	
山本 浩一	老年・総合内科	教授	26年	
宮川 繁	心臓血管外科	教授	29年	
新谷 康	呼吸器外科	教授	28年	
土岐 祐一郎	消化器外科	教授	38年	
江口 英利	消化器外科	教授	29年	

島津 研三	乳腺・内分泌外科	教授	29年	
奥山 宏臣	小児外科	教授	39年	
西田 幸二	眼科	教授	35年	
猪原 秀典	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	教授	33年	
岡田 誠司	整形外科	教授	24年	
藤本 学	皮膚科	教授	31年	
久保 盾貴	形成外科	教授	27年	
池田 学	神経科・精神科	教授	35年	
貴島 晴彦	脳神経外科	教授	32年	
藤野 裕士	麻酔科・集中治療	教授	38年	
木村 正	産科・婦人科	教授	38年	
窪田 拓生	小児科	准教授	25年	
野々村 祝夫	泌尿器科	教授	37年	
富山 憲幸	放射線診断・IVR科	教授	36年	
森井 英一	病理部	教授	31年	
織田 順	高度救命救急センター	教授	30年	
日高 洋	臨床検査部	准教授	36年	
金本 隆司	リハビリテーション部	講師	24年	
赤坂 憲	総合診療科	助教	22年	

- (注) 1 医療法施行規則第六条の四第一項又は第四項の規定により、標榜を行うこととされている診療科については、必ず記載すること。
- (注) 2 内科について、サブスペシャリティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャリティ領域について研修統括者を記載すること。
- (注) 3 外科について、サブスペシャリティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャリティ領域について研修統括者を記載すること。

(様式第 4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

4 医師、歯科医師以外の医療従事者等に対する研修

① 医師、歯科医師以外の医療従事者に対する研修の実施状況（任意）

【医療技術部】

・研修の主な内容

医療技術部職員を対象に患者動作介助、特定の疾患をテーマにした複数医療職からの発表、講師を招いてのスキルアップ講習会、各医療職領域におけるトピックス紹介、個人目標の達成度報告など

・研修の期間・実施回数

毎月1回の開催（8月は休会）を原則とし、令和5年度は11回開催。

・研修の参加人数 令和5年度の年間延べ参加人数は1143名

【栄養マネジメント部】

1) 栄養マネジメント部研修会（食事、栄養に関するテーマ）

病態別の経腸栄養剤プランニング（2023/4/19）13名

日本外科代謝栄養学会演題（2023/6/28）11名

日本外科代謝栄養学会演題（2023/6/29）12名

最新BIA法の理解と医療分野における活用事例（2023/7/25）12名

ペプタメンプレビオの紹介（2023/8/30）13名

褥瘡と栄養（2023/9/27）11名

シトステロール血症について（2023/10/1）2名

重症患者の腸内細菌叢と腸管内治療～シンバイオティクス療法と糞便微生物移植の適応～
（2023/10/16）8名

移植医療部20周年記念～臓器移植の現状～5名

化学療法のレジメン、副作用（2023/10/31）13名

漢方について（2023/11/21）12名

市民公開講座（肝臓）（2023/12/22）12名

日本病態栄養学会学術大会演題（2024/1/12）13名

日本臨床栄養代謝学会学術大会演題（2024/2/5）12名

甘く見ないで脂肪肝～すぐできる食事療法と運動療法のコツ～（2024/3/18）13名

2) 国立私立大学研修関連

全国国立大学病院栄養部門会議研修会Management研修会（2023/6/8）1回/年

1名

全国国立大学病院栄養部門会議研修会Basic研修会（2023/10/19～20）1回/年

1名

- ・その他研修会、学会（日本糖尿病学会、日本病態栄養学会、日本臨床栄養代謝学会など）開催の研修会など年数回、各数名

【未来医療開発部】

① 阪大臨床研究講習会

研修の主な内容：研究者の受講ルール、「臨床研究における、プロトコル作成、データマネジメント、モニタリング、監査に関する基本方針」について、臨床研究データの信頼性確保とEDCシステム、臨床研究実施時のモニタリングの観点からのポイント・事例紹介、受託監査/教育的監査/点検で認められた事例とその留意点、分散型臨床試験DCTへの対応、治験における一括審査、理解度テスト

実施方法：臨床研究教育e-learning システムCROCO（公開期間：R6. 2. 19～R6. 3. 31）

参加人数：871名（医師含む）

② 阪大モニタリング講習会

研修の主な内容：

基本講習 品質管理について、中央モニタリングの実際、モニタリングのポイント・事例紹介

更新講習 臨床研究における品質マネジメントについて、信頼性の高い臨床研究のために、モニタリングの事例紹介、QC活動報告

実施回数：令和5年度実績 Web講習 2回、e-learning

参加人数：472名（院内 院外、医師含む）

③ 治験・倫理審査委員会委員養成研修

研修の主な内容

【講義1】研究参加の意思決定—何が問題なのか、どうすれば良いのか

【講義2】治験・臨床研究における患者・市民の視点の重要性

【講義3】患者・市民として、治験・臨床研究で何を大切にしてほしいか？

【課題1】グループワーク「患者・市民視点に立ったうえで審査資料を見るポイントを考える」

【講義4】製薬企業における患者・市民参画の取り組みと説明同意文書の統一化への取り組み

【課題2】説明文書の統一化に対して、委員会で出来る全体最適とは何かを考える

【総合討論】ディスカッション Q&A

実施回数：1回 460分

全プログラム参加人数：23名（院外23名、院内0名、医師含む）

聴講者：32名（院外32名、院内0名、医師含む）

④ 治験・倫理審査委員会委員研修「委員長研修」

研修の主な内容

【講義】 「委員会の質向上のポイント」

【ワークショップ】 審査で難渋しそうな事例の検討

【Q&A / グループワーク】

実施回数：1回 210分

全プログラム参加人数：12名（院外12名、院内0名、医師含む）

⑤ 上級者CRC養成研修

【講義1】臨床試験の実施、安全性、信頼性を向上させるための新しい科学技術や手法、手技

【講義 2】 被験者保護と研究公正

【講義 3】 ICの概念と臨床研究への適用

【講義 4】 IRB等の審議にかかわる申請資料ならびにレビューのポイントと支援体制の整備

【講義 5】 GCPや諸外国の規制要件の最近の動向と自施設の体制整備

【講義 6】 臨床研究実施におけるリスク管理 (QMS)

臨床研究におけるプロジェクトマネジメントに対してのCRCの役割

【講義 7】 データの完全性Data Integrityの概念

実施施設におけるデータマネジメントのシステム構築

【講義 8】 管理すべき資源 (人・モノ費用・情報) を管理する組織マネジメント

【講義 9】 業務上で発生する交渉・説得 (ネゴシエーション・スキル)

【講義 10】 臨床研究 (集学的) チームにおける適切なコミュニケーション

臨床研究の関係者との合意形成プロセスと手法

【講義 11】 臨床試験の意義・創薬プロセスについての市民啓発活動

PPI (Patient and Public Involvement) の取組

【講義 12】 国際共同治験実施に必要な語学スキル

【演習 1】 今さら聞けない?! DCTのいろは

【演習 2】 今さら聞けない?! OJTのほへと

演習実施回数：1回 315分 ※講義はすべてe-learningで実施

全プログラム参加人数：19名 (院外18名、院内1名)

⑥ 訪問&病院看護師むけ臨床研究・治験研修会

【講義 1】 臨床研究の歴史と心構え

【講義 2】 臨床薬理学の基礎等

【講義 3】 治験薬開発のプロセスに関わる各施設の役割と責任を理解できる～企業治験と医師主

導治験の特徴～

【講義4】 治験薬管理の実際

【講義5】 臨床試験の実施に関わる費用と制度

【講義6】 治験で求められる原資料の考え方

【講義7】 モニタリング、監査規制当局による査察の理解等

【講義8-1】 治験・臨床研究に関わる人々の役割と研究協力者として必要な倫理的態度

【講義8-2】 訪問看護を用いたDCT

演習実施回数：1回 160分

Web参加者：79名、内阪大管轄現地参加者：2名（院外2名、院内0名）

⑦ 中級モニター研修

【講習】 0. QM 概論

F1. 状況の理解

F2. リーダーシップ

F4. CQMS の継続的改善

1. プロセス ※必須

2. リソース、役割、責務 ※必須

3. パートナーシップ

4. リスクマネジメント ※必須

5. イシューマネジメント ※必須

6. ナレッジマネジメント

7. 品質確保のために必要な文書

8. CQMS の評価

9. マネジメントレビュー

10. やらかしを未然に防げ！

【講義】 「GCP Renovationにより医療機関側では何が変わるか」

【演習】 臨床研究のCAPAに関する事例検討

【発表】 グループ発表・総合討論

【総括】

実施回数：1回 450分 講習はすべてe-learningで実施

全プログラム参加人数：26名（院外26名、院内0名）

⑧ DCT (Decentralized Clinical Trial) セミナー

研修の主な内容：

「Decentralized Clinical Trial (DCT) のグローバル最新動向と国内実装に向けたアカデミアの役割」

「海外におけるDCT最新情報」 「阪大病院におけるDCTへの取り組み」 「国立がん研究センター中央病院におけるDCTの最新の取り組み（患者さん中心のDCTの実現に向けて）」

研修の期間・回数： 2022年7月19日(火)、10月5日(水)、 2023年2月16日(木)

参加人数：1212人（院内 院外（医師含む））

⑨ DCT/DXセミナー

実施回数：2回

研修の主な内容：

1. 「DAO（分散型自律組織）、WEB3について」 「「患者のため」だけじゃない全体最適・分散化モデルとしてのDCT」

2. 「AI、大規模言語モデルは医療をどう変えるのか」 「

研修日、研修時間： 1. 2023年8月24日(木) 90分、2. 2024年2月5日(月) 90分

参加人数：1. 800人（院内 院外（医師含む））、2. 734人（院内 院外（医師含む））

⑩ DCTダイアログセッション

グループに分かれ、DCTへの取り組み、DCTにより何か変わるのか等についてダイアログを行いDCTに関する理解を深める。

研修対象者： DCTに関心のある臨床研究に関係する者、他

開催日：2024年1月11日(木)

研修時間：120分

参加人数：29名（院内 院外（医師含む））

⑪データマネージャー養成研修（中級）

研修の主な内容：講義「クリニカルクエスションから研究立案」「中間事象を考える 臨床試験における estimand」「倫理と科学の視点から」「臨床試験の質とデータの質」、演習「Risk Based Approachの導入による品質マネジメント」「研究開始後に発生する事象への対応」

研修の期間・実施回数：令和5年11月18日（土）13：00～19日（日）17：00

講義・演習：9時間＋ウェビナー（約5時間）※対面+ウェブのハイブリット方式

参加人数：14名（院内2名、院外12名）

【看護部】

- ・研修の主な内容：医療安全・療養環境・コミュニケーション、自己の健康管理・看護技術演習（輸液ポンプ・シリンジポンプの取り扱い、輸液管理、ヘパリンロック、静脈血採血、インスリン製剤の取り扱い、BLS）看護過程（身体面・精神面）
- ・研修の期間・実施回数 4月、6月、10月、2月・計51回（一人当たり13回、60時間）
- ・研修の参加人数 延べ1265名

- ・研修の主な内容：看護過程（身体面・精神面・社会面・スピリチュアルな側面）の意図的な情報と分析、チーム医療の構成と役割の理解とチーム関係者との情報共有方法
- ・研修の期間・実施回数 7月、11月、1月、2月・計13回（一人当たり3回、16時間）
- ・研修の参加人数 延べ268名

- ・研修の主な内容：目標管理、後輩指導、文献検索、自己の看護実践の振り返り
- ・研修の期間・実施回数 7月、12月・計7回（一人当たり2回、12時間）
- ・研修の参加人数 延べ178名

- ・研修の主な内容：患者理解によるケアの改善、臨床の疑問、学生・同僚・後輩への指導
- ・研修の期間・実施回数 9月、10月、2月・計11回（一人当たり4回、16時間）
- ・研修の参加人数 延べ274名

- ・研修の主な内容：アシスタントナース研修
看護部概要、アシスタントナースの業務、医療安全（患者確認、手指衛生）
- ・研修の期間・実施回数 9月・計5回（一人当たり1回、2時間）
- ・研修の参加人数 延べ122名（内11名はオンデマンド）

【看護部キャリア開発センター】

- ・研修の主な内容：スキンケア・創傷ケア、ストーマケア、感染管理、がん看護、急変対応、新人教育
- ・研修の期間・実施回数 2023年5月～2023年12月・9回
- ・研修の参加人数 延べ187名

② 業務の管理に関する研修の実施状況（任意）

【医療技術部】

- ・研修の主な内容
新規導入機器、特定機能病院に必須の医療機器（①人工心肺装置、②人工呼吸器、③血液浄化装置、④除細導装置、⑤閉鎖式保育器、⑥診療用高エネルギー放射線発生装置、⑧診療用放射線照射装置）、特に熟練を要する医療機器、OpenME、MRI研修などである。
- ・研修の期間・実施回数
2023年度（4月～3月末）
新規導入機器（12回）、特定機能病院に必須の医療機器（14回）、特に熟練を要する医療機器（67回）、OpenME（74回）、MRI研修（e-learning）、合計153回 & e-learning
- ・研修の参加人数
新規導入機器（431名）、特定機能病院に必須の医療機器（119名）& e-learning（2830名）、特に熟練を要する医療機器（1245名）、OpenME（45名）、MRI研修（181名）、合計4851名

【看護部】

- ・研修の主な内容：リーダーシップ
- ・研修の期間・実施回数 10月・計3回（一人当たり1回、4時間）
- ・研修の参加人数 延べ71名

- ・研修の主な内容：看護管理者としての内省
- ・研修の期間・実施回数 8月、12月、3月・計7回（一人当たり3回、10時間）
- ・研修の参加人数 延べ112名（看護師長）

- ・研修の主な内容：ジェネラリストの育成
- ・研修の期間・実施回数 7月、9月、3月・計9回（一人当たり3回、9時間）
- ・研修の参加人数 延べ282名（副看護師長）

③ 他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況

【未来医療開発部】

■医師、歯科医師以外の医療従事者に対する研修の実施状況（任意）の①と⑥以外該当

■臨床研究・治験従事者研修（OJT研修）

研修の主な内容：

臨床研究中核病院以外の機関からの人材を受入れ、Clinical Question から研究

計画立案に至るまでの教育

実施回数：1回～30回以上（受講者の臨床研究の実施環境（活用可能な時間など）により実施回数が異なる）

参加人数：3名（学外3名）

■摂南大学薬学部学生インターンシップ

講義：治験について、コミュニケーションとは、CTUについて、プロトコール模擬テスト

ロールプレイング：インフォームドコンセント、OJT（CRC業務の実際見学）、薬剤部見学

期間・回数：令和5年8月23日（水）～25日（金）：10時00分～16時00分 3日間 参加人数：6名

■臨床研究セミナー「医師主導治験で活かせるプログラム&プロジェクトマネジメントの知識」

研修の主な内容：臨床試験を効率的に実施するために必要なプログラム&プロジェクトの知識について、【理論編】と【実践編】に分けて解説。【理論編】ではプログラム及びプロジェクトのマネジメントに関する知識体系を分かりやすく解説し、【実践編】ではこれらの知識体系を活用のポイントを適応拡大を目指す医師主導治験を事例として、具体的に解説。

研修の回数：10回

参加人数：2696名（院内 院外（医師含む））

(注) 1 高度の医療に関する研修について、前年度実績を記載すること。

(注) 2 「③他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況」については、医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院についてのみ記載すること。また、日本全国の医療機関に勤務する医療従事者を対象として実施した専門的な研修を記載すること。

(様式第 5)

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法に関する書類

計画・現状の別	1. 計画	②. 現状
管理責任者氏名	病院長 野々村 祝夫	
管理担当者氏名	総務課長 中野 哲也 薬剤部長 奥田 真弘	医事課長 徳野 光男 放射線部長 富山 憲幸

		保管場所	管理方法
診療に関する諸記録	規則第二十一条の三第二項に掲げる事項	病院日誌	総務課
		各科診療日誌	各診療科
		処方せん	薬剤部
		手術記録	医事課
		看護記録	医事課
		検査所見記録	医事課
		エックス線写真	放射線部
		紹介状	医事課
退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約及び入院診療計画書		医事課	カルテ等病歴資料は、1患者1カルテとし、コンピュータによる集中管理を行っている。 エックス線写真は、PACS（画像サーバ）で集中保管。 処方せんは紙媒体で保存。 ◆診療録を病院外に持ち出す際に係る取扱い開示請求に基づき、診療記録のコピーを患者等に渡す場合は、患者からの請求に応じ、定められた手順に則り、当該患者の情報のみを印刷し渡すこととしている。 電子カルテを病院外から閲覧することは基本的にはできないが、治験における治験依頼者による原資料の確認の際に、当該患者の記録のみ、患者の同意を得た上で、病院が提供する端末を用いて病院外の指定する場所から閲覧することを許可している。また、セキュアなネットワークを引いた一部の医療機関に対して、その医療機関と当院が共同して診療に当たっている患者について、患者の同意が得られた場合に、診療記録の一部の閲覧を可能としている。
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第三十二條	従業者数を明らかにする帳簿	総務課
		高度の医療の提供の実績	医事課
		高度の医療技術の開発及び評価の実績	総務課
		高度の医療の研修の実績	総務課
		閲覧実績	総務課
			パソコンの電子ファイルおよび紙媒体で管理。 調剤数は薬剤部システムで管理。

		紹介患者に対する医療提供の実績	医事課	
		入院患者数、外来患者及び調剤の数を明らかにする帳簿	医事課 薬剤部	
掲げる 規則 第一 条の 十一 第一 項に		医療に係る安全管理のための指針の整備状況	中央クオリティマネジメント部 医事課	パソコンの電子ファイルおよび紙媒体で管理。
		医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	医事課	
		医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	医事課	
		医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	中央クオリティマネジメント部 医事課	

		保管場所	管理方法	
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第一条の十一第二項第一号から第三号までに掲げる事項	院内感染対策のための指針の策定状況	感染制御部	パソコンの電子ファイルおよび紙媒体で管理。
		院内感染対策のための委員会の開催状況	医事課	
		従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	医事課 感染制御部	
		感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の実施状況	感染制御部	
		医薬品安全管理責任者の配置状況	薬剤部	
		従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	薬剤部	
		医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	薬剤部	
		医薬品の安全使用のために必要となる未承認等の医薬品の使用の情報その他の情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	薬剤部	
		医療機器安全管理責任者の配置状況	医療技術部	
		従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	医療技術部	
医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	医療技術部			
医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	医療技術部			

		保管場所	管理方法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第九条の二十の二第二項第一号から第十三号まで及び第十五条の四各号に掲げる事項	医療安全管理責任者の配置状況	総務課
		専任の院内感染対策を行う者の配置状況	感染制御部 総務課
		医薬品安全管理責任者の業務実施状況	薬剤部
		医療を受ける者に対する説明に関する責任者の配置状況	総務課
		診療録等の管理に関する責任者の選任状況	医事課
		医療安全管理部門の設置状況	中央クオリティマネジメント部 医事課
		高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の状況	医事課
		未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の状況	医事課
		監査委員会の設置状況	総務課
		入院患者が死亡した場合等の医療安全管理部門への報告状況	中央クオリティマネジメント部 医事課
		他の特定機能病院の管理者と連携した相互立入り及び技術的助言の実施状況	医事課
		当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	医事課
		医療安全管理の適正な実施に疑義が生じた場合等の情報提供を受け付けるための窓口の状況	総務課
		職員研修の実施状況	医事課
		管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者のための研修の実施状況	総務課
		管理者が有する権限に関する状況	総務課
管理者の業務が法令に適合することを確保するための体制の整備状況	総務課		
開設者又は理事会等による病院の業務の監督に係る体制の整備状況	総務課		

(注)「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。また、診療録を病院外に持ち出す際に係る取扱いについても記載すること。

(様式第6)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法に関する書類

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

計画・現状の別	1. 計画 <input checked="" type="radio"/> 2. 現状
閲覧責任者氏名	総務課長 中野 哲也
閲覧担当者氏名	総務課庶務係長 本田 俊介
閲覧の求めに応じる場所	総務課庶務係
閲覧の手続の概要 閲覧への希望が庶務係にあった場合に対応	

(注)既に医療法施行規則第9条の20第5号の規定に合致する方法により記録を閲覧させている病院は現状について、その他の病院は計画について記載することとし、「計画・現状の別」欄の該当する番号に○印を付けること。

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数		延	0	件
閲覧者別	医師	延	0	件
	歯科医師	延	0	件
	国	延	0	件
	地方公共団体	延	0	件

(注)特定機能病院の名称の承認申請の場合には、必ずしも記入する必要はないこと。

規則第1条の11第1項各号に掲げる医療に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	○有・無
<p>・ 指針の主な内容：</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 患者中心の医療の実践 2. 診療情報の共有 3. 医療安全に関する組織的取り組み 4. インシデントの報告 5. 機能する医療事故防止対策 6. 適切な医療事故への対応 7. 患者からの医療相談の実施 8. 高難度真意医療技術の導入 9. 未承認新規医薬品等の導入 10. 医療安全情報の共有 11. 職員に対する教育研修 12. 医療安全文化の構築 13. 医療安全管理マニュアルの作成・更新 14. 医療安全管理に関する指針の公開 	
② 医療に係る安全管理のための委員会の設置及び業務の状況	
<p>・ 設置の有無（○有・無）</p> <p>・ 開催状況：年 33 回</p> <p>・ 活動の主な内容：</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 統括医療安全管理委員会：本院における医療に係る安全管理について統括する 年11回 2. リスクマネジメント委員会：医療事故の防止策を策定する 年8回 3. 医療クオリティ審議委員会：医療の質の向上を図る 年13回 4. 医療事故対策委員会：医療事故が発生した場合の必要な対応を行う 年1回 	
③ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年 2 回
<p>・ 研修の内容（すべて）：</p> <p>・ 安全な輸血のために知っておくこと（e-Learning（令和5.5.22）開催、3320名参加）</p> <p>・ 阪大病院における、患者の急変対応について（e-Learning（令和5.10.30）開催、3320名参加）</p>	
④ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の実施状況	
<p>・ 医療機関内における事故報告等の整備（○有・無）</p> <p>・ その他の改善のための方策の主な内容：</p> <p>問題点の把握状況（方法）</p> <p>【各部署・部門等】</p> <p>・ インシデントをイントラネット（インシデントレポート、医療クオリティ審議依頼書）から報告</p> <p>【リスクマネジメント委員会】</p> <p>・ インシデントレポートのデータベースのモニター（毎日・当番制、要IDとパスワード）</p> <p>【医療クオリティ審議委員会】</p> <p>・ 医療クオリティ審議依頼書が入力されると直ちにコアメンバーに通知され、</p>	

内容確認が行われる

【中央クオリティマネジメント部】

- ・専任リスクマネジャーによりインシデントレポートのモニターや報告された医療クオリティ審議依頼書の内容をもとに、事例に関する問い合わせ、現場の確認

問題点の分析状況（方法）

【各部署・部門等】

- ・当該部署、部門等にて事例の背景要因を分析

【リスクマネジメント委員会】

- ・当番委員によりインシデントの背景要因を分析

【医療クオリティ審議委員会】

- ・委員会において、医療クオリティ審議依頼書、報告者からのヒアリング、及び委員からの意見をもとにインシデントの発生メカニズムを多角的に分析

【中央クオリティマネジメント部】

- ・専任リスクマネジャーを含む多職種の構成員によりインシデントの背景要因を多角的に分析

改善策の検討状況（方法）

【各部署・部門等】

- ・当該部署、部門等にてリスクマネジャーもしくは医療安全担当者が中心となり、改善策等を検討。必要に応じ、専任リスクマネジャーが介入。

【リスクマネジメント委員会】

- ・インシデントの要旨と背景要因をシステム思考で分析し、再発防止策を提示
- ・事故防止策について意見交換、事故防止策を承認
- ・院内の他の委員会や他部門への検討や改善の申し入れ

【医療クオリティ審議委員会】

- ・審議依頼事例について、関係診療科・部門への再発防止策の検討や改善を指示
- ・各診療科・部門から提出された再発防止策について承認

【中央クオリティマネジメント部】

- ・専任リスクマネジャーによるインシデントに関する問い合わせ、現場の点検、改善の支援
- ・事故防止策を実行するために必要な業務の実施、他部門との連携協力
- ・リスクマネジャーメーリングリストによる情報提供
- ・院内ラウンド、院内相互チェックの実施計画
- ・リスクマネジャー会議（運営部会）での周知
- ・教育のための教材を作成・教育の実施
- ・対象部署や職種を限定した教育教材（e-ラーニング）の作成
- ・リスクマネジメントニュースの作成・発行（警鐘事例等の共有）
- ・QM（クオリティマネジメント）ニュース（医療安全広報誌）の作成・発行

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第1条の11第2項第1号に掲げる院内感染対策のための体制の確保に係る措置

① 院内感染対策のための指針の策定状況	(有)・無
<p>・ 指針の主な内容： 大阪大学医学部附属病院は、わが国の医学における診療、教育及び研究の発展に貢献するとともに、特定機能病院としての高度先進医療・未来医療の開発・実践を担い、同時に安全な医療を実現する使命を負っている。安全な医療の実現のためには医療関連感染対策の推進が不可欠であるとの認識を持ち、職員の一人ひとり、そして各部署それぞれが、医療関連感染対策の推進に真摯に取り組むと同時に、病院全体が包括的に医療関連感染対策を行っていくものとする。また新型コロナウイルス感染症の流行により新興感染症対策の重要性が広く認識されるようになっており、当院も新たな新興感染症が出現した際には、大阪府の要請に基づき患者を受け入れ、新興感染症対策の地域の基幹病院となることが求められている。このような医療関連感染対策・新興感染症対策を通して、患者本位の安心・安全な全人的医療を提供することのできる環境を整えるように努力し、その活動を基盤として、社会や地域医療にも貢献することが大阪大学医学部附属病院の使命である。</p> <p>なお指針の詳細については以下に掲載されています。 https://www.hosp.med.osaka-u.ac.jp/home/hp-infect/file/manual/1.pdf</p>	
② 院内感染対策のための委員会の開催状況	年12回
<p>・ 活動の主な内容： 定例報告： ICT 1) 耐性菌検出状況について 2) 体液曝露関連検査報告について 3) 感染症発生報告集計（基幹定点集計）について 4) 内視鏡汚染状況報告について 5) 手指衛生実施状況について 6) デバイスサーベイランス結果 7) SSIサーベイランス結果 8) その他 AST 1) 抗菌薬使用状況報告 2) 病棟別血液培養検体セット率（検体数ベース）について 3) その他</p> <p>審議事項： ・実習・研修者の感染症検診について ・インフルエンザ院内感染対策マニュアル改訂 ・インフルエンザ、新型コロナウイルス感染症マニュアル改訂 ・結核指定医療機関の申請について ・手指衛生啓発活動について など</p>	
③ 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	年 2回
<p>・ 研修の内容（すべて）： 2023年上半期：5類感染症になってからのCOVID-19の院内感染対策、抗菌薬適正使用 2023年下半期：バンコマイシン耐性腸球菌とカルバペネム耐性腸内細菌目細菌の拡大を防ぐための感染対策と抗菌薬適正使用</p>	
④ 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の状況	
<p>・ 病院における発生状況の報告等の整備 (有)・無) ・ その他の改善のための方策の主な内容： ICTラウンド（週1回環境ラウンド、随時感染対策ラウンド） 感染管理に視点における環境管理状況の確認を年間通して部署のラウンドを実施 ●耐性菌検出システム（ICTWeb®）を使用して、薬剤耐性菌検出状況を毎日監視し、感染対策の実施状況を確認。また、海外渡航歴や治療歴のある方の中でリスクのある方は、耐性菌スクリーニ</p>	

ングを実施

- サーベイランス
耐性菌サーベイランスを元にした介入（MRSA、MDRP、ESBL産生株など）
デバイスサーベイランス実施部署：救命救急センター：（UTI）、ICU（中心静脈カテーテル関連
血流感染、人工呼吸器関連肺炎）、手術部位感染サーベイランス心臓血管外科、消化器外科）
全部署のUTI、BSIサーベイランスの実施
- 抗菌薬適正使用に向けての活動
・抗菌薬投与7日以降経過している患者を毎日カンファレンスにて介入を実施
- 感染症治療コンサルテーション、感染制御コンサルテーションの実施
- 手指衛生啓発の強化（医療者、患者家族への啓発）

（注）前年度の実績を記入すること。

規則第1条の11第2項第2号に掲げる医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医薬品安全管理責任者の配置状況	有・無
② 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	年 2 回
<p>・ 研修の主な内容：</p> <p>1. 令和5年6月15日 第1回医薬品安全講習会（阪大病院フォーラム） 演題：法規制のある医薬品の安全管理～麻薬を中心に～</p> <p>2. 令和5年度第1回医薬品安全管理講習会 10月30日よりEラーニングシステム上に「院内講習会」として公開 演題：「医薬品安全関連 お“薬”立ち情報」</p>	
③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	
<p>・ 手順書の作成 (有・無)</p> <p>・ 手順書の内訳に基づく業務の主な内容：</p> <p>▶ 手順書の一部改訂（2024年3月13日）</p> <p>・ 麻薬関連</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 麻薬管理システム導入に伴う手順等の変更 ・ 院内麻薬処方箋における麻薬施用者の署名が可能となったことに伴う記載の修正 <p>・ 入院中の持参薬使用指針の改訂</p> <p>・ 院外薬局と協働した入院前持参薬確認の実施について追加</p> <p>▶ 手順書に基づく業務実施の確認・記録</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 6月に各部署の医薬品安全管理者（リスクマネージャー）に対して、手順書に基づいて業務が実施されているかについて、手順書の各章の項目別にアンケート調査方式にて遵守状況確認を実施 	
④ 医薬品の安全使用のために必要となる未承認等の医薬品の使用の情報その他の情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<p>・ 医薬品に係る情報の収集の整備 (有・無)</p> <p>・ 未承認等の医薬品の具体的な使用事例（あれば）：</p> <p>▶ 未承認医薬品：1件（MRSAの殺菌に院内製剤2%紫水の使用）</p> <p>▶ 適応外：14件（マキユエイド注欠品のため、ケナコルトA注を用いた硝子体可視化、テノン嚢下注射など）</p> <p>・ その他の改善のための方策の主な内容：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 麻薬管理システム導入 ・ 院外薬局と協働した入院前持参薬確認の実施 <p>▶ イン트라ネット上には、医薬品に関する各種通知やお知らせをはじめ、マニュアルや一覧表のほか病院フォーミュラリ、変更調剤PBPM、供給が不安定な採用薬リスト、副作用報告等や医薬品安全管理委員会資料などを掲載し、随時更新している。</p>	

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第1条の11第2項第3号に掲げる医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療機器安全管理責任者の配置状況	有・無
② 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	年 235 回
<p>・ 研修の主な内容： 機器の有用性、機器の安全性、機器の動作、機器の操作、機器の故障対策、機器の点検説明、使用に関する法令順守など</p> <p>研修の内訳</p> <p>1. 新規導入医療機器の安全使用研修（46回） 3回開催、受講者数141名（令和5年4月1日～令和4年9月30日） 9回開催、受講者数290名（令和5年10月1日～令和5年3月31日）</p> <p>2. 特定機能病院に必須の医療機器の安全使用研修（48回） 7回開催、受講者数 58名（令和5年4月1日～令和4年9月30日） 10回開催、受講者数 61名（令和5年10月1日～令和5年3月31日） ※臨床工学部管理の5品目は全てe-learningにて履行（2830名受講）</p> <p>3. 特に熟練を要する医療機器の安全使用研修とOpenME</p> <p>①医療機器の安全使用研修（67回） 65回開催、受講数242名（令和5年4月1日～令和4年9月30日） 2回開催、受講数 32名（令和5年10月1日～令和5年3月31日） ※放射線関連機器に関して、10月よりe-learningに移行（971名受講）</p> <p>②OpenMEの研修 43回開催、受講数 82名（令和5年4月1日～令和4年9月30日） 31回開催、受講数 64名（令和5年10月1日～令和5年3月31日）</p> <p>4. 新規採用者対象のMR装置の安全管理講習会 受講者181名（令和5年7月1日～令和5年12月31日）</p>	
③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	
<p>・ 医療機器に係る計画の策定（有・無）</p> <p>①人工心肺装置、②人工呼吸器、③血液浄化装置、④除細導装置、⑤閉鎖式保育器については、臨床工学部で計画を立て、それに則って臨床工学技士ならびにメーカーによる保守点検を実施している。</p> <p>⑥診療用高エネルギー放射線発生装置、⑧診療用放射線照射装置、⑨その他保守点検が必要と考えられる医療機器については、放射線部ならびに関係部署で計画を立てて、それに則って臨床工学士ならびに委託業者による保守点検を実施している。</p> <p>・ 機器ごとの保守点検の主な内容： 放射線医療機器は全てメーカーとの定期点検契約。 臨床工学部が担う医療機器の一部が院内点検に該当する。</p> <p>【点検内容】 安全点検、電気的安全点検、器械的安全点検、予防保全、予防保全の部品交換、予防保全の調整、予防保全の動作点検、動作値の確認、品質点検、イメージクオリティの点検、装置全般の機能点検、ソフトウェア点検など</p> <p>【点検台数】</p> <ul style="list-style-type: none"> 臨床工学部が管理する特定機能病院必須医療機器5品目（人工呼吸器159台、補助循環装置47台、除細動装置42台、閉鎖式保育器11台（内廃棄1台）、血液浄化装置44台）について、点検計画に則って適切に実施した。（令和5年5月1日～令和5年9月30日） 臨床工学部が管理する特定機能病院必須医療機器5品目（人工呼吸器164台（内廃棄8台）、補助循環装置53台（内廃棄7台）、除細動装置42台、閉鎖式保育器11台、血液浄化装置44台）について、点検計画に則って適切に実施した。（令和5年10月1日～令和6年3月31日） 放射線部が管理する特定機能病院必須医療機器2品目を含む全装置131台について、点検計画に則って適切に実施した。（令和5年4月1日～令和5年9月30日） 放射線部が管理する特定機能病院必須医療機器2品目を含む全装置128台について、点検計 	

画に則って適切に実施した。(令和5年10月1日～令和6年3月31日)

④ 医療機器の安全使用のために必要となる未承認等の医療機器の使用の状況その他の情報の収集
その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況

- ・ 医療機器に係る情報の収集の整備 (有・無)
医療機器の不具合情報や安全性情報等を製造販売業者やPMDAから提供される医療安全情報、厚生労働省が発行する「医薬・医療機器安全情報」などから一元的に収集する。
病院運営会議と医療機器安全委員会で報告、阪大フォーラムやリスクマネジャ会議での啓発やリスクマネジャのメーリングリストを通じて周知を図っている。
年6回の会議にて、保守点検および医療機器安全使用研修の進捗状況の把握ならびに医療機器安全情報の共有を図り常に連携をとっている。
- ・ 未承認等の医療機器の具体的な使用事例(あれば) :

- ・ その他の改善のための方策の主な内容 :
 - ・ 「大阪大学医学部附属病院における医療機器安全のための指針」の策定
 - ・ 定期安全使用研修のためのe-learningの作成
 - ・ 医療機器安全管理室組織図の改定と内規策定の検討
 - ・ 医療機器導入と保守点検の一元化システム策定の検討

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第9条の20の2第1項第1号から第13号の二に掲げる事項の実施状況

① 医療安全管理責任者の配置状況	有・無
<p>・責任者の資格（医師・歯科医師） ・医療安全管理責任者による医療安全管理部門、医療安全管理委員会、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者の統括状況</p> <p>本院における医療に係る安全管理について統括するため、統括医療安全管理委員会を設置しており、医療安全担当の副病院長（医療安全管理責任者）が同委員会の委員長となっている。同委員会にリスクマネジメント委員会及び医療クオリティ審議委員会（医療安全管理部門である中央クオリティマネジメント部が主管）、医薬品安全管理委員会（医薬品安全管理責任者である薬剤部長が委員長）、医療機器安全管理委員会（医療技術部長が委員長（医療機器安全管理責任者は医療技術部副部長）を置き、統括医療安全管理委員会委員長（医療安全管理責任者）が統括している。</p>	
② 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	有（12名）・無
<p>③ 医薬品安全管理責任者の業務実施状況</p> <p>・医薬品に関する情報の整理・周知に関する業務の状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 年1回以上の「医薬品安全使用のための業務手順書」の改訂 ▶ 毎年6月に改訂後の業務手順書の遵守状況について、各部署に対してアンケート調査を実施 ▶ 院内職員対象に医薬品安全管理講習会を実施 ▶ 重要安全性情報の発信（医薬品安全管理委員および各部署管理者に速報） ▶ Drug Information News（医薬品の適応追加・用法用量変更、安全性情報、適正使用情報等のお知らせ）の発行、および各部署での周知の記録をFAXにて回収 ▶ 薬剤部 News（医薬品に関する薬剤部からのお知らせ）の発行 ▶ 院内ホームページ・イントラネット上の情報提供 ▶ 医薬品の添付文書情報を電子カルテ端末から閲覧できるよう整備 ▶ 医薬品使用状況を確認し、必要に応じて、薬事委員会、医薬品安全管理委員会、病院運営会議等で報告。 <p>・未承認等の医薬品の使用に係る必要な業務の実施状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 未承認等の医薬品を使用する場合は、未承認新規医薬品等診療審査部にて審査・評価を行い、診療の提供の適否を決定 ▶ 薬剤部医薬品情報室が未承認新規医薬品等審査部の事務局を担当し、医薬品に関する情報収集を行う。 ▶ 薬剤師等が収集・把握した未承認医薬品等の使用に関する情報は、薬剤部医薬品情報室に集約し、 	

医薬品情報室で内容を確認、評価し、未承認新規医薬品等診療審査部への審査対象となる診療は未承認新規医薬品等診療審査部へ諮問

▶ 未承認医薬品の使用、適応外使用、禁忌での使用状況について、医薬品安全管理委員会および病院運営会議にて報告

・担当者の指名の有無（有・無）

・担当者の所属・職種：

（所属：薬剤部 ， 職種：薬剤師 （副薬剤部長 2 名、医薬品情報室長 1 名） ）

④ 医療を受ける者に対する説明に関する責任者の配置状況

有 無

・医療の担い手が説明を行う際の同席者、標準的な説明内容その他説明の実施に必要な方法に関する規程の作成の有無 （ 有 無 ）

・説明等の実施に必要な方法に関する規程に定められた事項の遵守状況の確認、及び指導の主な内容：
定期的に各診療科・各中央診療施設のインフォームド・コンセントの実施状況を確認する。

適切でない事例が認められる場合は、必要な指導を行うとともに当該事例を院内に周知する。

⑤ 診療録等の管理に関する責任者の選任状況

有 無

・診療録等の記載内容の確認、及び指導の主な内容：

診療情報管理士が毎日、退院時サマリを確認し、不備当の修正依頼を適時実施している。毎月、手術記録、カウンターサインを確認し、作成状況や未承認の催促を各診療科の病歴管理委員宛に通知している。ピアレビューは、年 7 回の頻度で、4 診療科の医師、看護師、薬剤師、理学療法士、栄養士、診療情報管理士を招集し、多職種でカルテ監査をしている。ピアレビュー後に各自 3 症例を持ち帰り、監査を行い、後日結果を報告する。また、半年後に再監査を診療情報管理士が各 4 症例ずつ実施しており、1年 224 症例の監査計画で運用している。年間の全診療科の結果は、病歴管理委員会で資料を配布し、周知を行っている。インフォームドコンセントについても、診療情報管理士がカルテ記載内容を確認し、一年で全診療科一巡。結果はインフォームドコンセント委員会で報告している。

⑥ 医療安全管理部門の設置状況

有 無

・所属職員：専従（7）名、専任（0）名、兼任（6）名

うち医師：専従（3）名、専任（0）名、兼任（0）名

うち薬剤師：専従（1）名、専任（0）名、兼任（3）名

うち看護師：専従（3）名、専任（0）名、兼任（1）名

(注) 報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること

・活動の主な内容：

1. インシデントの調査・分析・レポート管理及びカンファレンスの開催
2. 医療事故防止方策の検討・実施・評価
3. リスクマネジャー会議の開催
4. 職員研修の企画・実施および、理解度テストの実施と評価
5. 医療安全推進及び教育のための教材の開発・活用
6. 現場のリスクマネジャーの支援、連絡調整、院内ラウンドの実施
7. 他の委員会や部署、各職種間の連絡調整
8. リスクマネジメント委員会等の開催準備及び支援
9. 患者相談窓口等の担当者との連携、医療安全に係る患者及び家族等への対応支援
10. 全死亡症例の把握・検証
11. 医療の質・安全に関するモニタリング
12. 高難度新規医療技術及び未承認新規医薬品を用いた医療の導入に係る委員会への参画

※ 平成二八年改正省令附則第四条第一項及び第二項の規定の適用を受ける場合には、専任の医療に係る安全管理を行う者が基準を満たしていることについて説明すること。

※ 医療安全管理委員会において定める医療安全に資する診療内容及び従事者の医療安全の認識についての平時からのモニタリングの具体例についても記載すること。

令和5年10月1日現在の医療安全に資するモニタリング項目は以下の7つであり、リスクマネジメント委員会及び病院運営会議、リスクマネジャー会議で報告を行っている。

1. 手術安全チェックリスト使用率
2. 初回抗がん剤導入前のHBVスクリーニング実施率
3. 内視鏡治療例での気道確保困難チェックリスト使用率
4. 2週間以内の退院サマリ作成率
5. 臨床工学部から貸し出した人工呼吸器の日常点検実施率
6. 病理検査および画像検査における重要所見ToDoの翌月までの消去率
7. 輸血投与時の認証システムによる照合実施率

⑦ 高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の状況

・前年度の高難度新規医療技術を用いた医療の申請件数（ 8 件）、及び許可件数（ 8 件）

・高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の設置の有無（ 有・無 ）

・高難度新規医療技術を用いた医療を提供する場合に、従業者が遵守すべき事項及び高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門が確認すべき事項等を定めた規程の作成の有無（ 有・無 ）

・活動の主な内容：

診療科長から高難度新規医療技術を用いた診療の提供の申請が行われた場合、申請内容の確認を行うとともに、高難度新規医療技術評価委員会に、当該高難度新規医療技術を用いた診療の提供の適否、実施を認める条件等について意見を求め、その意見を踏まえ適否を決定する。

また、定期的及び術後に患者が死亡した場合など、必要に応じて当該医療の提供が適正な手続きで行われていたか、診療記録等の確認や従事者の遵守状況の確認を行い、病院長に報告する。

・規程に定められた事項の遵守状況の確認の有無（ 有・無 ）

・高難度新規医療技術評価委員会の設置の有無（ 有・無 ）

⑧ 未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の状況

- ・前年度の未承認新規医薬品等を用いた医療の申請件数（ 18 件）、及び許可件数（ 16 件）
- ・未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の設置の有無（ 有・無 ）
- ・未承認新規医薬品等を用いた医療を提供する場合に、従業者が遵守すべき事項及び未承認新規医薬品等の使用条件を定め使用の適否等を決定する部門が確認すべき事項等を定めた規程の作成の有無（ 有・無 ）
- ・活動の主な内容：

診療科長から未承認新規医薬品等を用いた診療の提供の申請が行われた場合、申請内容の確認を行うとともに、未承認新規医薬品等診療評価委員会に、当該未承認新規医薬品等を用いた診療の提供の適否、実施を認める条件等について意見を求め、その意見を踏まえ適否を決定する。

また、定期的及び術後に患者が死亡した場合など、必要に応じて当該医療の提供が適正な手続きで行われていたか、診療記録等の確認や従事者の遵守状況の確認を行い、病院長に報告する。
- ・規程に定められた事項の遵守状況の確認の有無（ 有・無 ）
- ・未承認新規医薬品等評価委員会の設置の有無（ 有・無 ）

⑨ 入院患者が死亡した場合などの医療安全管理部門への報告状況

- ・入院患者が死亡した場合の医療安全管理部門への報告状況：年 418 件
- ・上記に掲げる場合以外の場合であって、通常の経過では必要がない処置又は治療が必要になったものとして特定機能病院の管理者が定める水準以上の事象が発生したとき当該事象の発生の事実及び発生前の状況に関する医療安全管理部門への報告状況：年 45 件
- ・上記に関する医療安全管理委員会の活動の主な内容

【院内死亡症例】

院内死亡・死産症例は、退院転帰が「死亡（あるいは死産）」と入力されることで全例漏れなく医療安全部門が把握することができるシステムを構築しており、医療安全部門では、毎週、多職種で全死亡症例の診療経過について検証している。

さらに診療科では全死亡・死産症例について、診療科内で医療プロセスについて検証し、その結果を院内死亡症例報告書に入力する。医療クオリティ審議委員会での検討が必要と判断された際は、医療クオリティ審議依頼書を提出する。

診療科長及び中央クオリティマネジメント部部長が全症例の検証結果を確認し、医療クオリティ審議委員会において医療安全管理責任者に報告する。医療安全管理責任者は、病院運営会議において管理者に報告する。平成 28 年 9 月 20 日より運用を開始している。

【管理者が定める水準以上の事象】

平成 14 年から国立大学医学部附属病院で使用している影響レベルのうち、レベル 3b 以上は管理者が定める水準以上の事象として、月一回開催される医療クオリティ審議委員会において医療クオリティ審議依頼書で報告のあった事象の事実関係の調査・把握を行い、報告された事象が医療事故か否

かを判断する。また、日本医療機能評価機構及び医療事故調査制度に伴う報告事例が審議する。その後、病院運営会議、統括医療安全管理委員会で報告される。

医療事故と判断された場合は、速やかに医療事故対策委員会を立ち上げ、患者や家族等及び医療事故を起こした当事者や部署に対して、必要な支援を行う。医療事故に関して、情報収集・統合、分析、意思決定、関係機関への報告、院内外への公表を行う。

⑩ 他の特定機能病院等の管理者と連携した相互立入り及び技術的助言の実施状況

- ・他の特定機能病院等への立入り（）（病院名：東京大学）・無）
- ・他の特定機能病院等からの立入り受入れ（）（病院名：東京医科歯科大学）・無）
- ・技術的助言の実施状況

「診療科や構成員が大きく交代した際には、医療安全管理に関する理解や判断が的確にできなくなるとも推察されるので、医療安全管理部が医療クオリティ審議委員会に諮る事案について助言、支援できるような仕組みもあると良い。」との助言を受け、その対応としては以前より実施している次の3点について継続し行っている。

1. 病院長、副病院長（医療安全担当）の交代があった際は、着任前に医療安全管理部の医師より、過去の事例等を含めた事前のオリエンテーションを実施している。
2. 医療クオリティ審議依頼書が提出された際は、病院長、副病院長（医療安全担当）、医療安全管理部門以外にも、前病院長、前副病院長（医療安全担当）、看護部長、薬剤部長らで構成するメーリングリストにて、迅速な事例の共有、病院としての判断の方向性の検討を行っている。
3. 診療科からの個別の相談は、医療安全管理部門で随時行っている。

⑪ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況

- ・体制の確保状況

窓口の名称：患者相談室（平成16年4月2日設置）

対応する職員：患者包括サポートセンター患者相談部門

医師 1名

看護師 1名

医療ソーシャルワーカー(MSW) 1名

事務職員 1名

計 4名

相談に応じる時間帯：月～金曜日 8：30～17：00

患者相談室設置要項

第7条(1) 相談を受けた者は、相談等の内容を病院長まで報告するものとする。

第7条(2) 病院長は相談等の内容が、本院の医療安全管理体制確保に有益であると認められるときは、関係部署及び関係委員会に対して、検討及び改善を指示するものとする。

⑫ 職員研修の実施状況

- ・研修の実施状況

リスクマネジメント講習会にて、特定機能病院としての高度な医療を提供するために必要な知識について研修を行った。

(注) 前年度の実績を記載すること (⑥の医師等の所属職員の配置状況については提出年度の10月1日の員数を記入すること)

⑬ 管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者のための研修の実施状況

・研修の実施状況

【管理者】

令和6年度特定機能病院管理者研修 (主催: 公益財団法人日本医療機能評価機構)
⇒令和7年1月15日受講予定

【医療安全管理責任者】

令和6年度特定機能病院管理者研修 (主催: 公益財団法人日本医療機能評価機構)
⇒令和6年12月13日受講予定

【医薬品安全管理責任者】

令和5年度特定機能病院管理者研修 (主催: 公益財団法人日本医療機能評価機構)
⇒令和6年2月26日受講
令和6年度特定機能病院管理者研修 (主催: 公益財団法人日本医療機能評価機構)
⇒令和6年12月9日受講予定

【医療機器安全管理責任者】

令和5年度特定機能病院管理者研修 (主催: 公益財団法人日本医療機能評価機構)
⇒令和6年2月26日受講
令和6年度特定機能病院管理者研修 (主催: 公益財団法人日本医療機能評価機構)
⇒令和7年1月17日受講予定

(注) 前年度の実績を記載すること

⑭ 医療機関内における事故の発生の防止に係る第三者による評価の受審状況、当該評価に基づき改善のために講ずべき措置の内容の公表状況、当該評価を踏まえ講じた措置の状況

・第三者による評価の受審状況

実施年月日: 令和3年10月13日~10月15日

実施機関名: 公益財団法人日本医療機能評価機構

評価内容: 公益財団法人日本医療機能評価機構による「一般病院3」の認証受審

・評価に基づき改善のために講ずべき措置の内容の公表状況

公表年月日：令和4年4月1日

本院ホームページにおいて公表：<https://www.hosp.med.osaka-u.ac.jp/pr/evaluation.html>

・評価を踏まえ講じた措置

1. 手術部位感染サーベイランスの実施に即して、貴院が補充的な審査で提示した改善策の継続的な実践と対象診療科の拡大に努めた。
2. 診療の質の向上に向けた活動に関して、補充的な審査で提示された改善策を継続的に実践した。
3. 新たに組織された業務改善委員会を縮続的に開催し、実績を積み上げた。

(注) 記載時点の状況を記載すること

規則第7条の2の2第1項各号に掲げる管理者の資質及び能力に関する基準

<p>管理者に必要な資質及び能力に関する基準</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 基準の主な内容 下記のとおり定めました。 (1) 医療法第10条に規定された病院の管理者として要件を満たす医師であること。 (2) 大学附属病院の管理運営に必要な資質・能力を有すること。 (3) 医療安全確保のために必要な資質・能力を有すること。 (4) 大阪大学医学部附属病院の理念・基本方針を理解し、その実現に向けた強い意思とリーダーシップを有すること。 ・ 基準に係る内部規程の公表の有無 (<input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無) ・ 公表の方法 本学のHPにて公表している。
--

規則第7条の3第1項各号に掲げる管理者の選任を行う委員会の設置及び運営状況

前年度における管理者の選考の実施の有無	<input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無			
<ul style="list-style-type: none"> ・ 選考を実施した場合、委員会の設置の有無 (<input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無) ・ 選考を実施した場合、委員名簿、委員の経歴及び選定理由の公表の有無 (<input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無) ・ 選考を実施した場合、管理者の選考結果、選考過程及び選考理由の公表の有無 (<input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無) ・ 公表の方法 本学のHPにて公表している。 				
管理者の選任を行う委員会の委員名簿及び選定理由				
氏名	所属	委員長 (○を付す)	選定理由	特別の関係
金田 安史	大阪大学理事 (共創、病院担当)	○	病院運営を担当する理事 (役職指定)	<input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無
水島 郁子	大阪大学理事 (人事労務)		人事労務を担当する理事 (役職指定)	<input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無
熊ノ郷 淳	大阪大学大学院医学系研究科長		医学系研究科長 (役職指定)	<input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無
竹原 徹郎	大阪大学医学部附属病院長		医学部附属病院長 (役職指定)	<input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無
高井 康之	一般社団法人大阪府医師会会長		医学又は医療に関し識見を有する者一般社団法人大阪府医師会会長として、マネジメントはもとより、医学・医療全般について、高い識見を有している者として選定するもの。	有 <input checked="" type="radio"/> 無

中村 博亮	公立大学法人大阪 大阪公立大学医学 部附属病院長		医学又は医療に関し識見を有する者公立大学法人大阪 大阪公立大学医学部附属病院長として、マネジメントはもとより医学・地域医療全般について、高い識見を有する者として選定するもの。	有 <input checked="" type="radio"/> 無
西野 誠	大阪府健康医療部 長		医学又は医療に関し識見を有する者 大阪府における健康医療の行政責任者として、豊富な知見を有している者として選定するもの。	有 <input checked="" type="radio"/> 無

規則第9条の23第1項及び第2項に掲げる病院の管理及び運営を行うための合議体の
設置及び運営状況

合議体の設置の有無		(有)・無	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 合議体の主要な審議内容 病院重点課題（中期計画等）、人事、組織改組、規程改正及び予算・決算等、本院の管理運営に関する重要事項 ・ 審議の概要の従業者への周知状況 全教職員が閲覧できるよう、議事録を本院のHPに掲載している。 ・ 合議体に係る内部規程の公表の有無（(有)・無） ・ 公表の方法：議事録を本院のHPに掲載している。 ・ 外部有識者からの意見聴取の有無（(有)・無） 			
合議体の委員名簿			
氏名	委員長 (○を付す)	職種	役職
別紙1のとおり			

規則第15条の4第1項第1号に掲げる管理者が有する権限に関する状況

管理者が有する病院の管理及び運営に必要な権限

- ・ 管理者が有する権限に係る内部規程の公表の有無（有・無）
- ・ 公表の方法：本学のHPに掲載

- ・ 規程の主な内容

大阪大学医学部附属病院規程に副病院長及び病院長補佐は管理者（病院長）が指名すると規定している。

国立大学法人大阪大学会計規則・同予算決算規則に管理者（病院長）が医学部附属病院の予算責任者として、予算案の作成及び予算の執行について権限と責任を有すると規定している

- ・ 管理者をサポートする体制（副院長、院長補佐、企画スタッフ等）及び当該職員の役割

別紙2のとおり

- ・ 病院のマネジメントを担う人員についての人事・研修の状況

国立大学附属病院を取り巻く様々な課題に対して、病院長のリーダーシップ、病院長を支えるサポート体制の強化及び病院経営等、病院執行部のガバナンス強化に向け、各国立大学附属病院の病院長、副病院長、看護部長及び事務部長等の次世代リーダー等の役職者を対象に国立大学附属病院長会議が主催する幹部職員セミナー（病院長塾・病院経営次世代リーダー養成塾）に参加させ、育成しており、今後も引き続き参加させる。

（参考）

平成28年度「病院長塾」参加者：副病院長2名・事務部長・総務課長

平成29年度「病院経営次世代リーダー養成塾」参加者：副病院長・副看護部長

平成30年度「病院長塾」参加者：病院長・病院長補佐・看護部長・副看護部長・総務課長

令和元年度「病院経営次世代リーダー養成塾」参加者：病院長・副看護部長

令和2年度「医師の働き方改革に関する緊急セミナー」

参加者：病院長、副病院長、副看護部長、事務部長、総務課長

令和3年度「医師の働き方改革セミナー」

参加者：病院長、副病院長、事務部長、総務課長

令和4年度「医師の働き方改革セミナー」

参加者：病院長、副病院長、事務部長、総務課長

令和5年度「トップマネジメント研修（医師の働き方改革）」参加者：事務部長

「病院経営次世代リーダー養成塾」参加者：病院長、副看護部長

規則第15条の4第1項第2号に掲げる医療の安全の確保に関する監査委員会に関する状況

監査委員会の設置状況					(有) 無
<p>・ 監査委員会の開催状況：年 2回</p> <p>・ 活動の主な内容：</p> <p>○ 医療安全管理体制の活動報告 以下の委員会・部会等から活動報告を行う。</p> <p>感染対策委員会、医療放射線安全管理委員会、高難度新規医療技術審査部、未承認新規医薬品等診療審査部、医薬品安全管理委員会、医療機器安全管理委員会、リスクマネジメント委員会、医療クオリティ審議委員会及び医療安全の中央機能に係る報告</p> <p>○ 医療安全に関する特筆すべき取組があれば報告</p> <p>・ 監査委員会の業務実施結果の公表の有無 (有) 無)</p> <p>・ 委員名簿の公表の有無 (有) 無)</p> <p>・ 委員の選定理由の公表の有無 (有) 無)</p> <p>・ 監査委員会に係る内部規程の公表の有無 (有) 無)</p> <p>・ 公表の方法： 本学のHPに掲載</p>					
監査委員会の委員名簿及び選定理由 (注)					
氏名	所属	委員長 (○を付す)	選定理由	利害関係	委員の要件 該当状況
倉智 博久	大阪母子医療センター総長	○	医療側・経営側の両知識を有する者として選定	有 (無)	1
橋本 重厚	福島県立医科大学会津医療センター糖尿病内分泌代謝・腎臓内科学講座教授同附属病院医療安全管理部長		医療安全管理部長として医療安全管理の専門家として選定	有 (無)	1
水島 幸子	水島綜合法律事務所所長		法律の専門家である上、医療に精通している者として選定	有 (無)	1
橋本佐与子	認定 NPO 法人ささえあい医療人権センターCOML 理事		患者・医療者双方のコミュニケーション能力を高める活動等に取り組み、患者目線で医療について助	有 (無)	2

			言できる者として選 定		
井上 恵嗣	大阪大学理事		リスク管理を担当する 理事として選定	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	3

(注) 「委員の要件該当状況」の欄は、次の1~3のいずれかを記載すること。

1. 医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者
2. 医療を受ける者その他の医療従事者以外の者（1.に掲げる者を除く。）
3. その他

規則第15条の4第1項第3号イに掲げる管理者の業務の執行が法令に適合することを
確保するための体制の整備に係る措置

管理者の業務が法令に適合することを確保するための体制の整備状況

・体制の整備状況及び活動内容

平成29年7月19日に大阪大学コンプライアンス推進委員会を設置し、各種コンプライアンス事案（研究上の不正行為、研究費の不正使用、情報漏えい事案、公益通報事案等）の総括と、コンプライアンスの推進に係る取組みの検討及び実施等を行っている。

また、下記のとおり具体的な取組みを行っている。

- ・ 大阪大学行動規範の制定
- ・ コンプライアンス事案の発生を踏まえた再発防止策の検討及び実施（本部事務機構の各専門部署等による集合型研修やe-learningによる各種コンプライアンス教育の実施、注意喚起文書の発出、各種冊子やリーフレット等の配布、各種通報・相談窓口の設置及び周知等）
- ・ コンプライアンスに関する教職員意識調査の実施
- ・ 専門部署の設置の有無（有・無）
- ・ 内部規程の整備の有無（有・無）
- ・ 内部規程の公表の有無（有・無）
- ・ 公表の方法 本学のHPにて公表している。

規則第15条の4第1項第3号口に掲げる開設者による業務の監督に係る体制の整備に係る措置

開設者又は理事会等による病院の業務の監督に係る体制の状況			
<ul style="list-style-type: none"> ・ 病院の管理運営状況を監督する会議体の体制及び運営状況 <p>理事会等とは別に総長が設置する大阪大学医学部附属病院戦略会議の下に下記委員を構成員とする大阪大学医学部附属病院管理運営専門委員会を平成31年3月8日に設置し、令和5年9月27日に管理運営専門委員会を開催した。</p> <p>専門委員会では、病院長から外部委員に対して下記事項についての説明を行い、質疑応答の後外部委員から特に本院の管理運営に関する指摘事項は無かった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 会議体の実施状況（年1回） ・ 会議体への管理者の参画の有無および回数（有・無）（年1回） ・ 会議体に係る内部規程の公表の有無（有・無） ・ 公表の方法 			
病院の管理運営状況を監督する会議体の名称：大阪大学医学部附属病院管理運営専門委員会			
会議体の委員名簿			
氏名	所属	委員長 (○を付す)	利害関係
御前 治	吹田市医師会長		有・無
倉智 博久	大阪母子医療センター総長		有・無
吉川 秀樹	ベルランド総合病院 医学教育センター長		有・無
林 紀夫	独立行政法人 労働者健康安全機構 関西労災病院 病院長	○	有・無
松坂 英孝	大阪ガス株式会社顧問		有・無
橋本 佐与子	認定 NPO 法人 ささえあい医療 人権センターCOML 理事		有・無

(注) 会議体の名称及び委員名簿は理事会等とは別に会議体を設置した場合に記載すること。

規則第15条の4第1項第4号に掲げる医療安全管理の適正な実施に疑義が生じた場合等の情報提供を受け付ける窓口の状況

窓口の状況
<ul style="list-style-type: none">・ 情報提供を受け付けるための窓口の設置の有無 (<input checked="" type="radio"/> 有 ・ <input type="radio"/> 無)・ 通報件数 (年〇件)・ 窓口に提供する情報の範囲、情報提供を行った個人を識別することができないようにするための方策その他窓口の設置に関する必要な定めの有無 (<input checked="" type="radio"/> 有 ・ <input type="radio"/> 無)・ 窓口及びその使用方法についての従業者への周知の有無 (<input checked="" type="radio"/> 有 ・ <input type="radio"/> 無)・ 周知の方法 院内各会議にて附議・周知するとともに、本院HPの職員専用ページ及び院内ホームページ・インターネットに設置の趣旨及び通報方法等を掲載

(様式第 7)

専門性の高い対応を行う上での取組みに関する書類（任意）

1 果たしている役割に関する情報発信

① 果たしている役割に関する情報発信の有無	有・無
<ul style="list-style-type: none">・ 情報発信の方法、内容等の概要・ 阪大病院ニュースの発行：紙媒体で年4回発行し、本院の活動を情報発信している。・ 病院要覧：紙媒体で年1回発行し、本院の概要を掲載している。・ ホームページ：随時更新し、情報発信している。阪大病院ニュース、病院要覧、診療等実績データをPDFで掲載している。・ 病院見学会：年1回一般市民を対象に開催している。 (令和3・4年度はコロナ下で休止中し、動画で配信した)・ 一般市民向けがん診療啓蒙のための公開講座をハイブリッドで開催している。	

2 複数の診療科が連携して対応に当たる体制

① 複数の診療科が連携して対応に当たる体制の有無	有・無
<ul style="list-style-type: none">・ 複数の診療科が連携して対応に当たる体制の概要 <p>本院では、対象となる疾患等に対し、関連診療科や診療部門並びに関連医師やコメディカルが連携し、包括的な診断及び治療を実現するため、中央診療施設として以下のセンターを配置し、複数の診療科が連携して対応に当たる体制を整えている。</p> <ul style="list-style-type: none">・ 脳卒中センター ・ 前立腺センター ・ 睡眠医療センター・ 疼痛医療センター ・ 生殖医療センター ・ ハートセンター・ 小児医療センター ・ オンコロジーセンター ・ 呼吸器センター・ てんかんセンター ・ 消化器センター ・ I V Rセンター・ 胎児診断治療センター ・ 難病医療推進センター ・ 子どものこころの診療センター・ 糖尿病センター ・ がんゲノム医療センター ・ 緩和医療センター・ 腸管不全治療センター・ 摂食嚥下センター	

副病院長・病院長補佐の所掌業務及び主な課題(令和6年度)

	担当区分	氏名	所掌業務及び主な課題		
副病院長	財務・人事労務	坂田泰史	財務	①病床運営のための経費支援 ②病院基盤整備経費配分 ③長期的展望に立った財務基盤の確立	
			人事労務	①人事労務 ②看護職員の確保 ③医師の処遇改善	
	医療安全・がん診療	江口英利	医療安全	①医療安全管理体制担当校としての業務 (医療安全・質向上のための相互チェック及びピアレビュー等) ②院内の医療の質・安全	
			がん診療	①オンコロジーセンターの運営 ②がん診療連携拠点病院・がんゲノム医療中核拠点病院関係 ③がんプロを後継する発展的事業の開拓	
	地域医療・医療情報 外部評価	武田理宏	地域医療	①医療情報を介した地域医療の充実	
			医療情報	①医療情報	
			外部評価	①外部評価(機能評価、特定共同指導等)に対する院内準備	
	ホスピタリティ	岩崎朋之	ホスピタリティ	①患者接遇の向上に関する取組 (ご意見箱の対応、盗難防止対策、禁煙対策、職員教育など) ②ボランティア活動の充実	
	病院長補佐	小児・周産期	北島康司	小児医療	①小児医療
				周産期	①周産期医療
再開発		貴島晴彦	再開発	①病院再開発の企画・機能強化に関する検討	
研究・臨床研究中核病院		下村伊一郎	研究	①臨床研究支援体制整備及び未来医療開発部の強化発展	
			臨床研究中核病院	①臨床研究中核病院	
中央診療施設		小川和彦	中央診療施設	①中央診療施設	
広報・中期目標・計画		猪阪善隆	広報	①病院ニュース・アニュアルレポートの作成 ②職員募集計画を念頭においた広報戦略 ③市民への病院紹介コンテンツの立案 ④病院フォーラムの企画	
			中期目標・計画	①中期目標・計画の策定と評価	
教育・診療体制		新谷康	教育	①研修医・新専門医制度 ②メディカルスタッフに対する大学病院の特徴を生かしたキャリアパス開発	
			診療体制	①診療体制の整備充実・病棟再編事業の発展的継続 ②手術・ICU運用	
救急医療		織田順	救急医療	①救急医療	
女性支援・ダイバーシティ		中島和江	女性支援	①女性教職員の安定的就労支援	
			ダイバーシティ	①男女教職員の多様な働き方の確立	
経営・組織改革		多田典史	経営	①経営戦略の検討	
			組織改革	①事務組織の改革	
その他一般業務	土岐祐一郎				